



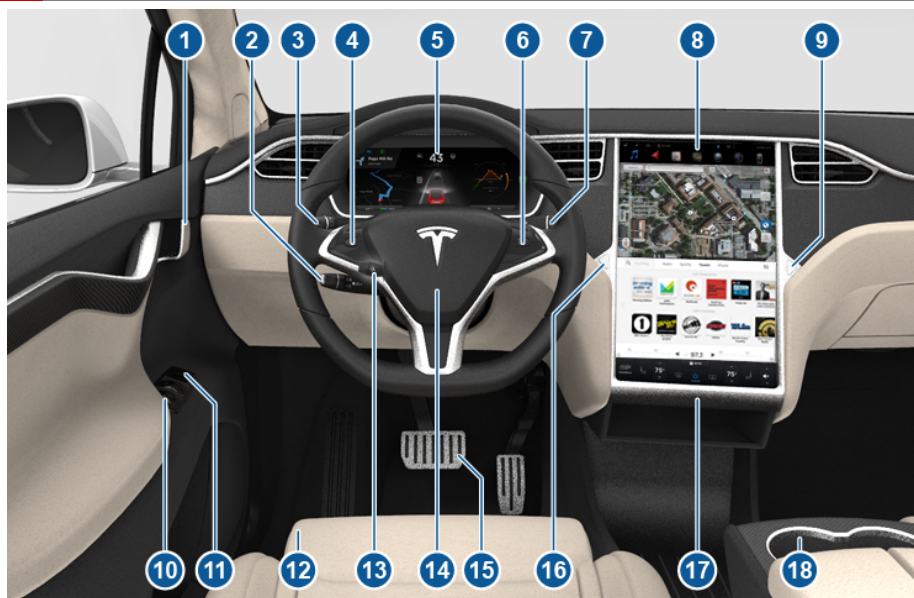
MODEL X オーナーズ マニュアル



2018.12
March 22, 2018

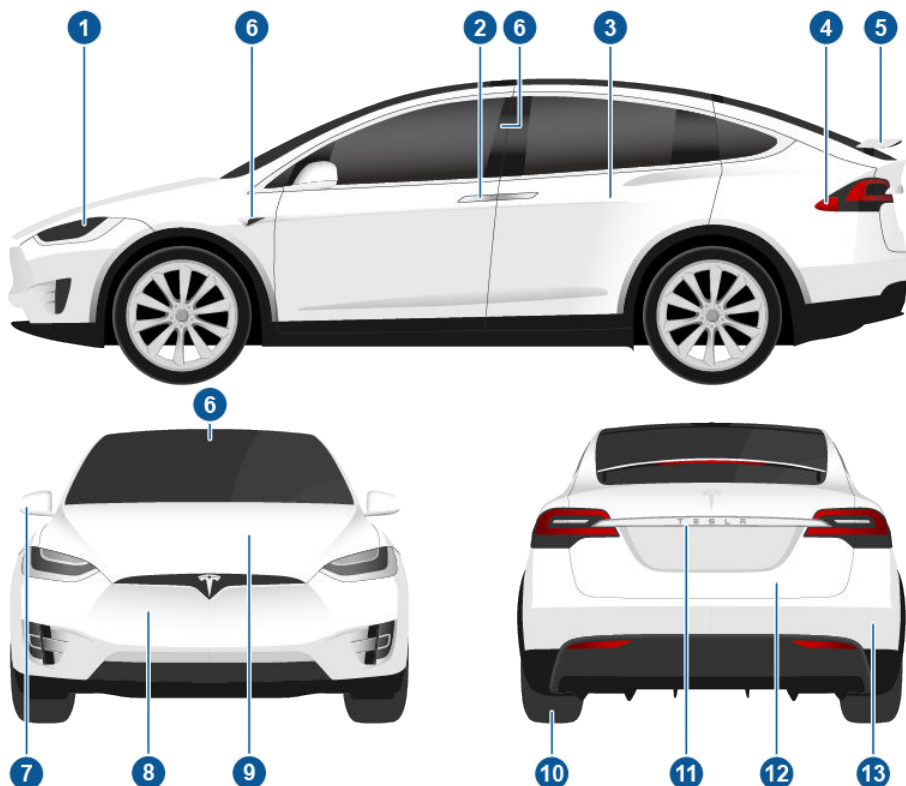


概要.....	2	充電中.....	142
インテリアの概要.....	2	電気車両コンポーネント.....	142
エクステリアの概要.....	3	バッテリーに関する情報.....	144
開閉.....	4	充電方法.....	145
ドア.....	4	メンテナンス.....	150
ウィンドウ.....	12	メンテナンス スケジュール.....	150
リアトランク.....	13	タイヤの手入れと保守.....	151
フロントトランク.....	15	クリーニング.....	156
グローブボックス.....	17	ワイパー ブレードとウォッシュャー液ノズル.....	159
カップホルダー.....	18	フルードリザーバ.....	160
サンバイザー.....	19	ジャッキアップと引き上げ.....	162
座席と安全拘束具.....	20	部品とアクセサリー.....	163
フロントおよびリア シート.....	20	仕様.....	164
シートベルト.....	26	識別ラベル.....	164
チャイルドシート.....	29	車両総重量.....	165
エアバッグ.....	39	寸法および重量.....	167
運転モード.....	43	サブシステム.....	170
ドライバー プロフィール.....	43	ホイールとタイヤ.....	172
ハンドル.....	45	ロードサイドアシスタンス.....	178
ミラー.....	48	ロードサイドアシスタンスへのご連絡.....	178
始動と電源オフ.....	49	車両輸送者向け注意事項.....	179
ギア.....	50	消費者情報.....	181
インストゥルメントパネル.....	51	イースター エッグ.....	181
ライト.....	57	このオーナー情報について.....	182
ワイパーとウォッシュャー.....	62	免責事項.....	183
ブレーキ.....	63	安全上の不具合を報告する.....	187
トラクション コントロール.....	65	適合宣言.....	188
パーキングアシスト.....	66		
オートブレーキホールド.....	68		
加速モード.....	69		
走行情報.....	71		
航続距離を最大限に伸ばす.....	72		
リア ビュー カメラ.....	74		
アクティブ スポイラー.....	75		
牽引とアクセサリー.....	76		
ドライビングアシスト.....	84		
ドライビングアシストについて.....	84		
トラフィックアウェア クルーズコントロール.....	87		
オートステアリング.....	93		
自動車線変更.....	96		
オートパーキング.....	98		
レーンアシスト.....	102		
衝突回避アシスト.....	104		
スピードアシスト機能.....	107		
タッチスクリーンの使用.....	108		
タッチスクリーンの概要.....	108		
コントロール.....	113		
設定.....	116		
温度調整.....	120		
スマート エア サスベンション.....	126		
メディアとオーディオ.....	128		
電話.....	132		
地図とナビゲーション.....	134		
カレンダー.....	137		
セキュリティ設定.....	138		
Wi-Fi への接続.....	139		
ソフトウェア アップデート.....	140		
モバイル アプリ.....	141		



注：右ハンドル（RHD）車では、上記のパーツが車両右側に左右対称になるように配置されています。

1. インテリア ドア ハンドル（[車内からドアを開ける](#) - 7 ページ）
2. トラフィック アウェア クルーズコントロール（[トラフィックアウェア クルーズコントロール](#) - 87 ページ）およびオートステアリング（[オートステアリング](#) - 93 ページ）
3. ハイビーム（[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページ）、ウィンカー（[ウィンカー](#) - 60 ページ）、ワイパー、ウォッシャー（[ワイパーとウォッシャー](#) - 62 ページ）
4. ステアリングホイールボタン - 左（[ハンドルの左ボタンを使用する](#) - 45 ページ）
5. インストゥルメントパネル（[インストゥルメントパネル](#) - 51 ページ）
6. ステアリングホイールボタン - 右（[ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 46 ページ）
7. ギアセレクター（[ギアシフト](#) - 50 ページ）
8. タッチスクリーン（[タッチスクリーンの概要](#) - 108 ページ）
9. グローブボックス ボタン（[グローブボックス](#) - 17 ページ）
10. パワー ウィンドウ スイッチ（[ウィンドウを開ける、閉じる](#) - 12 ページ）
11. サイドミラー調整スイッチ（[ミラー](#) - 48 ページ）
12. シート（[フロントおよびリアシート](#) - 20 ページ）
13. ステアリングコラム アジャスター（上図には非表示）（[ハンドル](#) - 45 ページ）
14. クラクション（[ホーン](#) - 47 ページ）
15. ブレーキ（[ブレーキ](#) - 63 ページ）
16. ハザードランプ（[ハザードランプの点滅](#) - 61 ページ）
17. キャビン環境コントロール（[温度調整](#) - 120 ページ）
18. カップホルダー（[カップホルダー](#) - 18 ページ）



1. エクステリア ライト (ライト - 57 ページ)
2. フロント ドア [Model X のドアを車外から開閉する](#) - 7 ページ
3. ファルコン ウィングドア ([ドア](#) - 4 ページ)
4. 充電ポート ([充電方法](#) - 145 ページ)
5. アクティブ スポイラー (オプション) ([アクティブ スポイラー](#) - 75 ページ)
6. ドライビングアシスト カメラ ([ドライビングアシストについて](#) - 84 ページ)
7. 外部ミラー ([ミラー](#) - 48 ページ)
8. レーダー センサー (上の画像では非表示) ([ドライビングアシストについて](#) - 84 ページ)
9. フード / フロントトランク ([フロントトランク](#) - 15 ページ)
10. ホイールおよびタイヤ ([ホイールとタイヤ](#) - 172 ページ)
11. リアビュー カメラ ([リア ビュー カメラ](#) - 74 ページ および [ドライビングアシストについて](#) - 84 ページ)
12. リア トランク/リフトゲート ([リアトランク](#) - 13 ページ)
13. 超音波センサー ([パーキングアシスト](#) - 66 ページ および [ドライビングアシストについて](#) - 84 ページ)



キーレスロックとロック解除

Model X はロックやロック解除を簡単に行うことが出来ます。有効なキーを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model X 約 1 メートルの範囲内にキーが存在することを認識できるセンサーが運転席のドア周辺に装備されています。キーをポケットやバッグに入れておけば、Model X に近づく と検出されます。

パッシブ エントリーをオンにしている場合、キーを携帯して Model X に近づく と、ドアが自動でロック解除します。リアトランクを開けるには、トランク外側のハンドル奥にあるスイッチを押します。

注: Model X ドアやリア トランクがロック解除する前に、運転席ドア付近でキーが検出されなければなりません。

注: パッシブ エントリーがオフになっている場合は、キーを使用して Model X のロックを解除する必要があります。 [キーを使用する](#) - 4 ページを参照してください。

プレミアム パッケージが装備され、**自動ドア**設定がオンとなっている場合は、鍵を持って Model X に近づく とドアが自動でアンロックされ、ドライバー側のドアが少し開きます。装備されていない場合、または設定がオフになっている場合、ドアは自動でロック解除され、ハンドルを押すとドアが開きます。

注: キーを携帯して Model X に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席のドアのみを解除するかを選択できます ([ドア アンロックモード](#) - 10 ページを参照)。

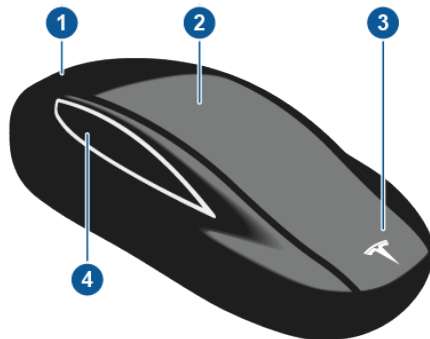
キーを携帯しているときは、リア トランクもキーを使わずに開くことができます。トランクのエクステリア ハンドルの下のスイッチを押すだけです。ドアロック解除モード ([ドア アンロックモード](#) - 10 ページを参照) を**すべて**に設定し、車両のドア付近でキーを検出してからでないとリアトランクは開きません。

Model X ロックも自動的に行われます。**降車後オートロックをオン**に設定していれば、Model X はキーを携帯して遠ざかったときにロックされます ([降車後オートロック](#) - 10 ページを参照)。

Model X の車内にいる場合は、タッチスクリーンのステータス バーにあるアイコンをタッチするか、またはの左下にあるドアコントロールを使用して**コントロール** > **ドア**をタッチしたときに使用できるドアコントロールを使用して車両をロック、アンロックすることもできます。

キーを使用する

キーのご使用に慣れるために、キーを Model X のミニチュア版と考えてください (Tesla のエンブレムのある側が前方です)。キーの上面はフロント、リア、その中間で 3 つのボタンに分かれており、両サイドにはファルコン ドアに対応する金属ボタンがあります。



1. トランク

- ダブルクリックしてリアトランクを開けます。
- パワー リフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを開めます。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。
- 充電ポート ドアを開くには、ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けます。

2. 全ロック/アンロック

- シングルクリックすることで、すべてのドアとリアトランクがロックされます。ハザードライトが 1 回点滅します。

注: ドアまたはリア トランクが開いている場合は、ハザードランプが 3 回点滅してドアはロックされません。シングルクリックですべてのドア (リア トランクを含む) を閉じてロックするには、「**コントロール**」 > 「**設定**」 > 「**ドアとロック**」 > 「**キーオフで全て閉じる**」 > 「**ON**」の順にタッチします。デフォルトでは、この設定は**オフ**に設定され、オフの場合はこのボタンをトリプルクリックすればドアが閉じてロックされます。

- Model X をアンロックするにはダブルクリックしてください。ハザードライトが 2 回点滅します。

注：プレミアム アップグレード パッケージが装備されている Model X で自動ドアがオンに設定されている場合 (「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「自動ドア」>「ON」の順にタッチします)、Model X に近づくだけでドアがアンロックされ運転席のドアが開きます。運転席側ドアが開いてからダブルクリックすれば助手席側フロント ドアを開くことができます。

注：「ドア アンロックモード」が「運転席」に設定されている場合は、ダブルクリックしてもアンロックされるのは運転席側のドアのみとなり、全てのドアとトランクをアンロックするには再度ダブルクリックする必要があります。「すべて」に設定されている場合は、最初のダブルクリックで全てのドアとトランクがアンロックされます。タッチスクリーンを使用してこの設定を変更します (「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「ドア アンロック モード」の順にタッチします)。

3. フロントトランク (フランク)

- ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。

4. ファルコン ウィングドア

- ダブルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアが開閉されます。
- シングルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアの動きが止まります。続いてダブルクリックすると、ファルコン ウィングドアの動きが逆になります。たとえば、ドアを開いていたときは閉じ、閉じていたときは開きます。

注：ファルコン ウィングドアは、事前に障害物を検出し、障害物が検出されたときはドアが動かないように設計されています。

⚠ 警告：Model X ファルコン ウィングドアには、ドアの動線にある物体の存在を検出するセンサーが複数取り付けられています。大半の場合、物体が検出されるとドアの動きは止まります。ただし、センサーはどんな場合でも、特にドアが閉まりかけている場合に、あらゆるエリアで何でも検出できるわけではありません。そのため、ドライバーは常に、ドアの動線に障害物がいないようファルコン ウィングドアを見守り、いかなるときもドアが何か (人を含む) に接触することを事前に防止できるようそばにいてください。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

この場合、キーを Model X に向ける必要はありませんが、キーの作動範囲内にいる必要があります (作動範囲はキーのバッテリーの強さによって異なります)。

Model X がキーを検出できない場合は、キーが車内にないことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。キーを、Model X が最も検出しやすい位置である 12 V 電源ソケットの下に置きます (キーは車内にありません - 49 ページを参照)。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器 (携帯電話、ノートパソコンなど) から 30 cm 以上離してください。キーが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。キーのバッテリーが切れている場合は、以下のアンロックの手順に従って Model X のドアを開けることができます。 (キーが動作しないときのアンロック - 10 ページを参照)。

⚠ 注意：運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも Model X を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

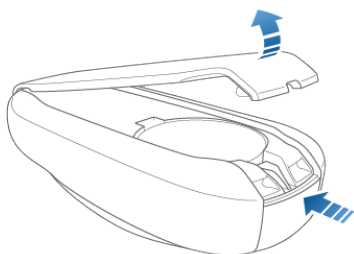
⚠ 注意：キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

キーのバッテリー交換

キーのバッテリーの寿命は約 1 年です。バッテリー残量が低下すると、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。



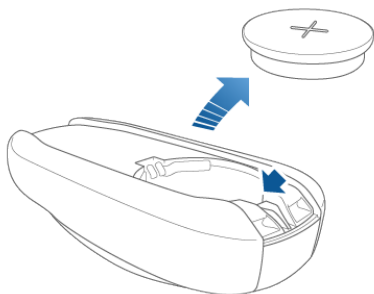
1. キーの裏面を上にして、マイナスドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを用いて底面のカバーを開きます。



* 便宜上、Tesla はバッテリー カバーを簡単に開ける特殊なツールを提供しています。このツールは、Model X をお買い求めいただいたときにキーが入っているボックスの中に入っています。

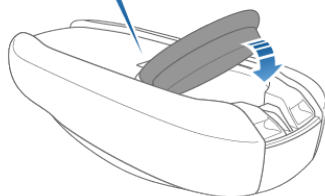
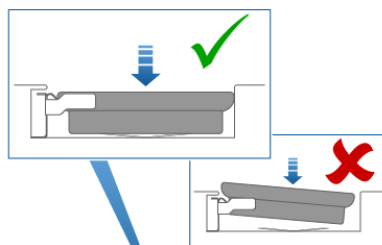
注：キーにストラップが付いているときは（[ストラップを取り付ける](#) - 6 ページを参照）、底面のカバーの「X」の文字のところに指で押してストラップを引くと（カバーを押して開けるような感じで）、カバーを外すことができます。また、キーとカバーの間に小さなマイナスドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを差し込んでもカバーをこじ開けることができます。

2. バッテリーは、斜めにすると取り出すことができます。



3. プラス (+) 面を上にして新しいバッテリー (CR2354) を挿入します。バッテリーが所定の位置にぴったりとはまるようある程度角度を付けて + 面（接触面はキーのほぼ中央にあります）に向けてスライドさせ、その後反対側にしっかりと押し込んで所定の位置にしっかりとまっていることを確認してください。

注意：バッテリーは + の接触面に対してスプリングで押さえられていなければなりません。バッテリーを接触面の上に置いて無理に押さえつけることはしないでください。接触面を損傷する恐れがあります。

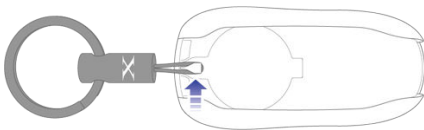


注：バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指に触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

4. カバーは、フロント側をキー本体に付け、横に付いているタブとキー本体側のスロットの位置を合わせて、パチンという音がするまで押し込んで固定します。

ストラップを取り付ける

Model X のキーは小さなストラップを付けられるようになっています。ストラップを付けるときは、上記の要領で底面のカバーを外します。キーの裏側のピンにストラップをかけます。カバーを合わせて、パチンと押し込みます。



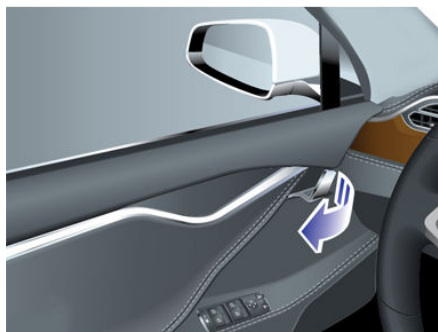
追加のキーを入手する

キーを紛失した場合または追加のキーが必要な場合は、Teslaにご連絡ください。Model X 最大 8 個のキーを認識することができます。

Model X の新しいキーを注文したときは、お手持ちのキーすべてをプログラミングし直してください。

車内からドアを開ける

フロント ドアを開くためには、インテリア ドアハンドルを内側に向かって引っ張ってください。



Model X の車内からタッチスクリーンを利用してドアの開閉を行うこともできます。「コントロール」>「ドア」をタッチし、開閉したいドアを選びます。さらに、プレミアム アップグレード パッケージを装備した Model X の場合、ブレーキ ペダルを押すと、運転席側のドアが自動的に閉まります。

注：お子さまが内部ドアハンドルを使用してファルコン ウィングドアを開けないようにするには、タッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルドロックを有効にします（[チャイルドロック](#) - 10 ページを参照）。

Model X のドアを車外から開閉する

Model X のドアは電動です。キーを持って Model X に近づいた時に、運転席側ドアのみをアンロックするか、全てのドアをアンロックするかを指定することができます。タッチスクリーンで、「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「ドアアンロック モード」の順にタッチしてから「運転席」または「すべて」を選択してください。

装備されている場合、運転席のドアは近づくとも自動的にアンロックして開くように設定することもできます。ドアは途中まで開きます（センサーが検出する障害物によって 20 度から 45 度の角度で開きます）。「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「自動ドア」>「ON」の順にタッチします。この設定がオンのときに運転席側のドアを開けるには、キーにあるロック/アンロック ボタンをダブルクリックしてください。助手席側のドアを開くには、キーにあるロック/アンロック ボタンを再度ダブルクリックしてください。

注意：急な坂道に駐車している場合は、フロント ドアが自動で完全に開かない、または閉じない場合があります。急な坂道に駐車している場合は、ドアの開閉を Model X に完全に頼らないでください。

注：製造日と購入時に選択したオプションによっては、Model X に自動ドアが搭載されていない場合があります。



ドアが開いていると、インストールメントパネルに「ドアが開いています」インジケーターが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウの Model X の画像にも、開いているドアやトランクが表示されます。

ドアは次のようにして閉めることができます。

- ドアを手で押して閉める
- タッチスクリーンを使用する（「コントロール」>「ドア」）
- キーフォブで全て閉じる設定を OFF に設定されている場合、キーのロック/アンロックボタンをトリプルクリックします（全てのドアとトランクが閉じてロックされます）
- キーフォブで全て閉じる設定を ON に設定している場合、キーのロック/アンロックボタンをシングルクリックします（全てのドアとトランクが閉じてロックされます）

ドアがすでに開いている時にハンドルを触ると外側フロントドアを閉めることができます。

注：電動式のドアは、障害物が検出されると動作を停止します。

警告：フロント ドアを自動で開閉する（手動で開閉する代わりに）ときは、まずドアの周囲に障害物（人や物など）がないか確認してください。人や物と接触しないようにドアの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。



ファルコン ウィングドアの開閉

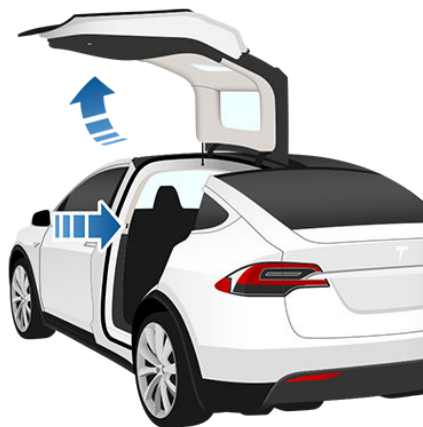
Model X は電動ファルコン ウィングドアを装備しており、ボタンひとつで、あるいはキーもしくはタッチスクリーン（「コントロール」>「ドア」）をタッチすることで簡単に開閉できます。ファルコン ウィングドアには、人や物を検知するセンサーが複数装備されており、何かを検知した場合はドアの動きが止まります。検知した物体に応じて、ドアはそれに接触しないように外側および上方向の動きを調整します。たとえば、物体が Model X の上方に検知された場合、ドアはさらに外側には動くものの低めになり、一方、物体がドアのそばに検知された場合には、ドアが外に出る動きはずっと少なくなります。

警告： いかなる時でも、ファルコン ウィングドア フレームには手を置かないでください。ドアを閉じる前はドアフレーム周辺を確認し、閉じ始めたらドアの動きを注視し人や物が挟まらないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

警告： ファルコン ウィングドアの開け閉めをする前に、ドア周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。ドアには多くのセンサーがついていますが、いつでもすべての物体を検知できるとは限らず、特にドアが動いているときにはその傾向が高まります。ある時点において、ドア近くに検出できないゾーンが生じる場合があります。そのため、ファルコン ウィングドアを開閉する場合、ドライバーおよびその他のパッセンジャーは、ドアの動きを意識し、いつでも対応できるようにしながら、動いているドアから離れてください。ドアを動かさないようにするには、キーにあるファルコン ウィングドア ボタンをシングルクリック、ドアまたはドアピラーにあるスイッチを押す、タッチスクリーンにあるボタンをタッチ、これらのいずれかを行ってください。

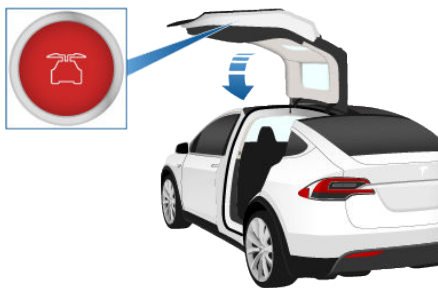
ファルコン ウィング ドアを Model X の外から開けるには、ドア ハンドルを押すかまたはキーのファルコン ウィング ドア ボタンを押します（[キーを使用する](#) - 4 ページを参照）。

Model X 車内からファルコン ウィング ドアを開くには、ドア ピラーにあるスイッチを使うか、タッチスクリーンのドア コントロールをタッチします（「コントロール」>「ドア」）。



注： Model X がロックされている場合は、一度スイッチ（上図参照）を使用して対応するドアのロックを解除します。もう一度引っ張るとドアが開きます。

ドアを閉じるには、ドアの内側にあるボタンを押してください。キーを利用することもできますが（[キーを使用する](#) - 4 ページを参照）、ドア ピラーにあるスイッチ（上図参照）を使用するか、タッチスクリーンのドア コントロールをタッチすることもできます（「コントロール」>「ドア」）。

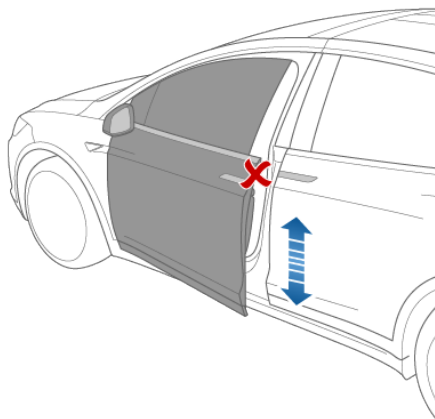


注： お子さまが誤って内側のスイッチを押してドアを開けることを防ぐには、タッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルドロックを有効にします。[チャイルドロック](#) - 10 ページを参照してください。

注： タッチスクリーンを使用して、Model X のファルコン ウィング ドアを低い高さ設定で開くように設定することができます（「コントロール」>「設定」>「ドアとロック」>「ファルコンドアの高さ」）。

注： ファルコンウィングドアが閉じる時に障害物を検出すると、数センチ戻って動きを止めます。

⚠ 警告：対応するファルコン ウィングドアを開閉しようとしているときにフロント ドアが開いている場合は常に、フロント ドアの開口部から手（あるいは物）を離してください。ファルコン ウィングドアが開きかけているフロント ドアを通過する際、両ドアの間隔は非常に狭くなります。その部分に置いた手や指などはセンサーに検出されず、ドアとドアの間に挟まれることがあります。ファルコン ウィングドアの開閉時には、負傷事故の発生を防止するために、手はフロント ドアから常に離しておく習慣をつけてください。



⚠ 警告：ファルコン ウィングドアの開閉時には、ドアが人や物に触れることがないようにドアの動きを意識することが重要です。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

⚠ 注意：ドアに積雪や氷がある場合は、ドアを開ける前に取り払ってください。雪が Model X 内部に入り、ドアが開かなくなる恐れがあります。

⚠ 注意：雨天時には、リフトゲートを開く際にファルコン ウィングドアを開けたままにしていると、雨水がリフトゲートからリアシート部に侵入します。

注：ファルコン ウィングドアは、Model X が停止しているときにしか開きません。

障害物検出

ファルコン ウィングドアは、それがもつ多くのセンサーが物体を検知したとき、あるいはドアが何かに接触したことにより抵抗を感じたときに動きを止めます。タッチスクリーンが「ドア」タブに警告を表示します。その場合、ファルコン ウィングドアの開閉動作を続行させることが適切であれば、次のいずれかを行うことで障害物の検出を一旦解除することができます：

- ドアピラーにあるスイッチを押したままにします。
- タッチスクリーンの該当するドア アイコンをタッチして長押ししてください。

Model X が天井の低さを検知すると（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもファルコン ウィングドア（およびトランク）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンで対応するドア アイコンにタッチすれば、この高さを無視してドアが開く高さを上げることができます（「コントロール」>「ドア」）。Model X は、タッチスクリーンで開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ね、その設定を保存します。次回この場所でファルコン ウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

⚠ 警告：デフォルト設定されているファルコン ウィング ドアの開く高さを変更する前に、ドアの開閉範囲でドアと障害物との間に十分なクリアランスがあることを目視で確認してください。

⚠ 警告：ファルコン ウィング ドアの外側にラップやステッカー、ラバー コーティングなどの粘着性物質を付けると、センサーが物体を認識する性能に悪影響を与えることがあります。

キャリブレーション

ファルコン ウィング ドアが正しくキャリブレーションされていない場合、タッチスクリーン上に警告が表示されます。ドアのキャリブレーションを行うには、まず両方のドアの周囲に十分な空間があり乗員や物がないことを確認してから、**Calibrate** ボタンをキャリブレーションが終了してから 5 秒間押し続けてください。キャリブレーション中は、下部ドアが全開し (Model X の側面側に十分な空間が必要ですが)、上部ドアがいっぱいまで動いてからドアが閉まります。

内部からのロックとアンロック

Model X の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/ロック解除することができます。タッチスクリーンのステータスバーの ロック アイコンにタッチします。



停車して Model X パーキングにシフトした時に、ドアをアンロックするか、ロックしたままにするかを選択できます。これを行うには、「**コントロール**」>「**設定**」>「**ドアとロック**」>「**パーキング時のロック解除**」の順にタッチします。ON に設定すると、パーキングにシフトした時にドアが自動的にアンロックされます。

また、ギアセレクターの端にあるパーキングボタンをもう一度（パーキングにシフトした時に一度目を押した後）押して、ドアをアンロックして。

注: Model X をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、それを閉じたときにロックがかかります。

ドア アンロックモード

キーを携帯して車両に近づいた際に、全てのドアのアンロックするか、もしくは運転席のドアのみをアンロックするかを選択できます。これを行うには、「**コントロール**」>「**設定**」>「**ドアとロック**」>「**ドア アンロック モード**」の順にタッチしてから「**運転席**」または「**すべて**」を選択します。

チャイルドロック

Model X お子様は内部ハンドルを使用してファルコンウィング ドアやリフトゲートを開けるのを防ぐために、リア ドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックをオンまたはオフにするには、「**コントロール**」>「**設定**」>「**ドアとロック**」>「**チャイルドロック**」の順にタッチします。

注: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

走行時オートロック

Model X 走行速度が時速 8 km を超える場合は、必ずすべてのドア（トランクを含む）を自動的にロックします。

降車後オートロック

ドアとトランクは、キーを携帯して遠ざかっただけで自動的にロックすることができます。

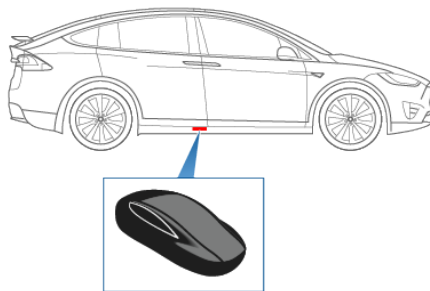
この機能をオンまたはオフにするには、「**コントロール**」>「**設定**」>「**ドアとロック**」>「**降車後オートロック**」の順にタッチします。

注: すべてのドアが閉まっているときにキーを使用して Model X のロックを解除すると、「降車後オートロック」機能は 1 分間無効になります。この 1 分以内にドアを開けた場合は、その後にすべてのドアが閉まってからキーを持って車から離れるまで、ドアは再びロックされません。

キーが動作しないときのアンロック

Model X に近づいたり、キーのアンロックボタンを押したりしてもロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、Model X をアンロックして運転することができます。

Model X をアンロック（さらにセキュリティアラームを無効に）するには、図のように、まずキーを車両のドライバー側でフロント ドアとファルコンドアの間のドアピラー下に置きます。次に運転席側のドアハンドルを押します。Model X のロックが解除されない場合は、キーの位置を調整してください。キーは必ず正しい位置にする必要があります。まだ Model X をアンロックできない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。[キーのバッテリー交換](#) - 5 ページを参照してください。



Model X を運転するには、12 V 電源ソケットの真下にあるセンター コンソールにキーを置き、ブレーキペダルを踏んだまま Model X の電源をオンにします。

注: 上記の方法で Model X のロックを解除すると、降車後オートロック機能は無効になります。この場合、キーのバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手で再び有効にする必要があります。

キーのバッテリーを交換する方法については、[キーのバッテリー交換](#) - 5 ページを参照してください。

電源が切れた状態で内部からドアを開く

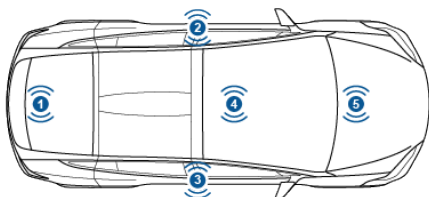
Model X の電源が切れている場合、フロント ドアは通常どおり内部ドアハンドルで開きます。リア ドアを開けるには、スピーカーグリルをドアから慎重に外し、機械式解除ケーブルを下に引き、車両の前に向けて引いてください。ラッチが解除されたら、ドアを手動で持ち上げてください。



用前に医療用電気機器の製造元にお問い合わせ下さい。

電波干渉

心臓ペースメーカーを使用している方は、キーレスシステムのキー アンテナからの電波によるペースメーカーへのあらゆる影響を防ぐために、Model X に取り付けられた任意のキー アンテナから少なくとも 22 cm 離れるようにしてください。アンテナは以下の場所に設置されています。



1. リアバンパーの中央。
2. 左側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
3. 右側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
4. センターコンソール。
5. フロントトランクの中央。

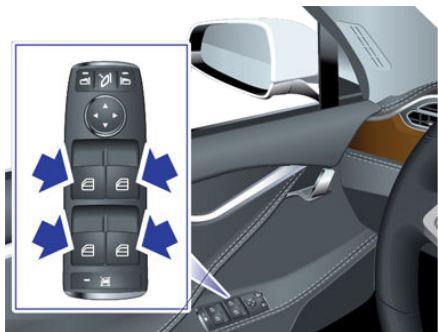
⚠ 警告：電波は医療用電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。植込み型ペースメーカーを使用している方は、想定される影響について使



ウィンドウを開ける、閉じる

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には 2 段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

警告：ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロック スイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。



警告：安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをお勧めします。

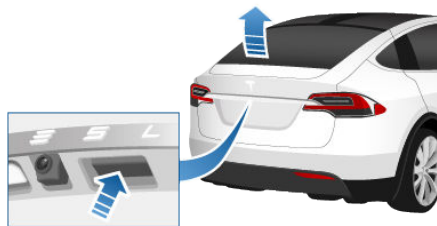
警告：お子さまを付き添いなしで Model X 内に放置しないでください。

開く

リアトランクを開くには、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- キーのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリにあるトランクボタンをタッチします。
- Model X をアンロックし、リアトランクの外側ハンドルの下側にあるスイッチを押します。

注：パッシブエントリーがオフの場合、スイッチを使用してリアトランクを手動で開けるには、キーを使用して Model X のロックを解除する必要があります。キーを使用する - 4 ページを参照してください。



ドア、またはトランク/リフトゲートが開いているとき、計器パネルの「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンにある Model X のイメージ「コントロール」ウィンドウにも開いているトランクが表示されます。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、動作が逆方向に再開されます（停止時にほぼ全開の状態または閉じた状態を除く）。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

Model X の電源が全くない状態で Model X の内側からトランクを開ける方法については、トランク内にある緊急トランクリリース - 14 ページを参照してください。

Model X が天井が低いことを検知した場合（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもリアトランク（およびファルコンウィングドア）は低めに開きます。この高さは、手動でリアトランクのドアを上げることで変更できます。Model X は、タッチスクリーンで開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ね、その設定を保存します。次回この場所でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

⚠ 警告：リアリフトゲートの開け閉めをする前に、リフトゲート周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。電動リフトゲートは障害物を検知することができますが、すべてを検出することはできません。リフトゲートを閉閉するとき、障害物の確認のためにセンサーだけに頼らないでください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

積載制限

Model X の運転を開始する前は、必ず積載物がしっかり固定されているか確認し、重いものはトランク下側にあるコンパートメントに入れます。

⚠ 注意：損傷を防ぐために、リアカーゴエリア（下側トランクコンパートメントの上部分）に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランクコンパートメントに 60 kg (175 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

閉める

電動リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

- キーのトランクボタンをダブルクリックする。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- リフトゲートの下にあるスイッチを押す（開いたときの高さを調整する - 13 ページを参照）。

通電したリフトゲートが閉じている途中で障害物を検出すると、自動的に開く動作に切り替わり、チャイムが 2 回なります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。それでも閉じない場合は、一時的に電動動作を無効にします。手動で閉めることにより、再び電動機能が働くようにします。

注：電動リフトゲートを 1 時間以上開けたままの状態にした場合にも、パークローズ機能は一時的に無効になります。

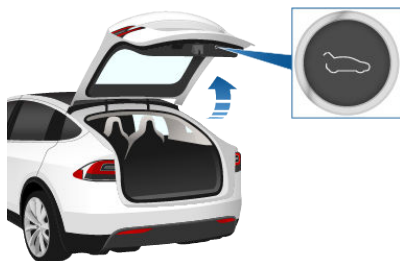
開いたときの高さを調整する

リフトゲートを開いたときの高さを、お好みの高さに調整することができます。



リアトランク

1. リフトゲートを開いてから、手動で任意の高さに下げる、または上げてください。
2. リフトゲート下方のボタンを確認のチャイム音が聞こえるまで 2 秒間押したままにします。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さがお好みの高さであることを確認します。

貨物エリアへのアクセス

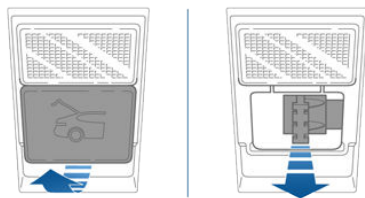
Model X リア トランクの貨物エリアにアクセスするには、カーゴ カバー ハンドルの膨んだ部分を押し下げてから引き上げてください。カーゴ カバーの位置を調整するかカーゴ カバーを完全に取り外すことが可能になります。



- 注意：**リア カーゴエリア（下側トランク コンパートメントの上半分）に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランク コンパートメントに 60 kg (175 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

トランク内にある緊急トランク リリース

また、Model X の電力が失われた場合、リア トランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。



1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リア トランクを押して開きます。

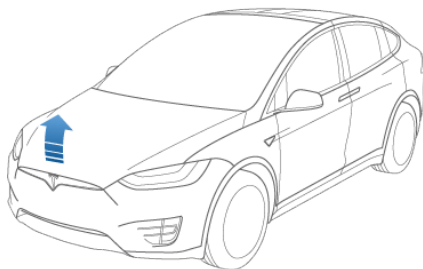
注：このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。

警告：お子様をトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子様にシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動してない場合、お子様が車両に閉じ込められると熱中症にかかるおそれがあります。

開ける

フロントトランクを開ける方法:

1. フード周辺に障害物がないことを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「フロントトランク」の順にタッチする、またはモバイルアプリのフロントトランク ボタンをタッチする、またはキーにあるフロントトランク ボタンをダブルクリックします。
3. ボンネットを引き上げます。



ドア、またはトランク/リフトゲートが開いているとき、計器パネルの「ドアが開いています」のインジケータが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウでも Model X の表示がフロントトランクのオープン状態を示します。

⚠ 警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物 (人や物) がいないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

注: タッチスクリーンを使用したり、車外からキーあるいはモバイルアプリを使って Model X をロックした場合、Model X からキーを持って離れる (降車後オートロック - 10 ページが有効となっていること)、またはパレーモードが有効になっているとき (パレーモード - 44 ページを参照) は、フロントトランクが閉じている間、常にロックされます。

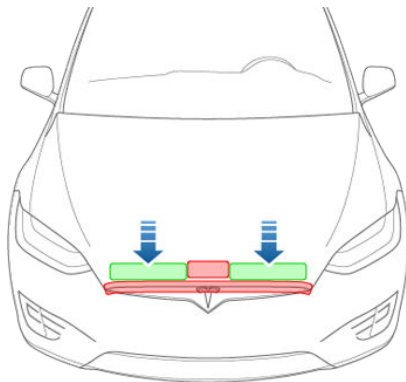
閉める

Model X ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。

2. ここで示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



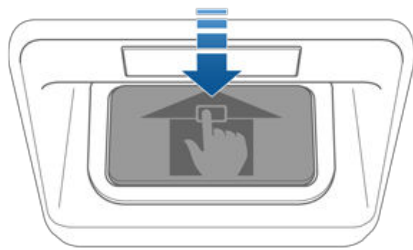
⚠ 注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。

⚠ 警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆつくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。





内部解除ボタンを押して、フロントトランクを開けて、ボンネットを押し上げます。

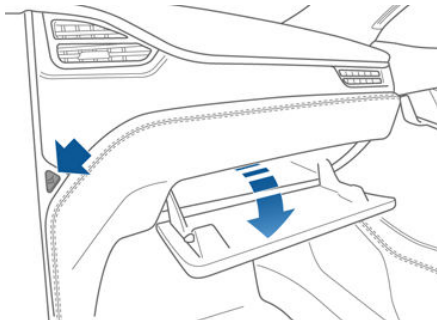
注: 周囲の光に少しでもあたると、インテリア リリース ボタンが点灯します。

警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。

警告: フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンを押してトランクが開いてしまうことのないよう注意してください。

ウィンドウを開ける、閉じる

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。グローブボックスを5分間以上開けたままにしておくと、グローブボックスのライトが自動的に消灯します。



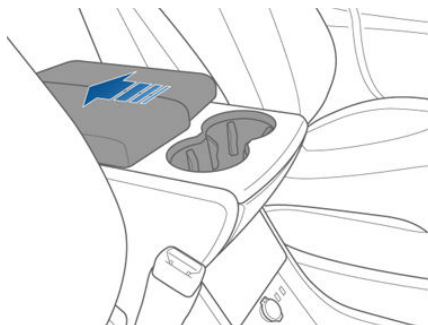
注：キーまたは降車後オートロック機能で Model X を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model X がパレーモードにある時もロックされます（[パレーモード](#) - 44 ページを参照）。Model X をタッチスクリーンでロックしたときは、グローブボックスはロックされません。

⚠ 警告：走行時はグローブボックスを開め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

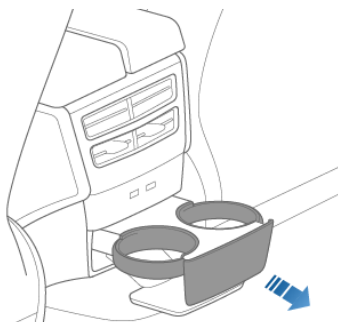


カップホルダーを開ける、閉じる

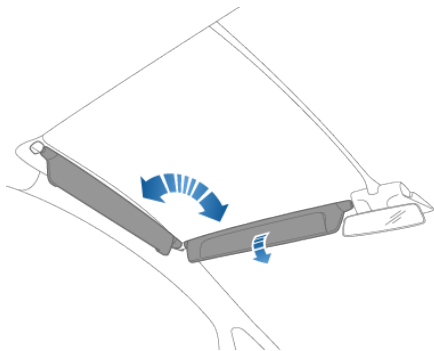
フロント カップ ホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。



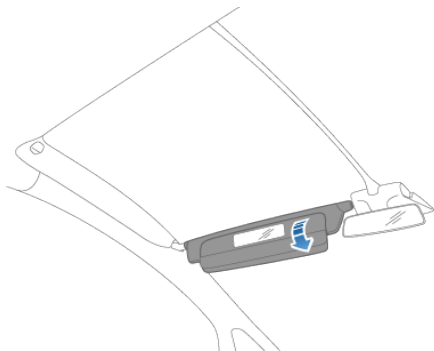
リア カップ ホルダーを出すには (車両に装備されている場合)、センター コンソール後部にあるカップホルダーのフェース プレートを押して離します。



Model X のサンバイザーはマグネットで固定されています。フロントガラスから入り込む日差しを遮るには、ビラーからサンバイザーを外しマグネットで固定される位置までバックミラーに向けて回転させます。マグネットで所定の位置に固定されたら、サンバイザー下側のエクステンダーを張り出し日よけを最大にします。



バニティミラーを使用するには、バイザーエクステンダーを下げてミラーカバーを下げます。カバーを下げると、ミラーが現れライトが点灯します。



前席にいる人が横の窓から入り込む日差しを遮りたい場合は、ビラーからサンバイザーを下げてバイザーエクステンダーを下げます。



正しい運転位置

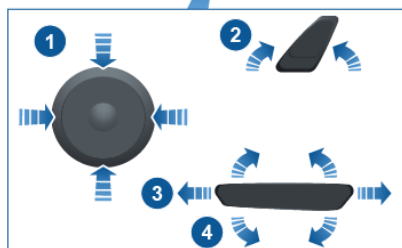
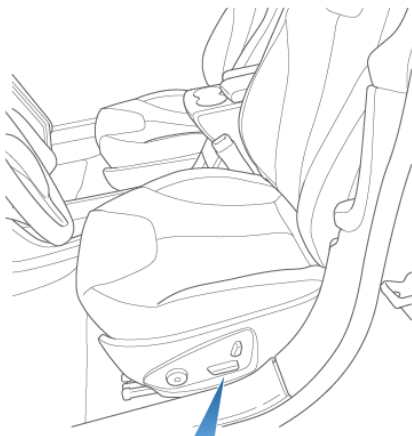
シート、ヘッド拘束装置、シートベルト、およびエアバッグは連動し、乗員の安全性を最大限確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。



シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートのリクライニングが 30° を超えないようにします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 25 cm 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

運転席シートの調整



1. ランパー サポートを調整する。

注: このボタンを使用してヘッドサポートを上下に動かすこともできます（[ヘッドサポート/拘束装置 - 25 ページ](#)を参照）。このボタンをタッチすると、タッチスクリーンにシートのイメージ画像のあるポップアップが表示されます。画像のランパー部分が青色にハイライト表示されていない場合、画像のランパー部分をタッチしてランパー サポートを調整するよう指定します。選択した調整は再度調整するまでそのまま保持されます。

2. バックレストを調整する。
3. シートを前後に移動させる。
4. シートの高さと傾きを調整する。

⚠ 警告: フロント シートを調整する前に、シートの周りに何も無いことを確認してください（人や荷物など）。

⚠ 警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は



必ず、シートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

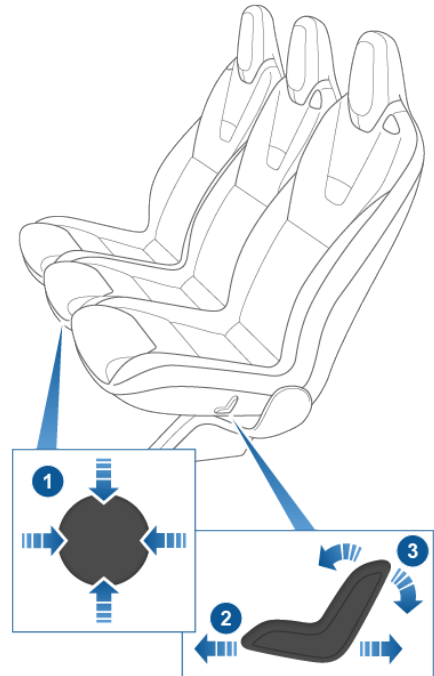
2 列目シートのモノポスト調整

購入時に選択されたオプションにより、モノポストシートが装備された Model X なら 2 列目に 2 人または 3 人の人が座ることができます。これらのシートの位置の調整には 2 つの方法があります。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「シート」の順にタッチします。タッチスクリーン上のアイコンを長押しして、希望のシートを調節してください。白いアイコンはシートを動かせる方向を示し、グレーのアイコンはその方向にはそれ以上シートを動かさないことを示します。

注：必要があれば、モノポストシートを前方に動かせるようにフロントシートを少し前に移動します。

- 以下のイラストにあるように手動調整を使用します。シートを前後に移動させるだけでなく、手動のシート位置調整では背もたれの調整も可能です。外側シートのコントロールボタンは L 字型をしており、中央のシートのコントロールボタンは円形ですが、両方とも同じ機能を提供します。



1. シートを前後に動かし (コントロールを上下に操作)、背もたれの位置を調整 (コントロールを左右に操作) します。



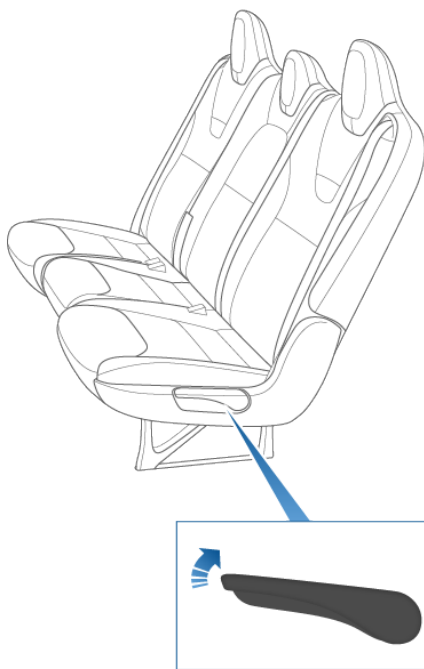
2. シートを前後に移動させる。
3. バックレストを調整する。

注:バックレストは、レバーを離したときの位置にロックされます。走行用ギアにシフトしたときにバックレストがロックされていないと、インストールメントパネルが警報を表示します。バックレストを調整し直して、ロックされていることを確認します。

警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

2 列目ベンチシートの調整

Model X が 2 列の座席仕様の場合、2 列目のベンチシートは最大 3 名を乗せることができます。各シート外側にある機械式調整レバーを使用して、背もたれを折りたたむ、またはリクライニングさせます。ベンチシートは 6 対 4 で分割され、左側にある調整レバーは左側と中央のシートの背もたれを動かします（それに対し、右側のレバーは最も右側にある背もたれを動かします）。レバーを引き上げている間に背もたれを任意の位置に動かしたらレバーを離します。背もたれを直立位置に戻したときは、押し下り引いたりしてラッチがその位置でしっかりはまっていることを確認してください。



Model X が 3 列仕様の場合は、上記のシートバックの調整に加え、外側の各座席の下にある機械式レバーを使用すれば 2 列目のシートを前後に移動することができます。左側のレバーは左側と中央のシートを動かし、右側のレバーは 6 対 4 で分割されたベンチシートの右側シートのみを動かします。レバーを引き上げて、シートを前後に動かし、希望の位置でレバーを離します。



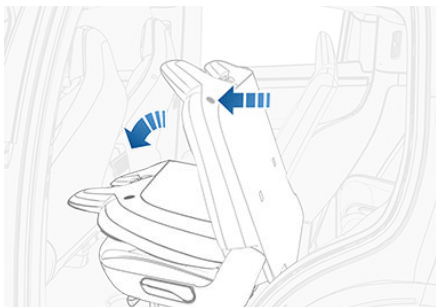
注：機械式レバーのみでベンチシートを調整することができます。(ベンチシートをタッチスクリーンで調整することはできません)。5人乗り仕様の車両ではベンチシートを前後に移動することはできません。7人乗り仕様の車両のベンチシートは前後に動かすことができます。

⚠ 警告：走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

2 列目ベンチシートの折り畳み

Model X の 2 列目ベンチシートをフラットに折り畳むことができます。2 列目シートを折りたたむ前に、シートやリア シートの足元スペースにある物を取り除いてください。2 列目シートの背もたれを完全にフラットにするには、フロントシートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。

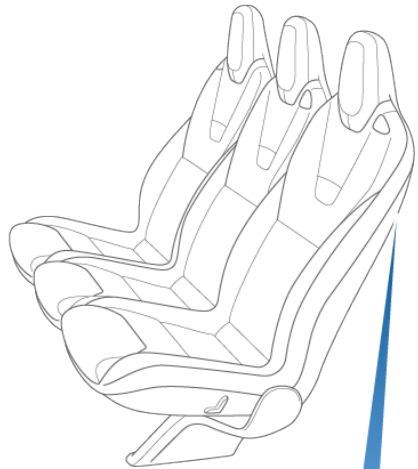
2 列目のベンチシートをフラットに折り畳むには、各外側シートの側面にある機械式レバーを引き上げて、背もたれをフラットに折り畳みます。左側にある調整レバーは左側と中央のシートの背もたれを動かし、右側のレバーは最も右側にある背もたれを動かします。



3 列目シートへのアクセス

2 列目シートにモノポストシートが装備されている場合の 3 列目シートへのアクセス：

イージーエントリー ボタンは、3 列目シート（装備されている場合）に乗っている人が簡単に押して乗り降りできるよう 2 列目外側のモノポストシートに設けられています。イージーエントリー設定が有効になっているとき（デフォルトではオンになっています）、外側にあるシートを傾けて最前位置まで動かし、イージーエントリーボタンを一回押すだけで中央にあるシートを前に動かすことができます。イージーエントリーが無効になっていると（チャイルドシートを取り付けている場合は無効にしておくことが推奨されます）、イージーエントリー ボタンを押してシートを動かす必要があります。「コントロール」>「設定」>「車両」>「イージーエントリー」>「オフ」をタッチして、イージーエントリー ボタンの 1 回押しを無効にします。イージーエントリーで 3 列目のモノポストシートにアクセスしたら、外側のシートのいずれかの背もたれにあるイージーエントリーボタンを押すだけでシートを元の位置に戻すことができます。

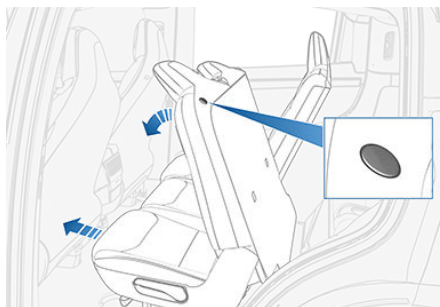


2 列目シートにベンチシートが装備されている場合の 3 列目シートへのアクセス：



イージーエントリー ボタンは、3 列目シート（装備されている場合）に乗っている人が簡単に押して乗り降りできるよう 2 列目外側のベンチシートに設けられています。左外側シートのイージーエントリー ボタンを押して離すと、左側シートと中央のシートが前方に傾き移動します。右外側シートのイージーエントリー ボタンを押して離すと、右側シートが前方に傾き移動します。イージーエントリー を使用して 3 列目シートにアクセスした後、ベンチシートを元の位置に戻したら、シートをゆすってラッチがしっかりかかっていることを確認します。

注：2 列目にベンチシートが装備されている場合、イージーエントリー ボタンを押して離せば 3 列目シートにアクセスすることができます。



傾斜地に駐車したときや、シートトリムがベンチシートの動きに影響を与えるときなど、イージーエントリー ボタンを押してもベンチシートが完全に前に動かないことがあります。その場合は、トラックの端に達するまでゆっくりとシートを押してください。

イージーエントリー が作動すると、2 列目モノポストまたはベンチシートがぶつかる位置にフロントシートがある場合、2 列目シートを前方に移動させるのに十分なだけフロントシートが自動的に移動します。

注：2 列目シートが前方へ移動中に調整しようとするとその動きが止まります。

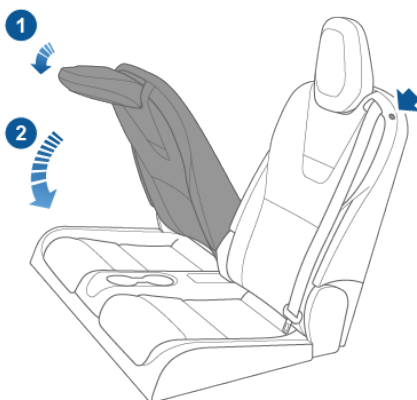
注：外側シートがイージーエントリー のために傾けられたとき、そのバックレストは中立位置にリセットされますので、再調整が必要になります。

⚠ 警告：イージーエントリー 機能を使用する際は、乗車している人を検知して動作させることを Model X のみに頼らないでください。イージーエントリー は、座席が空いている場合でのみ使用してください。

3 列目シートの折りたたみ

Model X に 3 列目シートが搭載されている場合は、折りたたむ前にシートやリアシートの足元スペースにある物を取り除いてください。3 列目シートバックを完全に平らにするには、2 列目シートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。

3 列目シートを折りたたむには、シートの外側上部のかどにあるボタンを押します。ボタンには 2 つの戻り止めがついています。



1. ヘッド拘束装置を前にたたみます。
2. シートを前方にたたみます。

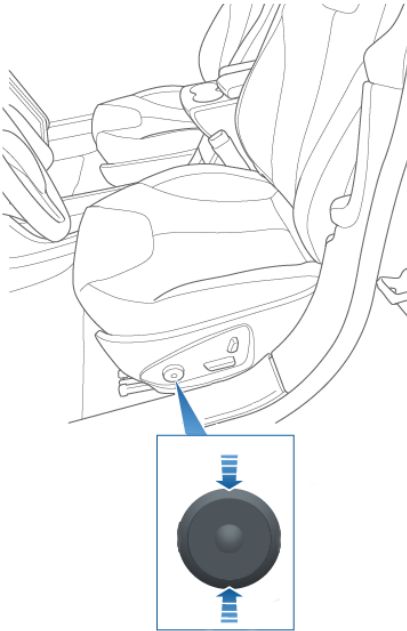
注：必要があれば、3 列目シートを前方に動かせるように 2 列目シートを少し前に移動します。

注：シートの位置を高くするには、シートの外側上部にあるボタンを押したまま、シートが固定される位置までシートを後ろ上方へ引きます。シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

⚠ 警告：シートバックが必ず、直立位置でロックされているようにしてください。これを怠ると事故の危険が増します。

ヘッドサポート/拘束装置

シートにある丸ボタンを押すとヘッドサポートを上下に動かすことができます。シートのランバーサポートの調節にも同じボタンを使用することができます（[運転席シートの調整](#) - 20 ページを参照）。このため、このボタンをタッチすると、タッチスクリーンにシートの画像がポップアップで表示されます。画像に示されるヘッドサポートが青色にハイライト表示されていない場合、画像のこの部分をタッチしてこのヘッドサポートの調整を指定します。選択した指定は再度調整するまでそのまま保持されます。ヘッドサポート設定はドライバープロフィールに保存することができます（[ドライバープロフィール](#) - 43 ページを参照）。



2 列目シートおよび 3 列目シートには調節機能のないヘッドサポートが装備されており、これは取り外しできません。しかし、3 列目シートのヘッドサポートは折りたたんで格納することができます（[3 列目シートの折りたたみ](#) - 24 ページを参照）。

シートヒーター

フロントシートは 3 (強) から 1 (弱) の 3 つのレベルで動作するヒーターパッドを備えています。シートヒーターの操作方法は、[温度調整](#) - 120 ページを参照してください。

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、全てのリアシートと加熱式ワイパー、ウォッシャーノズルを「[コントロール](#)」>「[寒冷地設定](#)」の順にタッチすることで操作できます（[コントロール](#) - 113 ページを参照）。

⚠ 警告：長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

⚠ 警告：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。



シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

運転席と助手席の両方に、3点慣性リールシートベルトが装備されています。慣性リールシートベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置にALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALRが作動してベルトがロックされます。バックルが外されないかぎりベルトはロックされたままです（**シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける** - 33 ページ参照）。

シートベルトリールは、Model X が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の身体移動を防止するために自動的にロックされます。

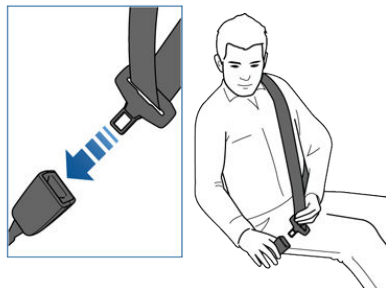


インストゥルメントパネル上のシートベルトリマインダーは、座席にいる乗員がシートベルトを着用していない場合に警告を出します。シートベルトが着用されないままの状態であると、リマインダーが点滅し断続的なチャイム音を鳴らします。すべての乗員がシートベルトを着用したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、Tesla にご連絡ください。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します（**正しい運転位置** - 20 ページを参照）。
2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

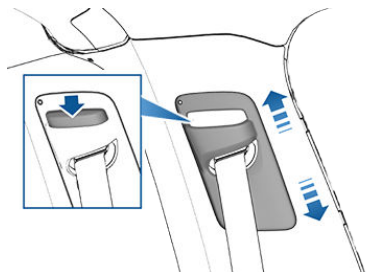


4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model X には各フロントシートに調節可能ショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（**正しい運転位置** - 20 ページ参照）にあるとき、鎖骨の中間点を横切って平らになるはずですが、シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダー アンカーの高さを調整します。

1. ショルダー アンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押さえたまま、必要に応じてショルダー アンカーを上下に動かして、シートベルトが正しい位置に調整します。



3. ショルダー アンカーのボタンを離して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルト ウェビングを引っ張り、ショルダー アンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

⚠ 警告：運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダアンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダアンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを着用するには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Teslaにご連絡ください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置になるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。

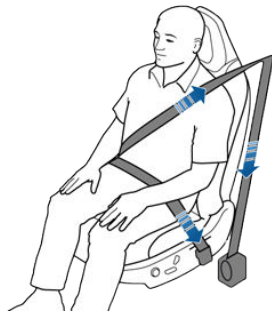


⚠ 警告：衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

前席シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルトアンカーとシートベルトウェビングを巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。

リア外側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトウェビングを巻き取るためのショルダプリテンショナーが装備されています。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

⚠ 警告：シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで3つの簡単な点検を行ってください。

1. シートベルトを着用している状態で、バックルに最も近いウェビングを素早く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. ベルトを外した状態で、ウェビングを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ウェビングに摩擦がないか確認します。ウェビングを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
3. ウェビングを半分引き出した状態で、タングプレートを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、Teslaにただちにご連絡ください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルト - 157 ページ](#)を参照してください。



シートベルトに関する警告

-  **警告：**シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。誤って取り付けられている場合、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告：**小さなお子様は適切なチャイルドシートに安全に座らせてください ([チャイルドシート](#) - 29 ページを参照)。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
-  **警告：**すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。
-  **警告：**ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
-  **警告：**ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
-  **警告：**シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
-  **警告：**衝突事故で着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla が点検または交換をしなければなりません。
-  **警告：**シートベルトに摩耗の兆候 (擦り切れなど) がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、必ず Tesla に交換を依頼してください。
-  **警告：**シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。Tesla にご連絡ください。
-  **警告：**シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。ベルトが緩むと、乗員保護の効果が大幅に減少します。
-  **警告：**シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
-  **警告：**シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla にご連絡ください。

お子さまを乗せるときのガイドライン

乳幼児等の子供は年令、体重、身長に合ったチャイルドシートで身体を固定する必要があります。助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。助手席用フロントエアバッグを無効にするには、[#unique_95](#) - をご参照ください。

⚠ 警告：「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートでチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。

注：2 列目モノポストシートが装備されている Model X で 2 列目シートにチャイルドシートを取り付けている場合は、常にイージーエントリーを無効にすることが推奨されます ([3 列目シートへのアクセス](#) - 23 ページを参照)。

のサンバイザーにつけられたラベルを参照してください。

注：以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。





チャイルドシートを選ぶ

シートベルト保持式のチャイルドシートおよび ISOFIX チャイルドシートの種類はお子さまの体重に合わせて選ぶ必要があります。次の表をガイドラインとして参照してください。

シートベルト保持式チャイルドシート

モノポストシート：

質量グループ		助手席*	2 列目	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U
グループ 0 +	13 kg 以下	L**	U	U
グループ I	9～18 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF**	U、UF	U、UF

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。

UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。

L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** シートは最後部かつ最も高い位置に配置しなければなりません。

ベンチシート：

質量グループ		助手席*	2 列目外側 (60%)	2 列目中央	2 列目外側 (40%)	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U	U	U
グループ 0 +	13 kg 以下	L**	U	U	U	U
グループ I	9～18 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。

UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。

L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** シートは最も後ろに引いて、背もたれを直立位置にする必要があります（最後部位置と直立位置のみ）。



ISOFIX* チャイルドシート

モノポスト シート:

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席*	2 列目外側シート	2 列目中央シート	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
グループ 0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
		D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	X	X	IL**
グループ I	9~18 kg	D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	X	X	IL**
		B	F2	X	IUF	X	IUF
		B1	F2X	X	IUF	X	IUF
		A	F3	X	IUF	X	IUF

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています（〔特定車両〕、「制限」、または「準汎用」カテゴリーのチャイルドシートシステム）。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** 汎用チャイルドシートが後列（右または左側）に取り付けられている場合、2 列目中央とチャイルドシートシステムの前方にある外側シートを使用することはできません。これは、汎用チャイルドシートシステムに対応するためにシートを完全に前方に動かす必要があるためです。



ベンチ シート:

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席*	2 列目外側シート	2 列目中央シート	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
グループ 0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
		D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	IL	X	IL**
グループ I	9~18 kg	D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	IL	X	IL**
		B	F2	X	IUF	X	IUF
		B1	F2X	X	IUF	X	IUF
		A	F3	X	IUF	X	IUF

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています (「特定車両」、「制限」、または「準汎用」カテゴリのチャイルドシートシステム)。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** 汎用チャイルドシートが後列 (右または左側) に取り付けられている場合、2 列目中央とチャイルドシートシステムの前方にある外側シートを使用することはできません。これは、汎用チャイルドシートシステムに対応するためにシートを完全に前方に動かす必要があるためです。

注: ISOFIX は、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格です。

注: お子さまとチャイルドシートを合わせた重量が 29kg を超える場合、Tesla はシートベルトとトップテザーストラップでチャイルドシートを取り付けることを推奨します。安全なうえ、シートベルト警告灯が確実に消灯するという利点があります。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。ブースターシートを固定する際は必ず、メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の2通りがあります。

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します(シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける - 33 ページを参照)。
- ISOFIX で取り付ける - 後部座席に組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます (ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける - 33 ページを参照)。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書およびチャイルドシート - 29 ページの表を参照して、取り付け方法を確認してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR (自動ロック式巻き取り装置) が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されウェビングが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ウェビングが完全に伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、

ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

- チャイルドシートを Model X の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



- シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model X の座席にしっかりと押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
- シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます (テザーストラップ上部を取り付ける - 36 ページを参照)。

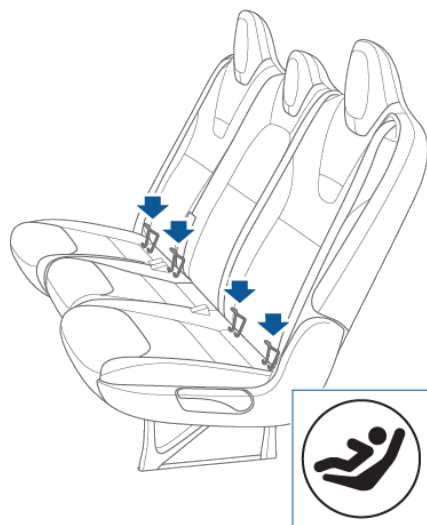
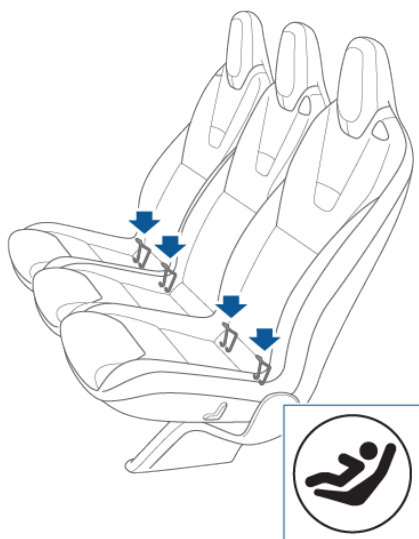
ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける

ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカーには用意されており、座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

モノポストシート:



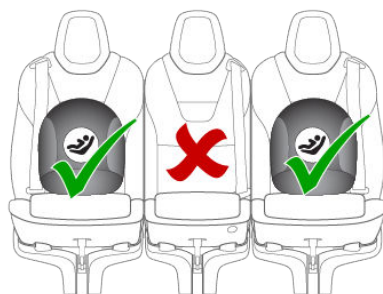
ベンチ シート:



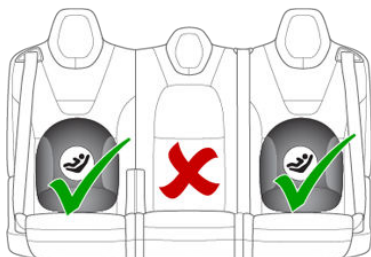
2 列目に、ISOFIX チャイルドシートを外側のシート位置だけに取り付けてください。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

注: Model X の 2 列目が 2 座の場合、いずれのシートも ISOFIX チャイルドシートに対応しています。

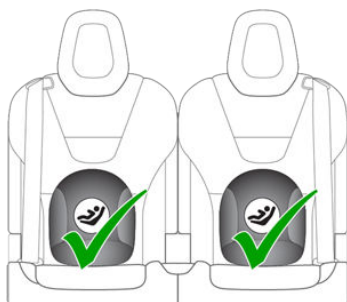
モノポストシート:



ベンチ シート:

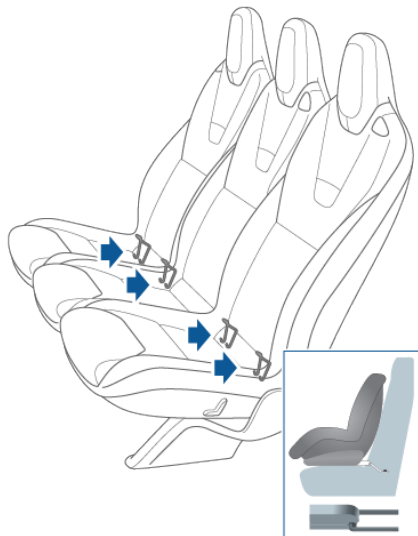


3 列目が装備されている場合、3 列目には ISOFIX チャイルドシートをどちらのシート位置にも取り付けることができます。

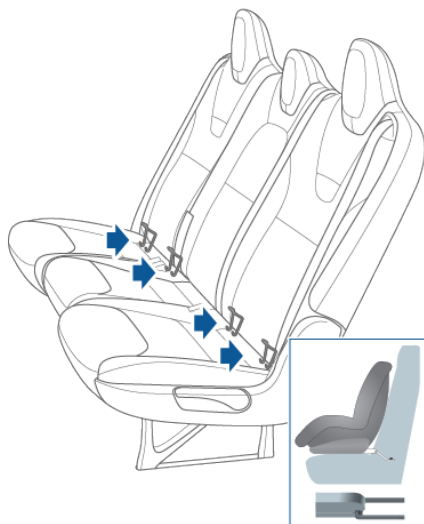


ISOFIX チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバー上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

モノポスト シート:



ベンチ シート:



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。



注：お子さまの体重とチャイルドシートの重さの合計が 29 kg (65 lbs) を超える場合は、下側ラッチアンカーを安全ベルトが統合されているチャイルドシートまたはブースターシートに使用しないでください。この場合は代わりに安全ベルトを使用してください。

テザーストラップ上部を取り付ける

トップテザー ストラップがある場合、2 列目および 3 列目の後部にあるアンカー ポイントのフックに取り付けてください。

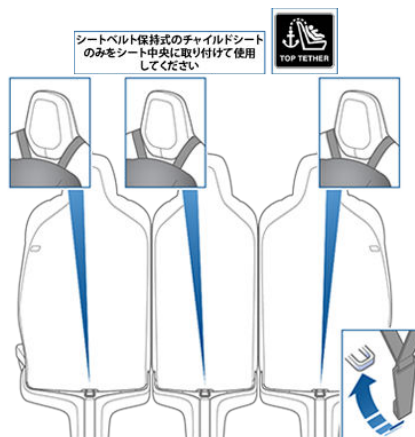
注：アンカーの位置はすぐに目の付くところにありませんので、シート布地の切れ目を探してください。

警告：チャイルドシートの製造元の説明書に従い、テザーストラップ上部を締め付けてください。

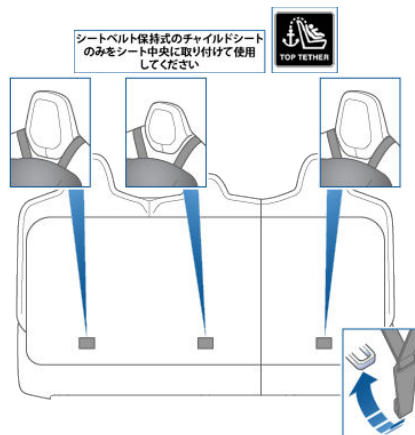
警告：シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

デュアルストラップ テザーでは、ヘッド拘束装置の両脇にストラップを通します。

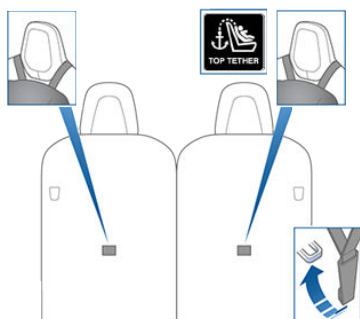
デュアル トラップ - 2 列目モノポスト シート：



デュアル トラップ - 2 列目ベンチ シート：

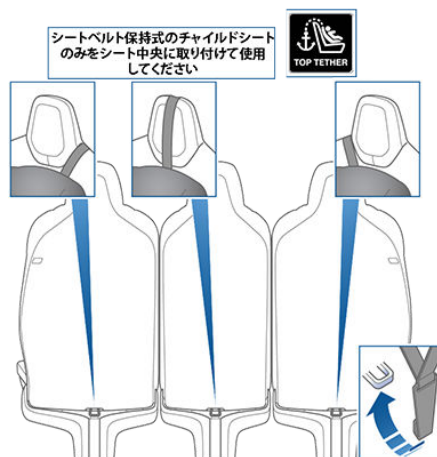


デュアルストラップ - 3 列目シート

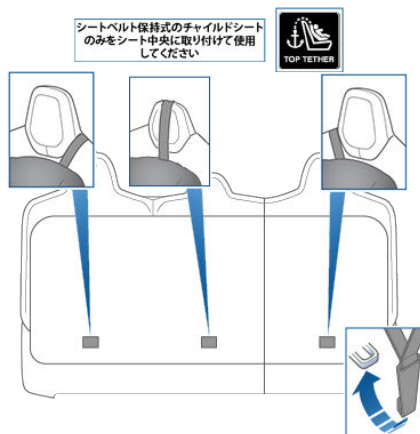


シングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドレストの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）から着座位置の外側に配置します。中央の着座位置で（装着されている場合）、ストラップはヘッドレスト上部の上から中央に置きます。

シングルストラップ - 2 列目モノポストシート:

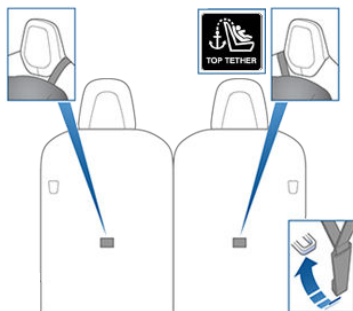


シングルストラップ - 2 列目ベンチシート:





シングルストラップ・3列目シート



注：Model X に 6 シート インテリアがオプションで搭載されている場合、2 列目の中央シート位置は利用できません。

チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが 2.5 cm 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは ISOFIX チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシート警告

- 警告：**助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。
- 警告：**作動可能状態のエアバッグで保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。サンバイザーにある警告ラベルをお読みください。
- 警告：**チャイルドシートシステムは、膝ベルト、あるいは 3 点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険になります。

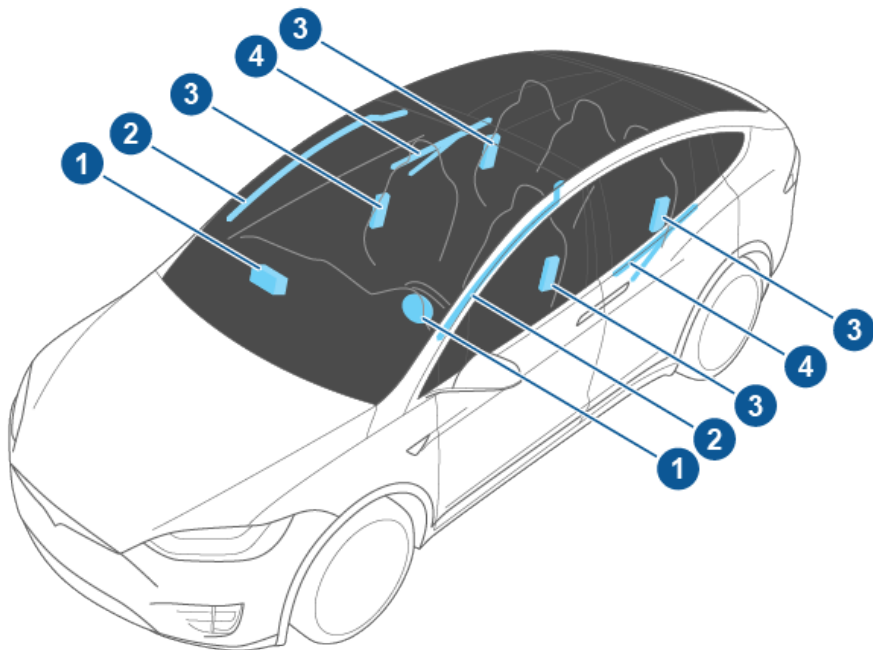
- 警告：**衝突事故に関する統計によると、前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- 警告：**お子さまが体重 9 kg 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- 警告：**小さいお子さまを膝上にのせるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- 警告：**お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- 警告：**お子さまはできるだけ長期間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- 警告：**チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。
- 警告：**より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかりと着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- 警告：**2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。
- 警告：**チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトとハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- 警告：**ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- 警告：**お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
- 警告：**衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対に再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

エアバッグの位置

エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model X は、前席の両窓際座席にエアバッグと座席用安全ベルトを装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注：右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. フロントエアバッグ
2. カーテンエアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. ドア搭載エアバッグ



エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。

エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

ヘッドエアバッグは、通常は追突、横転、正面または側面の軽微な接触、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。このため、車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあり、逆に、構造的な破損の場合には、比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。

障がいをお持ちの方のために、エアバッグシステムに影響が及ぶような改造をお考えの場合は、Tesla までご連絡ください。

エアバッグの種類

Model X は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- **先進フロント エアバッグ:** フロント エアバッグは、お子様や小柄な大人が乗車されていてもエアバッグが膨らんだ時になるべく怪我をしないように設計されたエアバッグです。運転席のフロント エアバッグはシート位置センサーで作動し、乗員の座っている位置をもとに展開レベルを調整します。フロントの助手席にお子様を座らせる場合のすべての注意事項に従ってください。乳幼児または小さなお子様の安全のために、助手席ヘッド エアバッグはオフにしなければなりません。
- **シート搭載サイドエアバッグ** 前列運転席、助手席、後部窓際席それぞれにシート搭載サイドエアバッグが装備されています。シート搭載サイドエアバッグは胸郭および骨盤を保護します。それらは、側面から大きな衝撃を受けた場合、あるいは斜め前方から大きな衝撃を受けた場合に展開します。シート搭載サイドエアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。窓側席の背もたれを前方に完全に倒した状態では、サイドエアバッグが展開しません。
- **カーテン エアバッグ:** カーテン エアバッグはモデル X の両側のフロント ルーフレールに搭載されています。カーテン エアバッグは頭部を保護するもので、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、または車両が横転したときに展開します。カーテン エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。
- **ドア搭載エアバッグ:** Model X のファルコンウィングドア両方のトリムにエアバッグが設置されています。これらはカーテン エアバッグと同じで頭部を保護し、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときに展開します。ドア搭載エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。

助手席ヘッドエアバッグを OFF にする

お子さまが助手席に乗車するときは（乳児用または小児用チャイルドシートを利用する場合でも）お子さまが衝突時にエアバッグでけがをしないように助手席ヘッドエアバッグをオフにする必要があります。

注：お子さまをチャイルドシートで乗車させるときは、できるだけリアシートに乗車させてください。

車両の助手席側フロントとサイドのエアバッグの設定を行うには、「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「助手席 フロントエアバッグ」の順にタッチします。「オフ」をタッチして、エアバッグを手動で無効にします。

⚠ 警告：手動で無効にする時は、フロントの助手席に座る大人の乗員を保護するために必ず「オン」をタッチして再度手動で有効する必要があります。

エアバッグが OFF になっている場合、助手席エアバッグのステータスがタッチスクリーンの右上に表示されます。（エアバッグが ON となっている場合ステータスは表示されません。）このインジケータをタッチして前述の設定を表示させることもできます。



オフにする操作をしたのにエアバッグがオンになっている場合（あるいはその逆の場合）は、直ちに Tesla までご連絡ください。

注：Model X は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。

⚠ 警告：お子さまが助手席に乗車するとき、フロントエアバッグをオフになっていることを確認することはドライバーの責任となります。エアバッグをオフにするために、乗員感知システムに頼らないでください。お子様を助手席に乗せて運転する前は、タッチスクリーンの右上角にある助手席エアバッグ ステータスを必ずチェックしてください。

⚠ 警告：助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 警告：助手席エアバッグのコントロールが機能していないと思われる場合は、助手席に人を乗

せないようにしてください。ただちに Tesla に連絡して車両点検を受け、必要であれば修理を依頼してください。

エアバッグ展開の影響

⚠ 警告：エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が衝突したときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナー、その他関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの膨張以外に以下のようなことが起こります。

- ドアおよびリフトゲートがアンロックされ。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧系統が OFF になります。

バッテリー電源を復旧させるには、タッチスクリーンで Model X を OFF にしてから（**停止** - 49 ページを参照）、ブレーキを踏んで再度オンにします。

エアバッグ インジケータ



エアバッグ システムが故障している際は、インストールメントパネルのエアバッグ インジケータが点灯したままになります。このインジケータが点灯するのは本来 Model X を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままの状態の場合は、運転するのを控え、ただちに Tesla にご連絡ください。

エアバッグについてのご注意

⚠ 警告：エアバッグの上や近くに物を置くと、車両がエアバッグが膨らむほど強く衝突した際に怪我をすることがありますので置かないでください。

⚠ 警告：衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

⚠ 警告：フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。



-  **警告**：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。
-  **警告**：エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。
-  **警告**：前方でエアバッグが作動するシートにはチャイルドシートの使用を控え、お子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。
-  **警告**：サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model X の側面の間のすきまはふさがないでください。
-  **警告**：助手席に座る人はドアに頭をもたれかからないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。
-  **警告**：乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。
-  **警告**：ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。また、エアバッグが作動するほどの重大な衝突事故のときは、それらの物によって大けがをする可能性もあります。
-  **警告**：展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。

ドライバープロフィールの作成

運転席シート、ハンドル、または運転席側ミラーの調整を初めて行う場合、タッチスクリーンがこれらの情報を保存するようにドライバープロフィールを作成して保存するようメッセージを表示します。プロフィールにはタッチスクリーンの「設定」ウィンドウを使用して好みの値を他にも複数保存することができます。



新しいドライバープロフィールを追加するには、「コントロール」>「設定」>「ドライバープロフィール」の順にタッチします（タッチスクリーンのステータスバーにあるドライバーアイコンをタッチすることもできます）。**ドライバーの追加**をタッチして、ドライバーの名前を入力し、**プロフィールを作成**をタッチします。画面の指示に従い、ドライバープロフィールにシート位置を保存します。ドライバーに合わせて運転席とハンドル位置を自動的に調整するイージーエントリー設定を保存（または既存のものを使用）したい場合は、「**イージーエントリーを利用**」チェックボックスにチェックを入れ、Model X への出入りをより便利にすることもできます。

プロフィールの保存またはドライバープロフィールの選択後、ハンドル、運転席シート、または運転席側ミラーの位置を変更すると、新しい位置を保存するか、または前回保存した位置を復元するかを選択するメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

Model X をドライバープロフィールに基づいて調整するには、ドライバープロフィールアイコンをタッチしてドライバー名を選択します。保存されている調整内容が自動的に適用されます。

注：パレー モードは、速度制限および Model X の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです（**パレーモード** - 44 ページを参照）。

イージーエントリー

イージーエントリー設定を定義すれば、Model X への出入りを容易にするようハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージーエントリー設定がドライバープロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトしてシートベルトを外すと、車の出入りが容易になるよう、ハンドルと運転席が自動的に調整されます。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された設定（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキー）を使用します。

イージーエントリーを設定するには、「コントロール」>「設定」>「ドライバーのプロフィール」の順にタッチします（または、タッチスクリーンのステータスバーにあるドライバーアイコンをタッチすることもできます）。ドライバーのプロフィールを選択し、**イージーエントリー** チェックボックスをチェックし、画面の指示にしたがって、Model X に入力する際のハンドルと運転席の位置決め方法を保存します。設定されると、イージーエントリーのプロフィールがドライバーのプロフィールリストに表示され、ドライバーはこれらの設定を使用して出入りが行えます。

ドライバープロフィールの復元



ドライバーのプロフィールに合わせて Model X を調整するには、タッチスクリーンのステータスバーにあるドライバープロフィールアイコンにタッチしますそして、ドライバーを選択すると Model X はそのドライバーのプロフィールで保存されている設定に合わせて調整されます。

保存内容を確認

ドライバーのプロフィールに関連付けられている設定を確認するには、「コントロール」>「設定」>「ドライバーのプロフィール」をタッチします。次に、「**保存内容を確認**」にタッチします。ポップアップウィンドウには、ドライバーのプロフィールに保存されているすべての設定が一覧表示されます。

注：ドライバープロフィールに関連付けられている設定は、現在 Model X にインストールされているソフトウェアのバージョンにより異なります。



ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバー プロフィールを特定のキーにリンクさせ、そのキーを持って車両に近づくと運転席側ドアを開き、Model X が正しいドライバー プロフィールを自動的に選択できるようにします。ドライバー プロフィールをキーにリンクさせるは、キーを持って Model X に乗り込み、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「設定」>「ドライバー プロフィール」の順にタッチします。キーにリンクさせたいドライバー プロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」をタッチします。

注: Model X 一度に検出するキーは 1 つのみです。ドライバー プロフィールはその時点で車両が検出したキーにリンクされます。そのため、ドライバー プロフィールを複数のキーにリンクさせたい場合は、リンク確立手順を行っている間、ドライバー プロフィールをリンクさせたいキーのみが検出範囲内にあるようにしてください。その他のすべてのキーは検出範囲外 (Model X から少なくとも 1 メートル 離れた場所) に移動します。

注: Model X 一度に 8 個までのキーをリンクさせることができます。1 件のドライバー プロフィールにつきキーを 1 つリンクさせることができます。

ドライバー プロフィールとキーのリンクを解除するには、「コントロール」>「設定」>「ドライバー プロフィール」をタッチします。ドライバー プロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」の横にある **X** をタッチします。

パレーモード

Model X がパレー モードになっているときは、次の制限が適用されます。

- 速度は時速 113 km 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されています。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされました。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーション システムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になりました。
- ほとんどのステータス バーの機能が無効になりました。
- モバイル アクセス 設定が無効になりました。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- 呼び出し機能は無効です。

- WiFi と Bluetooth が無効です。Model X がパレー モードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。

注: Bluetooth でペアリングされた機器または既知の WiFi ネットワークがパレー モードでの操作範囲内 (約 9 メートル) に Model X ある場合、Model X はそれに接続されます。

パレー モードの開始

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンの Tesla の「T」の文字の隣にあるドライバーのプロファイルアイコンにタッチしてから、「**パレー モード**」にタッチします。

パレー モードを初めて使用する場合は、パレー モードのキャンセルに使用する 4 桁の PIN を作成するように求められます。

パレー モードが動作している場合、インストゥルメントパネルの速度計の上に「**パレー (Valet)**」の文字が表示され、タッチスクリーンにはパレー モードのドライバー プロフィールが表示されます。

また、モバイル アプリを使って、パレー モードを開始またはキャンセルすることもできます (Model X のギアがパーキングに入っていることが前提)。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: PIN を忘れた場合は、Model X 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます (パレー モードもキャンセルされます)。モバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。

⚠ 警告: トレーラーを牽引しているときにはパレー モードを使用できません。トルクの制限により、Model X ではトレーラーを引きながら坂道を登ることが困難になることがあります。

パレー モードのキャンセル

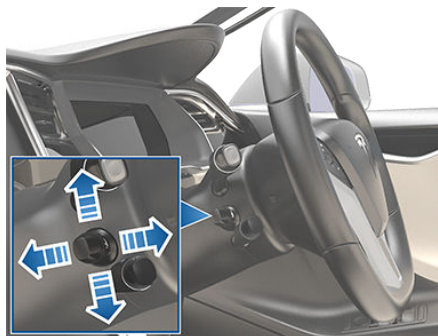
Model X をパーキングにして、タッチスクリーンのステータス バーの「**パレー モード**」ドライバー アイコンにタッチし、4 桁の PIN を入力します。

パレー モードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバー プロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: パレー モードをキャンセルするにはモバイル アプリから PIN を入力する必要はありません。

位置の調整

シフトレバーの左側にあるノブを動かしてハンドルを好みの運転位置に調整します。このノブで、ステアリングホイールを前後上下に動かすことができます。



⚠ 警告：運転中に位置を調整しないでください。

感度の調整

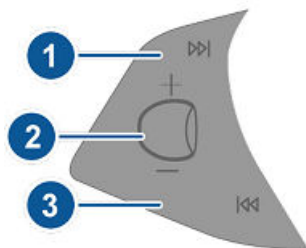
ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで「コントロール」にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - コンフォート：ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model X の運転と駐車が容易になります。
 - 標準：ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla 推奨の設定です。
 - スポーツ：ホイールを回すのに力が必要です。高速で運転する際に Model X の応答性がよくなります。

実際にお試しになって、お好みのオプションを選択してください。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディアプレーヤーの音量を調整したり、インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます（ナビゲーションアプリに指示が表示されていない場合）。



1. 次へ

地上波ラジオまたは衛星ラジオを開いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

インターネットラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオファイルを聞いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。

複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入りを切り替えて表示します。

2. スクロールホイール

- 上または下に回してメディアの音量を調整します。

注：スクロールホイールは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、または電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整すると、インストゥルメントパネルに音量レベルが表示されます。

- メディアの音量をミュートしたり、オーディオファイルを一時停止/再生したりするには、スクロールホイールをタップします。
- インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロールホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロールホイールをスクロールして「空」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロールホイールをタップします。

注：オプションで選択した左スクロールホイールの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールにも保存されます。

注：車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ圧力などの情報が表示されます。



- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロールボタンを約 5 秒長押ししてください。[タッチスクリーンの再起動](#) - 49 ページを参照してください。

3. 戻る

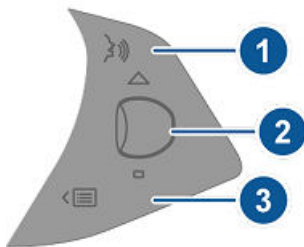
前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入りを切り替えて表示します。

注：インストールメントパネル左側がどのようにカスタマイズされても、ナビゲーションの指示（該当する場合）や、Model X がドライブ ギアに入っているときにドアやトランクが開いていることを知らせるメッセージは、インストールメントパネルの左側に自動的に表示されます。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側にあるボタンを使用して、通話中に通話オプションにアクセスしたり、インストールメントパネルの右側に表示されるものを選択したり、Model X 機能の調整や、音声コマンドの利用ができます。

注：電話を受信中または発信中は、インストールメントパネルの右側に自動的に通話オプションが表示され、Bluetooth 接続されている電話の通話を簡単に操作できます。



1. 押すと音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。再度押すと音声コマンドが終了しますが、話すことをやめることで終了します。詳細は[音声コマンドの利用](#) - 47 ページを参照してください。
2. スクロールホイール

- 通話中に、スクロールホイールをタッチして通話オプションを表示させ、通話中に利用できるアクションを使用することができます。
- ホイールを回転させると、機能リストの中から最近選択した機能を並べ替えることができます（「メニュー」ボタンを参照）。

- インストールメントパネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロールホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロールホイールとして「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロールホイールをタップします。

注：車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ圧力などの情報が表示されます。

注：オプションで選択した右スクロールホイールの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールにも保存されます。

- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロールボタンを約 5 秒長押ししてください。[タッチスクリーンの再起動](#) - 49 ページを参照してください。

3. メニューボタン

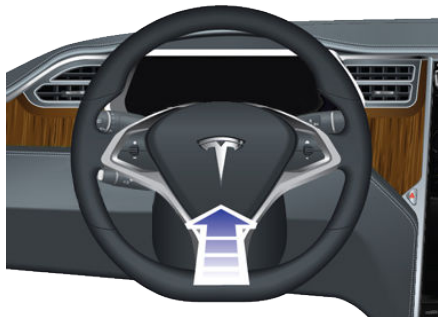
ボタンを押すと表示されるメニューから、Model X の以下の機能进行操作することができます。

- **温度。**ホイールを回して運転席側の温度を変更するか、ホイールを押して空調システムを ON/OFF します。
- **「ファン速度」：**ホイールを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
- **「画面の明るさ」：**ホイールを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
- **通話履歴。**携帯電話が Model X とペアリングされている場合は、ホイールを回して通話履歴が表示できます。ホイールを押して表示されている連絡先に電話をかけます。携帯電話をペアリングするには、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 132 ページを参照してください。
- **連絡先。**携帯電話が Model X にペアリングされている場合は、スクロールホイールを使用して携帯電話の連絡先を参照してください。連絡先は、姓がアルファベット順にリスト表示されます。携帯電話をペアリングするには、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 132 ページを参照してください。

機能リストを閉じるには、もう一度メニュー ボタンを押します。

音声コマンドの利用

ナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合(設定 - 116 ページを参照)、音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合でも、音声コマンドを使用して連絡先に電話をかけたり、TuneIn を検索することができます。音声認識を開始するには、ハンドルの右上にある音声ボタンを押します。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。話しかけると、インストールメントパネルには解釈された音声コマンドが表示されます(声で入力できるコマンドの種類に関するヒントも表示されます)。話し終わったら、音声ボタンをもう一度押します。何もしなくても音声認識は終了します。



- ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合、目的地の検索またはナビゲートを行うには、住所、ビジネスの名称、カテゴリまたは目印に続いて「Drive」または「Navigate」と発話してください。例えば、「東京の Tesla まで運転」と言います。自宅または勤務先の住所を設定している場合、Navigate home または Navigate to work などの音声コマンドを使用することができます。もしナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合は、「Drive」または「Navigate」などのキーワードを言う必要はありません。単に、住所、ビジネスの名称、カテゴリまたは目印などを言うてください。
- Bluetooth に接続された電話に含まれる連絡先に電話をかける場合(ナビゲーション言語が英語に設定されている場合のみ)、連絡先の名前および/または苗字に続いて「Call」と言います。例えば、「鈴木さんに電話」または「鈴木太郎さんに電話」などと言います。
- TuneIn を検索するには(言語が英語に設定されている時のみ利用可能です)、「Listen to」または曲、アルバム、アーティストの名前(またはその組み合わせ)に続いて「Play」と発話してください。音声認識の精度を改善するには、アーティスト名と曲名(例、「Elton John の Yellow Brick Road」または「Yellow Brick Road を聴く」)など、コマンド内に複数の要素を含めます。

ヒーター ステアリング ホイール

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、「コントロール」>「寒冷地設定」>「ヒーター ステアリングホイール」の順にタッチすることで、ハンドルを即座に温めるように調整できます。オンにするとハンドル内部のヒーターから熱が放射され、ハンドルを快適な温度に保ちます。

ホーン

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押します。



サイドミラーの調整

調整したい(左または右の)サイドミラーに付いているボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルを押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。入力を求められた時点で、タッチスクリーンにある「保存」をタッチしてミラー調整をドライブプロフィールに保存します。



サイドミラーを畳んだり元に戻すには、センターボタンを押します。Model X がロックされたとき自動的にミラーをたたむように設定するには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「ミラー自動格納」>「オン」の順にタッチします。Model X をアンロックするとミラーが自動的に開きます。

狭い場所に駐車する際にミラーを折りたたむためにセンターボタンを使用するときは、時速 50 km に達するまで折りたたまれた状態となります。センターボタンを押してミラーを開くこともできます。

注: 時速 50 km を超えるとミラーを格納することはできません。



運転席側のサイドミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります（ギアがリバースに入っている場合を除く）。また、左右どちらのサイドミラーも、リアウィンドウデフロスターとともにオン/オフするヒーターを備えています。

バックするときのミラー角度自動調節

バックするとき、左右どちらの外部ミラーも下へ傾けることができます。ミラー角度の自動調節を微調整するには、ギアをリバースに入れてからミラーを調整します（調整したいミラーの側のボタンを押し、ダイヤルを押してミラーを希望の位置まで動かします）。タッチスクリーン上の「保存」にタッチし、ミラーの調整角度をドライブプロフィールに保存します。

ギアをドライブに戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置(上)へ戻ります。しかし、ミラーの角度は既に調整され保存されているため、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した角度だけ自動的に下へ傾きます。

「コントロール」>>「設定」>「車両」「ミラー角度の自動調節」の順にタッチして、自動角度調整機能をオン/オフすることができます。

バックミラー

リアビューミラーは手動で調整されます。リバースに入れているとき以外、バックミラーは後続の車両のヘッドライトからのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります。

充電開始中

ドアを開けると、Model X はインストールメントパネル、およびタッチスクリーンが起動しすべての操作が行えるようになります。

Model X を運転する：

1. **ブレーキペダルを踏み** - Model X 電源が入り、運転できるようになります。
2. **ギアを入れる** - ギア レバーを動かして、ドライブからリバースまでのいずれかを選択します。
ギアシフト - 50 ページを参照してください。

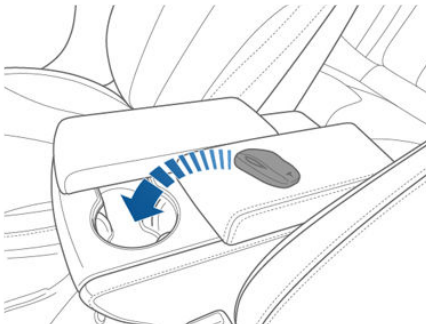
注：パッシングエントリーがオフで、約 5 分以内にブレーキペダルを踏んで Model X を開始しない場合、再び車両を始動する前に、インストールメントパネルにメッセージが表示され、鍵を使用して Model X を一度ロックして、再びロックを解除する必要があります。

Model X の運転に必要な事項はすべてインストールメントパネルに表示されます。

キーは車内にありません

ブレーキを踏んだときに Model X がキーを検出しない場合、キーが車内で検出されなかったことを知らせるメッセージがインストールメントパネルに表示されます。

このメッセージが表示された場合、Model X がキーを最も検出しやすいセンター コンソールのカップホルダーにキーを入れてください。



それでも Model X のキーが検出されないときは、キーをセンター コンソールの 12 V 電源ソケット (12V 電源ソケット - 130 ページを参照) の真下に置いて試してください。まだキーが検出されない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。**キーのバッテリー交換** - 5 ページを参照してください。あるいは、代わりのキーを試します。キーを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model X によるキーの検出には、さまざまな要因が影響することがあります。たとえば、キーのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーとレシーバーとの間の障害物などです。

キーは常に携帯してください。運転終了後も、Model X を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、Model X から降車後、Model X を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

目的地に着いたら、ギア セレクターの端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。自動的にパーキング ブレーキがかかりますが、まだすべてのシステムが動作しています。Model X からキーを持って離れると、その時点で自動的に電源オフとなり、タッチスクリーンとインストールメントパネルもオフになります。

Model X また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 15 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model X の電源をオフにすることもできます。「コントロール」>「E ブレーキ&パワーオフ」>「電源オフ」の順にタッチします。Model X ブレーキを踏み、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオンになります。

注：Model X 降車するときにギアをニュートラルにしているにもかかわらず、キーを持った人が車外に出たと判断されると、自動的にギアがパーキングに切り換わります。Model X をニュートラルにしておく方法については、**車両をニュートラルのままにする (牽引モード)** - 50 ページを参照してください。

タッチスクリーンの再起動

タッチスクリーンが反応しない、または動作が通常でない場合、パーキングに入ってから、タッチスクリーンの画面が黒くなるまでハンドルにある両方のスクロールホイールを Tesla ロゴが表示されるまで押し続けて再起動してください。約 30 秒以内に、タッチスクリーンが再起動します。再起動した後も反応がなかったり、問題が解決されない場合は、Tesla までご連絡ください。

注：タッチスクリーンを再起動しても、Model X の電源がオン/オフされることはありません。

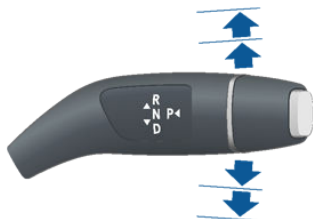
⚠ 警告：運転者は、常に路面および交通状況に注意を払うことを最優先してください。乗員や他車の安全のため、タッチスクリーンの再起動は車両をパーキングに入ってから行ってください。



ギアシフト

Model X のギアをパーキングに入れている場合、ギアをシフトするにはブレーキを踏みます。

レバーを上方向または下方向に動かしてギアを変更します。



現在の走行速度で使用できないギアへのシフトを試みると、チャイムが鳴りギアを変更することができません。

バック

レバーを上方向いっぱいまで押して、放します。リバースへのシフトは Model X が停止状態または走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。時速 1.6 km 未満で走行している場合、ブレーキを踏んでください。

ニュートラル

レバーを上方向または下方向に押して最初の位置に戻してから放すとニュートラルにシフトされます。ブレーキを押していないときにニュートラルに入れると、Model X は勝手に動き出します。

Model X がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンを使用してパーキング ブレーキを解除すると (「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」)、Model X はニュートラルにシフトされます (パーキング ブレーキ - 64 ページを参照)。

Model X 車両から降りると、自動的にパーキングにシフトされます。Model X をニュートラルのままにしておくには、タッチスクリーンで牽引モード (車両をニュートラルのままにする (牽引モード) - 50 ページを参照) にします。

走行

レバーを下方向いっぱいまで押して、放します。ドライブへのシフトは Model X が停止状態またはリバースに入った状態で、走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。Model X の走行速度が時速 1.6 km 未満の場合、ドライブにシフトするにはブレーキを踏んでください。

駐車

Model X が停車している間にギア セクターの端部を押します。Model X がパーキングに入っているときは常時、サイドブレーキがかかります。



Model X 以下の場合に、自動的にパーキングにシフトされます。

- Model X ドライバーが車両から退出していると判断した場合。
- 充電ケーブルを接続した場合。

車両に乗りやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れたから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除こともできます。

車両をニュートラルのままにする (牽引モード)

Model X 停車して Model X から降りると、自動的にパーキングにシフトされます。降車しても Model X をニュートラルのままにしてホイールをフリーの状態にするには (例えば、車両輸送車に載せる場合など) ニュートラルモードを有効にします。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキ ペダルを踏みます。
3. 「コントロール」 > 「設定」 > 「サービストリセツ」 > 「牽引モード」の順にタッチします。

Model X ビープ音が鳴り、ニュートラルにシフトされます (サイド ブレーキが解除されたことを示しています)。



牽引モードが起動していると、Model X のインストールメント パネルにこの表示灯と同時に Model X のホイールがフリー状態であることを知らせるメッセージが表示されます。

注：ニュートラルモードでは、Model X のギアをドライブにシフトすることはできません。ニュートラルモードをキャンセルするには、パーキングにシフトするかニュートラルモードを再度タッチします。または、タッチスクリーンでパーキング ブレーキをかけることで (「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「パーキングブレーキ」)、牽引モードをキャンセルすることができます。

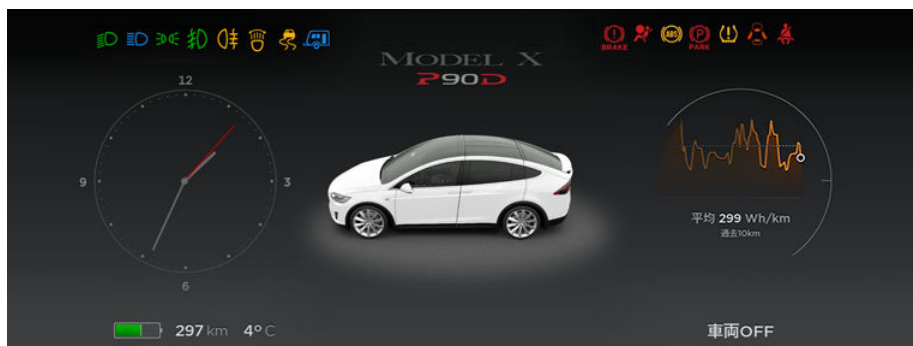
インストゥルメントパネルについて

インストゥルメントパネルは以下のように Model X の状況によって変わります。

- ・ オフ (以下参照)。
- ・ 走行中 ([インストゥルメントパネルについて - 運転中](#) - 55 ページを参照)。
- ・ 充電中 ([充電ステータス](#) - 148 ページを参照)。

Model X がオフの場合、インストゥルメントパネルには残りの後続距離、ドアの状態、外気温が表示されます。ブレーキを踏むと、上部のインジケーター ライトが短く点灯します。現状に該当するインジケーターがない限り、その後インジケーターは消灯します。インジケーターが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注：以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



インストゥルメントパネルに点灯する次のインジケーターは、特定の状況を伝え、警告するものです。

インジケーター 詳細



ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。点灯するのは、自動ハイビーム設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または自動ハイビーム機能がオンにされているが一時的に使用できない場合です。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



ハイビーム ヘッドライトが現在オンになっており、Model X の前方に光を検知した場合にはオートハイビームがハイビームをオフにする準備ができています。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



Model X の前方に光が検知されたため、オートハイビームにより一時的にハイビームヘッドライトがオフになっています。光が検知されなくなると自動的にオンに戻ります。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



インジケーター 詳細



パーキングランプ (側面標識灯、テールランプ、ナンバーランプ) が点灯しています。ライト - 57 ページを参照してください。



フロント フォグランプ (オプション)。ライト - 57 ページを参照してください。



アダプティブ フロント ライティング (装備されている場合)。アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) - 60 ページを参照してください。



横滑り防止装置 (ESC) システムは、ブレーキ圧とモーター出力を制御して、ホイールスピンを最小限に抑えます (インジケータが点滅します)。トラクション コントロール - 65 ページを参照してください。もし異常が検出されると、このインジケータは点灯し続けます (直ちに Tesla にご連絡ください)。



スマートエアサスペンションの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。スマート エア サスペンション - 126 ページを参照してください。



ブレーキ システムの不具合が検出されているか、ブレーキフルードのレベルが低下しています。ブレーキ - 63 ページを参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。



エアバッグの安全性。Model X の運転の準備が整ったときにこのインジケータが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに Tesla に連絡してください。エアバッグ インジケータ - 41 ページを参照してください。



ABS (アンチロック ブレーキ システム) の不具合が検出されています。ブレーキ - 63 ページを参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。



パーキングブレーキが手動で作動しています。パーキング ブレーキ - 64 ページを参照してください。

インジケーター 詳細



パーキングブレーキの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。[パーキングブレーキ](#) - 64 ページを参照してください。



オートブレーキホールドがブレーキをかけています。[オートブレーキホールド](#) - 68 ページを参照してください。



空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。[タイヤの手入れと保守](#) - 151 ページを参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。[ドア](#) - 4 ページ、[リアトランク](#) - 13 ページ、または[フロントトランク](#) - 15 ページを参照してください。



人が座っている座席のシートベルトが締められていません。[シートベルト](#) - 26 ページを参照してください。



助手席用フロント エアバッグが無効になっています。[エアバッグ](#) - 39 ページを参照してください。



横滑り防止装置システムがホイール スピンを最小限に制御していません (例: シングル モーターの場合、トラクション コントロール システムがオフになっており、デュアルモーターの場合、スリップスタートが有効になっています)。[トラクション コントロール](#) - 65 ページを参照してください。



Model X けん引モードで、ホイールがフリーの状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。[車両輸送者向け注意事項](#) - 179 ページを参照してください。



けん引モード (装備されている場合) が有効です。[牽引とアクセサリー](#) - 76 ページを参照してください。



インジケーター 詳細



左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザー ドランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



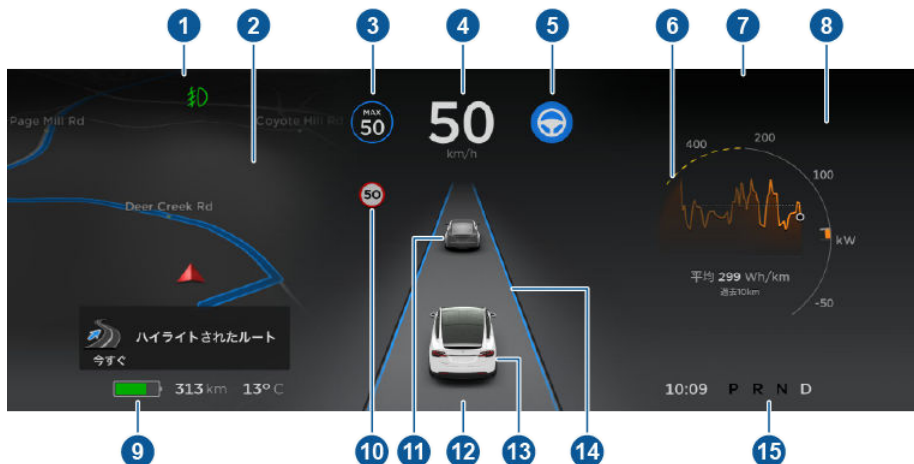
右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザー ドランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



インストゥルメントパネルについて - 運転中

Model X の運転中 (または運転可能なとき) は、インストゥルメントパネルに現在の運転状況と Model X のドライバーアシストコンポーネント (ドライビングアシストについて - 84 ページを参照) が検出した道路のリアルタイム画像が表示されます。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



1. インジケーターが上部に沿って状況を提供します (インストゥルメントパネルについて - 51 ページを参照)。
2. 目的地へのナビゲーションを使っているときには、ナビゲーション指示がここに表示されます。インストゥルメントパネルの左側に表示される内容を変更するには、ナビゲーション指示が表示されていないときに、ステアリング ホイール左側のボタンを使用してください (ハンドルの左ボタンを使用する - 45 ページを参照)。
3. トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度で走行中です。トラフィックアウェア クルーズコントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、アイコンはグレーになり速度は表示されません (トラフィックアウェア クルーズコントロール - 87 ページを参照)。
4. 巡航速度。
5. オートステアリングが Model X のステアリング操作をしている。オートステアリングが利用可能で有効化していない時は、アイコンは灰色です (オートステアリング - 93 ページを参照)。
6. Model X が電力を制限している場合は、エネルギー グラフのパワー メーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、上部 (エネルギー使用中) に破線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、下部 (エネルギー獲得中) に破線が表示されます。Model X 多くの理由により電力を制限します。以下にいくつかの例を挙げます。
 - バッテリーの残量低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
 - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
 - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。

注: インストゥルメントパネルの右側に表示される内容は、ステアリング ホイール右側のボタンで変更します (ハンドルの右ボタンを使用する - 46 ページを参照)。



- ここに表示される重要なメッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンステータスバー (タッチスクリーンの最上部) の警告アイコン (! マーク) にタッチして警告の詳細を表示することができます。
- 電話をしていないときにインストゥルメントパネルの右側に表示される内容を変更するには、ステアリングホイール右側のボタンを使用します ([ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 46 ページを参照)。
- 推定航続可能距離 (エネルギー)。航続距離の代わりに、バッテリー残量 (%) を表示することもできます。それを行うには、「**コントロール**」 > 「**設定**」 > 「**言語と単位**」 > 「**エネルギーと充電**」をタッチします ([設定](#) - 116 ページを参照)。

注：充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

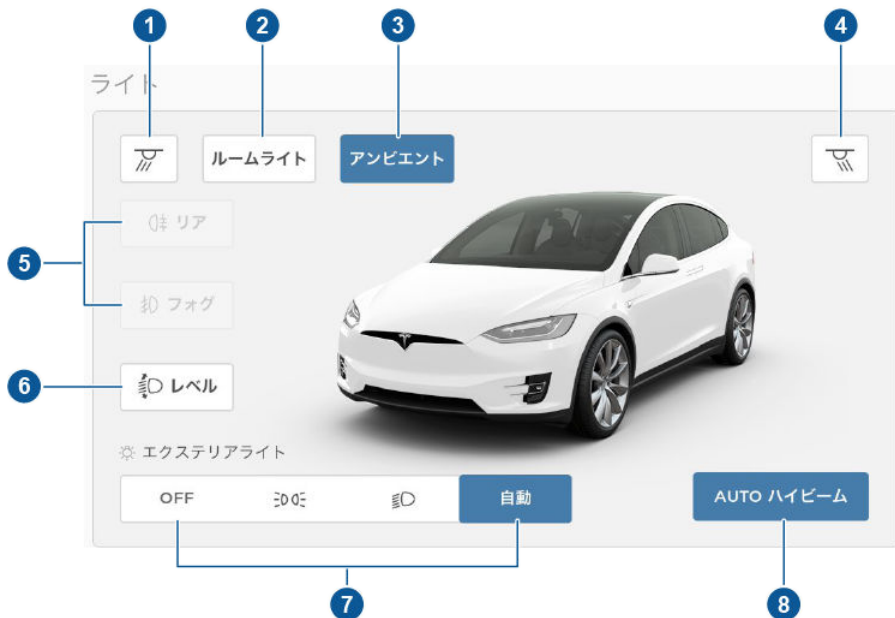
注：寒冷地では、バッテリーの温度が低すぎるため、バッテリーに蓄積されたエネルギーの一部が利用できない可能性があります。その場合は、バッテリーメーターの一部が青くなり、航続距離値の横に雪片のマークが表示されます。Model X が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにすることで、バッテリーを温めることができます。バッテリーが暖まると、メーターの青い部分と雪片のマークが表示されなくなります。

- スピードアシストが検出している速度制限 (設定されている場合) ([スピードアシスト機能](#) - 107 ページを参照)。
- 前方の車 (該当する場合)。
- インストゥルメントパネルの下部中央に表示される運転に関係した警告メッセージに注意してください。
- お客様の Model X。
- オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、青色にハイライト表示されます ([オートステアリング](#) - 93 ページを参照)。
- 現在選択されているギア: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。

ライトの調整

大半のライト類は、タッチスクリーン下隅の「コントロール」にタッチして調整します。

Model X は、タッチスクリーンから調整できるライト類のほか、ドライバーの行動に応じて自動的にオン、オフする便利なライト類を備えています。たとえば、ルームライト、標識灯、テールランプ、ドアハンドルランプ、パドルランプは、Model X のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに点灯します。これらのライト類は、ドライブギアにシフトしてから、または Model X をロックしてから 1 ～ 2 分後に自動的に消灯します。





1. タッチして運転席側のマップライトを操作してください。
2. 「ルームライト」をタッチすると、キャビンライトを操作するポップアップが表示されます。室内灯をオンにしておくと、Model X のロックを解除したとき、車から降りるためにドアを開けたとき、または P (パーキング) にシフトしたとき、リアトランク内のライトも含めて、すべてのルームライトが点灯します。点灯したライトは、Model X をロックしてから、またはドライブギアにシフトしてから 60 秒後に消灯します。自動に設定した場合は、光がほとんどまたはまったく検出されないときだけルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズを押して、それぞれのルームライトを点灯させることもできます。手動で点灯させたルームライトは、Model X の電源がオフになったとき消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに Model X の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 秒後に消灯します。

3. アンビエントライトをオンにすると、ヘッドライトを点灯させるたびにドアアームレストのライトが点灯します。
4. タッチして助手席側のマップライトを操作します。
5. これをタッチしてフォグランプをオン、オフします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。



オプションのリアフォグランプが点灯していると、必ずインストゥルメントパネルのリアフォグインジケータが表示されます。



オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ずインストゥルメントパネルのフロントフォグインジケータが表示されます。

6. Model X がコイルサスペンションシステムを装備している場合は、搭載荷重に応じてヘッドライトの角度を調整できます。リアトランクの荷物がかなり重い場合など、対向車の運転者がまぶしくないように、ヘッドライトの角度を下げる必要が生じることがあります。そのような場合は、「レベル」にタッチし、スライドを目的の位置までドラッグします。

- | | |
|---|--|
| 0 | ヘッドライトの角度を下げません。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、フロントトランクだけに荷物が入っている場合、ヘッドライトの角度を変更する必要はありません。 |
| 1 | ヘッドライトが 1 レベル下がります。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、リアトランクに荷物が入っている場合に適しています。 |
| 2 | ヘッドライトが 2 レベル下がります。重い積載物を運ぶ場合に適しています。 |

注: Model X がスマートエアサスペンションを装備している場合は、Model X の高さが自動的に調整されるため、ヘッドライトの角度は調整できません。

7. Model X を起動するたびに外部ライト（ヘッドライト、テールライト、サイド マーカークライト、パーキングライト、ナンバープレート ライト）は自動に設定されます。

自動

外部ライトは、暗くなると自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際にこの自動設定に戻ります。

外部ライトの設定を一時的に変更するには、以下のオプションのいずれかにタッチします。

OFF

外部ライトは、手動で ON に戻すか、次回 Model X を運転するまで消灯されます。昼間走行灯が必要な地域では、外部ライトはこの目的で使用されるため消灯しないでください。



側面標識灯、パーキング ランプ、ナンバー ライトだけがオンになります。



外部ライトが点灯します。

注：Model X にはヘッドライトのリム下部に、「シグネチャー」ライトと呼ばれる一連のライトが装備されています。これらのライトは、Model X の電源がオンになってドライブギアにシフトすると自動的に点灯します。

▲ 警告：視認性の低い所では、状況に応じて常にヘッドライトを「自動」または「ON」に設定するようにしてください。これを怠ると、衝突事故につながる危険があります。

8. オートハイビーム機能をオンにしている場合は、Model X の前方の光が検出されるかどうかでハイビームヘッドライトのオン/オフが自動的に切り替わります（[ハイビームヘッドライト](#) - 60 ページを参照）。



ハイビーム ヘッドライト

左側のステアリングコラムレバーを奥に向かって押します。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。



ヘッドライトがハイビームの時、Model X の前方にライトが検知されると（例えば対向車など）自動的にロービームに切り替えます。この機能を有効にするには、「コントロール」>「オートマチック ハイビーム」の順にタッチします。

注：選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバープロフィールに保存することもできます。

オート ハイビームがオンの際に Model X の前方に光を検知したことによってハイビームが消灯した場合、レバーをドライバー側に引くと一時的にハイビームを点灯できます。

ハイビームをオンにしている場合、インストゥルメントパネル上に以下のようなインジケーターがないし 2 つ以上表示されます。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。点灯するのは、自動ハイビーム設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または自動ハイビーム機能がオンにされているが一時的に使用できない場合です。



ハイビームが現在オンになっており、Model X の前方に光を検知した場合にはオートハイビームがハイビームをオフにする準備ができています。



Model X の前方に光が検知されたため、オートハイビームにより一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなると自動的にオンに戻ります。

ヘッドライトハイビームを点滅させるには、レバーを手前いっぱい引いた後、離します。

警告：オートハイビームは補助に過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて適切なヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model X を停めて駐車すると、外部ライトが自動的に点灯します。1 分後または Model X をロックするとヘッドライトは自動的に消灯します。

タッチスクリーンを使用してこの機能を ON/OFF にすることができます。「コントロール」>「設定」>「車両」>「降車後のヘッドライト」の順にタッチします。「降車後ヘッドライト」を「Off」に設定していると、ギアを Park にしたときヘッドライトは消灯します。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS)

装備されている場合、アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、運転時の視認性をよくするためにヘッドライトのビームを自動調整します。電気センサーが運転速度、ステアリング角度、ヨー（垂直軸を中心にした車両の回転角度）を検知し、現在の運転条件に基づいてヘッドライトの最適位置を決定します。たとえば、曲がりくねった道を夜間に走行するときの視認性をよくするため、AFS はカーブと同じ方向にビームを投射します。ヘッドライトをロービームで点灯して低速で運転している時、AFS は側面照明効果を向上させることで歩行者や縁石などの見通しを良くするとともに、暗い交差点や車庫までの道、または U ターンを行う時の視界を向上させます。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、ヘッドライトがオンのときは常に動作します。Model X が移動していないとき、または逆方向に移動しているときは、アダプティブ ヘッドライトは機能しません。これは、ヘッドライトが他のドライバーを眩惑するのを防ぐためです。AFS をオフするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「アダプティブ ヘッドライト」>「オフ」の順にタッチしてください。



AFS が故障した場合、インストゥルメントパネルに警告が表示されます。テスラ サービスにご連絡ください。

ウィンカー

左側のステアリングコラムレバーを上げるか（右折する前）、下げます（左折する前）。



ハンドルを操作するか、レバーを中央の位置に戻すと、ウィンカーが停止します。



ウィンカーが動作していると、インストゥルメントパネルの対応する方向指示器インジケーターが点灯します。カチカチという音も聞こえます。



⚠ 警告：拡張自動運転または完全自動運転機能パッケージをオプションで購入され、トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にしている場合、方向指示器を出すとはある一定の状況で Model X を加速することができます（[追い越し加速](#) - 90 ページを参照）。

⚠ 警告：拡張自動運転または完全自動運転機能パッケージをオプションで購入され、オートステアリングを有効にしている場合、方向指示器を出すとはある一定の状況で Model X の走行している車線を変更することができます（[自動車線変更](#) - 96 ページを参照）。

車線変更の点滅

車線変更の意思を示すには、レバーをすばやく押し上げるか押し下げた後、離します。対応するウィンカーが 3 回点滅します。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅させるには、タッチスクリーン脇のハンドルに近い側にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

注：ハザードランプは Model X のキーが近くになくても動作します。



ワイパー

フロントガラスのワイパーを作動させるには、左側のステアリングコラム レバーの先端を奥へ回します。ステアリングコラム レバーには 5 段階の設定があります。

- 1st: オフ。
- 2nd: 低レインセンサー感度* で自動
- 3rd: 高レインセンサー感度* で自動
- 4th: 連続、低速。
- 5th: 連続、高速。



ワイパーを 1 回だけ動かすには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが自動に設定されていて、Model X がフロントガラスに液体がないことを検出すると、ワイパーは動作しません。

ワイパーを動かすと、ヘッドライトが (すでに点灯していなければ) 自動的に点灯します。

*自動設定を有効にするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「自動ワイパー (ベータ版)」>「オン」の順にタッチしてください。ワイパーを自動設定に設定すると、Model X は雨が降っているかどうかを検出します。間欠ワイパーの間隔はフロントガラスに検出される雨の量で変わります。ワイパーが雨滴高感度に設定されていると、Model X は霧雨程度でワイパーを作動させます。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注意: ワイパーの損傷を避けるために、Model X を洗車する前に必ずワイパーがオフ位置あることを確認してください。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーを ON にする前にフロントガラスの氷を除去してください。氷はエッジが尖っており、ブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、クリーニングしてください。損傷している場合は、Tesla サービスセンターにご連絡ください。

注意: 厳しい気象条件では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに付着していないことを確認してください。

ワイパーの除氷

氷や雪を除去するため、ワイパー ブレードに手が届きやすくなるよう、Model X をパーキングにシフトし、ワイパーをオフにしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「サービスモード」>「オン」の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model X のワイパーをサービス ポジションにしておくくと便利です。このポジションではワイパーが除霜通気口により近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けることによって氷を溶かすことができます。

注: Model X をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常的位置に戻ります。

Model X にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合、「コントロール」>「寒冷地設定」>「ヒータード ワイパー」の順にタッチして、ワイパーを除氷することができます。ワイパー ヒーターは 15 分後、自動的にオフになります。

ウォッシャー

左側のステアリングコラム レバーの先端のボタンを押すと、フロントガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには 2 段階あります。軽く押すとワイパーが 1 回作動し、ウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方をしっかり押します。フロントガラスの洗浄では、ボタンを離れた後ワイパーが 2 回作動し、数秒後にもう 1 回作動します。



ウォッシャー液は定期的に補充してください ([ウォッシャー液の補充](#) - 161 ページを参照)。

ブレーキシステム

⚠ 警告: ブレーキ システムは安全にかかわるため正常に機能しなければなりません。Model X ブレーキング システムのブレーキペダル、ブレーキ キャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model X 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。



初めて Model X を始動すると、インストールメントパネル上で ABS インジケータが一時的に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。



Model X の始動時に短く点滅する以外にこのインジケータがインストールメントパネルに表示された場合は、ブレーキ システムの故障が検出されたか、ブレーキフルードのレベルが低下しています。すぐに Tesla にご連絡ください。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力的に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

⚠ 警告: ブレーキ ペダルを軽く何度か踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

⚠ 警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロ

ブレーキング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

衝突の危険を察知すると、自動緊急ブレーキによって自動的にフルにブレーキがかかります (**自動緊急ブレーキ** - 105 ページを参照)。

⚠ 警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブレーキの摩耗

Model X ブレーキ パッドはウェア インジケータを備えています。ウェア インジケータは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキ パッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキパッドの詳細な仕様と整備期限については、**ブレーキ** - 170 ページを参照してください。

⚠ 警告: 摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキ システムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

回生ブレーキ

Model X が走行しており、運転者の足がアクセルから離れているときは、常に回生ブレーキが Model X を減速させ、余ったエネルギーをバッテリーに戻します。

停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。もちろん、回生ブレーキは安全のために必要とされる通常のブレーキの代わりになるわけではありません。

注: Model X が回生制動で減速されると (高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど)、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

⚠ 警告: 積雪または凍結した道路状況では、特に、標準 設定の場合や冬用タイヤを使用していない場合、回生ブレーキの使用中に Model X のトラクションが失われる場合があります。車両の安定性を維持するために、積雪または凍結した道路状況では、**低設定 (回生ブレーキ レベルを設定するには - 64 ページを参照)** の使用が推奨されます。



エネルギー アプリに回生ブレーキから得られるエネルギー量に関するリアルタイムのフィードバックが表示されます。ハンドルのスクロール ボタンを使って「エネルギー」を選択すれば、インストールメントパネルの両側にパワー メーターを表示させることもできます (ハンドル - 45 ページを参照)。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻されるエネルギー量は、バッテリーの現在の状態と使用している充電レベルの設定によって異なることがあります。たとえば、バッテリーがすでにフル充電されていたり、外気温が極度に低いと、回生ブレーキ動作が制限されることがあります。

注: 回生ブレーキが制限されていると、パワーメーターに黄色い点線が表示されます。



回生ブレーキ レベルを設定するには

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」 > 「運転モード」 > 「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2つのレベルのどちらかを選択します。
 - **標準:** 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルから足を離すと Model X がより早く減速し、ブレーキを使用する必要性が軽減されます。
 - **低:** 回生ブレーキを制限します。アクセルペダルから足を離れたときに標準設定よりも Model X が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。

パーキング ブレーキ

Model X をパーキング位置にシフトすると、パーキングブレーキが自動的に作動し、他のギアにシフトするとパーキングブレーキが解除されます。



注: パーキングブレーキは後輪のみに作用し、ペダルブレーキシステムからは独立しています。

警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model X がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。しかし、やむを得ずそういった場所に駐車しなければならない場合は、ブレーキから足を離す前に、他の人の手を借りて、前タイヤ下側に輪留めを置いてください。

手動でパーキングブレーキを解除するには、タッチスクリーンを使用します (パーキングブレーキが解除されると、Model X はニュートラルにシフトされます)。

1. 「コントロール」 > 「E ブレーキ & 電源オフ」の順にタッチします。
2. ブレーキ ペダルを踏み、「パーキングブレーキ」にタッチします。Model X がパーキングになっていた場合は、ニュートラルにシフトします。



タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキを作動させると、インストールメントパネルのパーキングブレーキインジケーターが点灯します。



パーキングブレーキに電気的な問題が発生すると、インストールメントパネルの上部に黄色いパーキングブレーキ故障メッセージが表示されます。

注意: 万一、Model X の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、パーキングブレーキを解除することはできません。Tesla にご連絡ください。

動作の仕組み

トラクション コントロール システムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model X のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクション コントロール システムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



インストゥルメントパネルにあるこのインジケータは、トラクション コントロール システムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際に常に点滅しています。トラクション コントロール システムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

⚠ 警告：上のインディケータがスリップスタートを有効にしていない状況で点灯したままの場合（次に示します）、トラクション コントロール システムが正常に作動していない可能性があります。その場合は直ちに Tesla サービスにご連絡ください。

⚠ 警告：トラクション コントロール システムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは、Model X が 時速 48 km 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。スリップスタートは、速度が時速 80 km を超えると自動的に無効になります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- 砂利や雪などの緩い路面での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを回転させるには、「コントロール」>「運転モード」>「トラクションコントロール」>「スリップスタート」の順にタッチします。



インストゥルメントパネルにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model X を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

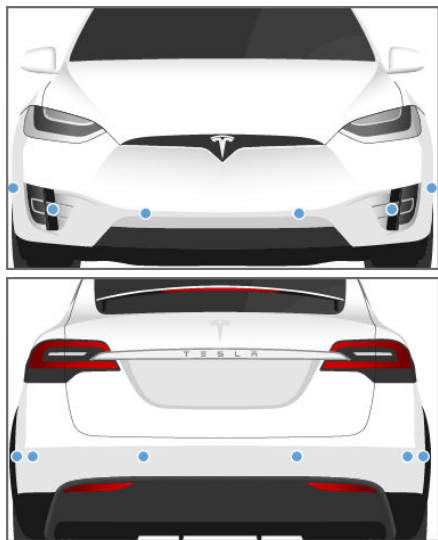
注：トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しているときは、スリップスタートを有効にすることはできません。



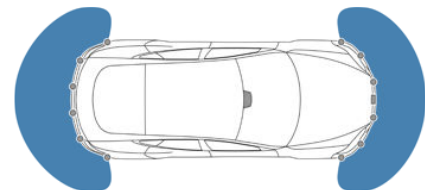
パーキングアシストの動作原理

Model X には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ドライブまたはリバースでゆっくり動いているときに（例えば、駐車時）、Model X の近くに物体が検出されると、センサーが警告を発します。物体は選択されているギア方向のみ検出されます（ドライブでは前方にある物体、リバースでは後方にある物体）。

警告： Model X が選択されているギア方向の反対方向に勝手に動き出した場合は警告されることがあります（例えば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後ろに下がった場合は警告されません）。



時速 8 km 未満で運転すると、センサーが作動します。



注： 自転車を検出されたり、Model X が牽引モードの場合、リヤセンサーは無効になります。

警告： 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取り

エラーが生じる場合があります（[制約と誤警告](#) - 67 ページを参照）。したがって、Model X が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストはお子さま、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、センサーのはるか上または下にある物体、センサーのすぐ近くもしくは離れたところにある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、インストルメントパネルの左側にパーキングアシスト ビューが現れ、Model X の前後の直近位置に存在する物体を表示します。Model X の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトし、速度が時速 8 km を超えると、自動的にパーキングアシスト ビューが終了します。バックしているとき、視覚的フィードバックもタッチスクリーンのカメラ ビューの真下に表示されます（[リア ビュー カメラ](#) - 74 ページを参照）。タッチスクリーンの左上隅にある **X** にタッチすると、手動でパーキングアシスト ビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラ アプリを表示し、時速 8 km 以下で運転している場合、パーキングアシスト ビューに切り替えることができます。カメラ アプリ ウィンドウの左上隅にあるボタンをタッチしてください。縦列駐車の手援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整](#) - 67 ページを参照）、物体に近づいたときにビープ音が鳴ります。ハンドルの左にあるスクロール ホイールを押すかパーキングアシスト ビューの左下隅にあるミュート ボタンを押すと一時的にチャイムをミュートすることができます。

注： センサーがフィードバックを出力できない場合は、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

注意： センサーに泥、ゴミ、雪、氷が付着しないように注意してください。高圧洗浄機をセンサーに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でセンサーをクリーニングしないでください。

- ⚠ 注意：**パーキング センサーの上または近くにアクセサリを取り付けたりステッカーを貼ったりしないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオンまたはオフにするには、「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「パーキングアシスト チャイム」の順にタッチします。

一時的にチャイムをミュートするには、ハンドルの左にあるスクロール ホイールを押すか、パーキングアシスト ビューの左下隅にあるミュート ボタンを押してください。その場合、チャイムは、他のギアにシフトするまで、または速度が時速 8 km を超えるまでミュートされます。

制約と誤警告

以下の場合にはパーキング センサーが正しく機能しないことがあります。

- 1 つまたは複数のパーキング センサーが損傷していたり、汚れていたり、(泥、氷、雪などで) 覆われていたりする場合。
- 物体がおおよそ 20 cm 下方にある場合 (縁石や低い柵など)。

- ⚠ 注意：**高さがない物体 (縁石や低障壁など) は、センサーの死角に入ることがあります。Model X 物体がセンサーの死角にある間は、その物体について警告することはできません。

- 気象条件 (豪雨、降雪、濃霧) がセンサーの動作に干渉している場合。
- 物体が薄い場合 (道路標識など)。
- センサーの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合 (粉雪など)。
- 物体が傾斜している場合 (傾斜している土手など)。
- Model X 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model X に取り付けられている物体 (バイクラックやバンパー ステッカーなど) がセンサーを妨害または遮蔽している場合。
- Model X が選択されているギア方向の反対方向に勝手に動き出す場合 (例えば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後ろに下がるなど)。

その他のパーキング補助装置

パーキングアシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップ カメラに Model X の周囲の映像が表示されます ([リア ビュー カメラ](#) - 74 ページを参照)。



Model X が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。坂道を登っているときまたは平坦な道で、通常通りにブレーキをかけます。完全停止後、ブレーキペダルを押すだけで（インストゥルメント パネルにホールドインジケータースタイルが表示されるまで）、オートブレーキ ホールドをかけられます。これで、坂道でブレーキ ペダルから足を離したとしても車両は動きません。



このインジケータースタイルは、Model X のオートブレーキホールドが作動しているときは常にインストゥルメントパネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを押すか、ブレーキ ペダルを押して離します。

注：ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されます。

注：走行用のギアに入れたまま、Model X のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model X はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model X また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

お客様の Model X で利用できる加速設定は、購入時に装備したオプションにより異なります。

- **コンフォート**：滑らかで乗り心地を優先するよう加速を制限します（ドライビングアシストハードウェアを搭載したすべての車両で利用可能）。
- **標準**：通常レベルの加速を提供します（パフォーマンスデュアルモーター仕様車）。
- **スポーツ**：通常レベルの加速を提供します（パフォーマンスデュアルモーター仕様車で利用可能）。
- **インセイン**：ピークトルクを約 30% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備していないパフォーマンスデュアルモーター仕様車で利用可能）。
- **ルーディクロス**：ピークトルクを約 60% 増加させます（ルーディクロス アップグレードを装備しているパフォーマンスデュアルモーター仕様車で利用可能）。

注：コンフォートは航続距離を向上させることはありませんが、インセインまたは Ludicrous モードでトルクとパワーを増加させると、航続距離と効率が低下します。

注：コンフォートが選択されると、インストルメントパネルに表示される運転速度の上に「コンフォート」が表示されます。

これに加え、パフォーマンスデュアルモーター仕様 Model X にはローンチモードが装備され、高いトラクションが望める路面で最高の加速を提供します。ローンチモードを使用する際の具体的な運転説明は、**ローンチモード** - 69 ページをご参照ください。

加速モードを選択するには、「コントロール」>「運転モード」>「加速」の順にタッチします。

最大バッテリー出力

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。ただし、絶対最大出力（短時間使用のために設計）を実現するには、バッテリーは理想的な動作温度に加熱され、利用できる出力を 100% 利用することができる「バッテリー出力最大化」を有効にしてください。バッテリーの加熱は 1 時間強かかりますが、環境条件や Model X が運転されているかどうかによって変わります。

これを有効にするには、加速設定のすぐ下に青色のテキストで表示される「最大バッテリー出力」をタッチしてください。バッテリーが加熱されている間、タッチスクリーンにはおおよその待ち時間を示すメッセージが表示され、残りの電力が利用可能になると、バッテリー出力最大化の準備完了です。

注：バッテリー出力最大化は、加速性能を短時間の間最大限発揮するよう設計されているため、日常的な利用には適していません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モ

ードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセインまたは Ludicrous 加速設定は、バッテリー出力最大化を使用しなくても大幅に性能を増加します。事実、通常の運転をする限りバッテリー出力最大化で得られる追加パワーを感じることはありません。

注：バッテリー出力最大化を保つには、充電レベルが 20% 以上でなければなりません。充電レベルが 20% 以下だと、バッテリー出力最大化を開始することはできません。これに加え、充電レベルが 20% 以下になるとすぐにバッテリー出力最大化はキャンセルされます。

バッテリー出力最大化を使用している時、Model X はバッテリーを最適な温度範囲に保つため電力を多く消費します。

バッテリー出力最大化をキャンセルするには、加速設定を「コンフォート」または「スポーツ」に変更してください（またはバッテリー出力最大化モードのポップアップにあるボタンをタッチしてください）。過度に、または不必要に電力を消費することを防ぐために（例えば、バッテリー出力最大化をキャンセルせずに車を離れる）、運転中であっても、車を離れていたとしても 3 時間で自動的にバッテリー出力最大化はキャンセルされます。

注：バッテリー出力最大化は、バックを最適な温度範囲に保ちます。バッテリー出力最大化は、バッテリーの加熱に加え、必要に応じてバッテリーの冷却も行います（例：高速走行中、または急加速、または長時間の運転など）。

ローンチモード

パフォーマンスデュアルモーター車両のみで利用できるローンチモードは、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。

注：ローンチモードの使用などで急激な加速を行うと、車両のパワートレインへの負荷が増すため、コンポーネント各部の摩損および疲労が進みます。Model X パワートレインの疲労具合や損傷などがなければ継続的に監視し、整備が必要なコンポーネントがあればお知らせします。

警告：ローンチモードは交通の妨げにならない、歩行者のいない適切な状況下に限り使用してください。ローンチモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバは、他の道路使用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。

ローンチモードを作動させる

ローンチモードを作動させる前に、数分間運転をし、さらにブレーキを数回使用して少し温めておくことを推奨します。



1. 加速レベルを「インセイン」または「Ludicrous」に設定して、「バッテリー出力最大化」を有効にします（上記で説明）。

注：ローンチモードは、「バッテリー出力最大化」が有効になったらすぐに使用することができます。バッテリー出力最大化が READY 状態になるのを待つ必要はありません。

2. Model X のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態でハンドルをまっすぐにし、ブレーキペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。
3. 左足でブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルを右足でしっかりと奥まで踏み込んでからアクセルペダルを離します。インストルメントパネルに、ローンチモードが有効になったことを示すメッセージが表示されます。
4. 8 秒以内に、アクセルペダルをもう一度しっかりと奥まで踏み込んでモータートルクを引き上げ、4 秒以内にブレーキを離します。

ブレーキを離すと、Model X が前方に出ます。

注：ローンチモードは、「スリップ スタート」が有効にされている（ホイールがスピンする）場合は利用することができません。[トラクション コントロール](#) - 65 ページを参照してください。

注：ローンチモードは、周囲温度が 3° C 以上の場合にのみ利用できます。

走行情報を表示する

「コントロール」>「走行データ」の順にタッチすると、タッチスクリーン上に走行情報が表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

最大3つまでのトリップの情報をインストールメントパネルに表示できます。チェックボックスを使って表示させたいトリップを指定します。次にハンドルのスクロールバーを使って選択したトリップを表示します（[ハンドルの左ボタンを使用する - 45 ページ](#)または[ハンドルの右ボタンを使用する - 46 ページ](#)を参照）。

オドメーター

オドメーターを表示させるには、タッチスクリーンの最上部中央の Tesla の「T」をタッチします。



航続距離を最大限に伸ばすヒント

ガソリンエンジン車で燃料を節約するのと同様の運転方法で航続距離を最大限に伸ばすことができます。運転方法に加えて、エネルギー消費は環境条件（極度に寒いまたは暑い気候や急な起伏のある道路での走行など）により左右されます。1回の充電で最大限の航続距離を確保するには以下の点に留意してください：

- ・ 運転速度を落とし、急激および頻繁な加速を避けてください。
- ・ 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model X を走行している際は、常に回生ブレーキが Model X を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（**回生ブレーキ** - 63 ページを参照）。
- ・ タイヤは推奨空気圧を維持してください（**タイヤの手入れと保守** - 151 ページを参照）。
- ・ 必要のない荷物は車両から降ろして、負荷を軽減します。
- ・ すべてのウィンドウを閉じます。
- ・ エアコンなどの電装品の使用を控えます。キャビン内を暖房するより、シートヒーターを利用するほうが効果的です。バッテリーやキャビンエリアの温度調整システムが使用する電力の量を自動的に制限するには、「**コントロール**」>「**運転モード**」>「**レンジモード**」>「**ON**」の順にタッチします。

インストールメントパネルの電力メーターとエネルギー アプリ（次項で説明）が電力使用量についてのフィードバックを表示します。このフィードバックで運転習慣と環境条件が Model X のエネルギー消費量に与える影響を確認することができます。

エネルギー アプリ

エネルギー アプリを使用すると、リアルタイムのエネルギー使用量を表示できます。消費量チャートは、Model X が過去 10、25、または 50 km で消費したエネルギー量を表示します。

平均値ボタンをタッチして、過去 10、25、または 50 km でのエネルギー消費量の平均値を示すグラフを表示します。平均値とエネルギー消費量データは、予想航続距離を計算するために使用されます。**瞬間値**をタッチして、直前の数データポイントでのエネルギー消費量のグラフを表示します。瞬間値とエネルギー消費量データは予想航続距離の計算に使用されます。

エネルギーの節約

Model X Model X には省エネ機能があり、使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。「**コントロール**」>「**スクリーン**」>「**省エネモード**」の順にタッチし、以下のオプションを選択します：

- ・ **オフ** - 夜間（午後 10 時から朝 5 時まで）Model X が省エネモードに移行します。
- ・ **オン** - Model X を使用していないときのエネルギー消費ははかり少なくなります。インストールメントパネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- ・ **常に接続** - 省エネモードが機能しているときも電池の接続を維持します。このオプションにより、モバイルアプリと Model X の接続が速くなり、車に乗ってからすぐにインターネット接続が可能です。電力消費量は若干多くなります。

レンジプランナー

Model X ドライバーをエネルギー切れから守ります。Model X 常にエネルギー レベルと最寄りの充電ステーションをモニターします。



地図にはスーパーチャージャーだけが表示されます。



マップには、スーパーチャージャー、目的地の充電ポイント、および利用した充電ポイントが表示されます。現在予想される走行可能距離では到達不可能な充電ポイントがある場合、マップ上でそのアイコンが半透明に表示されます。

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする、と、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model X がナビゲーションの指示とターンバイターン方式の方向リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

既知の充電ステーションへの到達可能範囲を越えて運転している恐れがある場合は、メッセージが表示され、さらにレンジプランナー アイコンに警告シンボルが表示されます。



タッチすると、航続距離内にあると推定される充電場所が検索できます。次に検索リスト上の充電場所をタッチすると、そこへのナビゲーションが始まります。

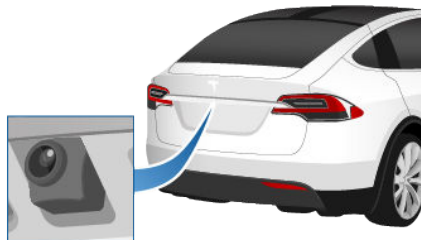


Model X に現在残っているエネルギー量に基づくと、航続距離範囲内に充電場所がありません。



カメラ位置

Model X 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ステアリングホイールの位置に応じてラインが運転方向を示します。ステアリングホイールを動かすにつれて、これらのラインは適切に調整されます。

注：インストールメント パネルにパーキング センサーからの視覚的フィードバックが表示されます ([パーキングアシスト](#) - 66 ページを参照)。

⚠ 警告：車両をバックする際に、車両の背後に人がいるか、または障害物があるか、リアビューカメラの映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故につながる可能性のある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。このため、リアビューカメラによってのみ Model X の背後に障害物があるかどうかを確認するのは、車両や物品の損傷、さらには重大な人身事故につながる危険性があります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりおよび安全運転にとって代わるものではありません。

カメラのクリーニング

カメラのレンズはできるだけ鮮明な画像が得られるように清潔に保ち、視界が遮られないようにしてください。たまってくるゴミは、ときどき湿らせた軟らかい布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

⚠ 注意：薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。

Model X は、空力抵抗を低減するためのリア スпойラーを装備しています。Model X にアクティブ スпойラーが装備されている場合は、Model X の状態と速度によってスポイラーの位置が変わります。

- Model X のギアがリバースに入っているかまたは走行速度が時速 16 km 未満の場合は、Model X の背後の視界を最大限確保します。
- 運転速度が 72 km/h を超えると、スポイラーが最も効果的なエアロダイナミックスを実現する位置まで下がります。
- Model X の電源を切り、ロックすると、スポイラーは格納されます。

上記のようにスポイラーを自動的に可動させるには、「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「スポイラー」>「自動」の順でタッチします。スポイラーの自動的な動作を止め、延長位置で保持するには、「延長」設定を選択します。

注：スポイラーを自動昇降できない場合は、インストゥルメントパネルに警報が出ます。Tesla サービスにお問い合わせください。



牽引パッケージを使用すると、Model X でトレーラーを牽引できるようになります。また、アクセサリ キャリアをヒッチに取り付けると、スキーやスノーボードなどの運搬ができます。

アクセサリーの積載

Model X の牽引パッケージには、50 mm ボールカップリングが含まれています。

ボール カップリングは、最大 54 kg の垂直荷重を支持できるように設計されています。Model X のヒッチで自転車その他の物を運搬するときは、最大重量を超えていないことを必ず確認してください。重量計算では、必ずアクセサリ キャリア自体の重量も含めてください。例えば、キャリアの重量が 14 kg だとすると、それぞれ約 20 kg の自転車 2 台、またはそれぞれ約 10 kg の自転車 4 台を積載できると判断できます。

注意：Model X のヒッチは、最大 54 kg を支持できるように設計されています。この最大重量を超えると、重大な損傷を引き起こす危険があります。

注意：牽引パッケージを装備していない Model X にキャリアを取り付けようとししないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。

アクセサリ キャリアを取り付けるには、牽引ヒッチを接続する必要があります（[けん引ヒッチの接続](#) - 81 ページ 参照）。作業はアクセサリ キャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリーの積載に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model X の牽引パッケージには、ライト付きアクセサリ キャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています（[電気系の接続](#) - 83 ページを参照）。また、パッケージには、けん引モードソフトウェア（[けん引モード](#) - 78 ページを参照）も含まれています。



アクセサリ キャリアのワイヤー ハーネスを接続すると、Model X はトレーラー ライトの接続を検出し、対応のインジケーターがインストゥルメントパネル上で点灯します。けん引モードは無効になります。

アクセサリを運搬するときは、アクセサリ キャリアと積載物の取り付け状態が安定していること、および可能なならば、アクセサリ キャリアのライトが正常に動作していることを定期的に確認してください。

注：Model X 用アクセサリを購入するには、www.tesla.com にアクセスしてください。サードパーティーの製品もありますが、Tesla は Tesla 認定品を推奨し、また Tesla 認定品のみをサポート

します（[部品とアクセサリ](#) - 163 ページを参照）。入手可能な Model X 用アクセサリ製品は販売地域によって異なります。Tesla ブランド以外のキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て互換性を確認してください。

注：使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみの浸入を防いでください（[けん引ヒッチの取り外し](#) - 82 ページを参照）。

注意：キャリアを取り付けると、リアビューミラーからリアカメラやリア側の超音波センサーが見えなくなることがあります。さらに、一部のドライビングアシスト機能が期待どおりに働かなくなることがあります。

警告：Tesla は、アクセサリ キャリアの取り付けおよび使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリ キャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリ キャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

牽引能力

総牽引重量 (積み荷や付加機器を含めたトレーラー重量) およびトレーラー タングの重量は以下の上限を超えないようにしてください。

タイヤ	最大牽引能力*	最大ヒッチ荷重**
20" または 22"	2250 kg	90 kg

*Tesla は、積載重量が 450 kg を超えるトレーラーには個別のブレーキ系を推奨しています。このブレーキ系はトレーラーの重量に適合していなければなりません。トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラー ブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。

**タンク荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。これはトレーラー荷重の 4% 未満でなければなりません。牽引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタンク荷重が減少することがあり、その場合は最大牽引能力も減少します。最大牽引能力は、GVWR (Gross Vehicle Weight Rating、車両総重量定格) を超えない前提で計算します。GVWR は、法定プレートに印刷されています (法定プレート - 166 ページを参照)。

注: ヒッチ ラベルの牽引能力がこのオーナーズマニュアルに記載されている情報と矛盾する場合は、このオーナーズマニュアルが優先されます。

⚠ 警告: 車両やトレーラーを過積載しないでください。過積載は、パフォーマンスの劣化、車両の損傷、車両制御喪失などを発生させ、深刻な怪我や死亡につながることがあります。

⚠ 警告: トレーラーヒッチを使って Model X を牽引したり輸送しないでください。

⚠ 注意: Tesla は、牽引機器の指示書のミスや抜け、あるいは指示に適切に従わないという過失に対し、トレーラーを牽引したことによって生じる損傷や怪我に対する責任を負いません。トレーラー牽引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。



牽引時のタイヤ空気圧

トレーラーを牽引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください(この数値はタイヤと荷重載情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します)。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
245/45R19	245/45R19	45 psi (310 kPa)
255/45R20 265/45R20	275/45R20	46 psi (320 kPa)
265/35ZR22	285/35ZR22	50 psi (345 kPa)

警告：タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1.5 km 走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

警告：Model X のタイヤに異常があるかまたはタイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーを牽引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによる牽引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーを牽引する前に

トレーラーを牽引する前に、以下を実行する必要があります。

- 「牽引時タイヤ空気圧」で指定された冷間時タイヤ空気圧になるまでタイヤに空気を入れる。
- スマートエアサスペンションを標準高に設定(「車高」>「コントロール」>「標準」をタッチ)。
- お客さまの地域でトレーラーの牽引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きにならないよう、リアの視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。

- 「けん引モード」が有効になっていることを確認してください。

以下を確認します。

- Model X が、取り付けられたトレーラーと水平になっている。車両前方が大きく持ち上がり、後方が下がっている場合、「運搬能力」に示す最大けん引荷重およびタンク負荷を超えていないかどうか確認する。
- トレーラー ヒッチの部品や付属品と電気コネクター(もしあれば、リバース ライトやフォグランプなど)すべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- トレーラーの燈火類が正しく点灯することを確認してください(ブレーキ灯、方向指示灯、標識灯)。
- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接続されている。
- 積み荷がすべて固定されている。
- トレーラー タング荷重が総けん引重量の約 4% で、「運搬能力」に示す最大タンク荷重を超えないようにトレーラー荷重が均等に分散されている。

警告：トレーラー タング荷重は、総けん引重量の約 4% にし、「運搬能力」に示す最大タンク荷重を超えないようにしなければなりません。荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

警告：トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我や死亡につながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーを牽引している時は、牽引モードを常に動作させてください。トレーラーの電氣的接続を繋げると、Model X は自動的にトレーラー モードを有効にします。トレーラーの電氣的接続を切断すると、けん引モードは無効になります。牽引モードに入る、あるいは牽引モードから出るには、タッチスクリーンで「コントロール」>「運転モード」>「けん引モード」をタッチしてください。以下のいずれかがインストールメントパネルに表示されます。



けん引モードが有効です。



Model X はトレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリが接続されている可能性があります。



Model X は、トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。

注: Model X が過大な負荷を検出した場合は、トレーラーが接続されたと認識し、自動的に牽引モードになります。牽引モードになったことを知らせるため、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。過大な負荷を検出したことでけん引モードに自動的にいった場合、けん引モード設定を変えるには Model X を停車させ、ギアをパークまたはニュートラルに入れ、タッチスクリーンを用いて手動でパーキングブレーキをかけます（「コントロール」>「運転モード」>「E ブレーキと電源オフ」>「パーキングブレーキ」）。

牽引モードでは、次の機能が無効になります。

- ・ オートステアリング。
- ・ オートパーキング。
- ・ リア パーキング センサー

さらに、これらの機能は異なる動作をすることがあります。

- ・ トラフィック アウウェア クルーズ コントロールは、前方にある車との車間距離を増やします。
- ・ スマート エアサスペンションの**標準**から**低**への速度に応じた調整は行われません。
- ・ スマート エアサスペンションは、保存済のロケーションベース設定に応じた自動車高調整を行います。
- ・ 側方衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- ・ 自動緊急ブレーキ（[衝突回避アシスト](#) - 104 ページを参照）による制動力は大幅に制限されます。

警告: Model X がトレーラーを検出して自動的に牽引モードに入るとはいえ、それに任せっぱなしにはしないでください。トレーラーを引く前に必ず、牽引モードになっていることを常に確認してください。

警告: トレーラーを牽引している時には、いかなる状況でも牽引モードを終了してはなりません。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

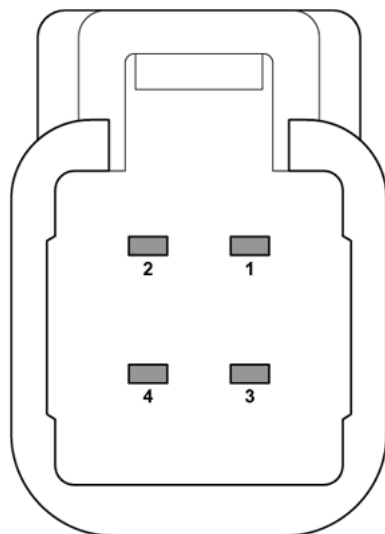
警告: ヒッチの高さとトレーラーの高さを合わせようと、エアサスペンションの設定を使用してはいけません。

トレーラーブレーキ

積載重量が 450 kg を超えるトレーラーを牽引する場合は、トレーラーにその重量に適した個別のブレーキ系を備えることを Tesla は推奨しています。地域の法規制に適合させてください。

ブレーキコントローラーを接続するには次の手順に従ってください。

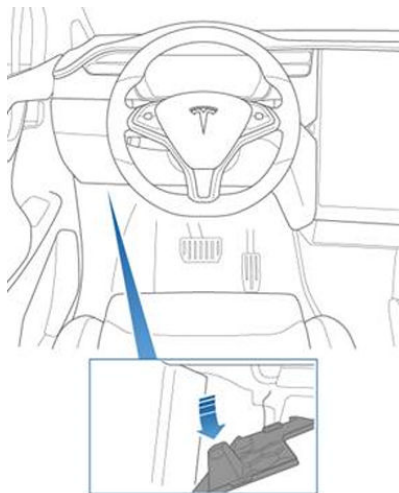
1. ブレーキコントローラーの配線を、Model X に付属の 4 ピンビギングテイルコネクタの適切な場所に接続します。



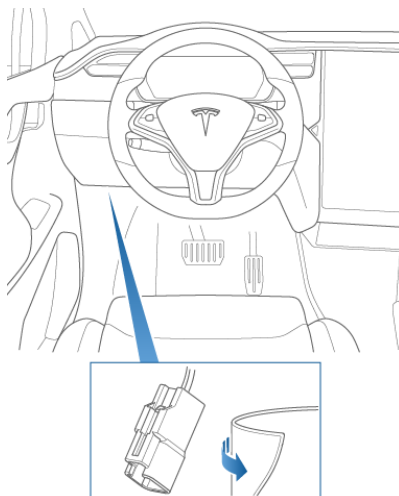
- 1 - トレーラーへのブレーキコントロール出力
- 2 - アース
- 3 - ブレーキオン信号
- 4 - 12V 電源 (20A)



2. 運転席側足元のダッシュボード下にあるカバーを外してください。



3. カーペットをめくって Model X のワイヤーハーネスにある 4 ピン コネクタを露出させます。



4. ピッグテイル コネクタを車両の配線コネクタに接続します。

- 警告：**牽引時には、トレーラー自信にブレーキ系が備わっていたとしても制動距離が長くなります。牽引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないよう留意してください。事故につながる危険があります。

- 警告：**トレーラーの牽引およびブレーキの必要条件に関して地域または国で定められているすべての規制、法的義務を遵守してください。多くの地域で、トレーラーが車両から離れた場合にトレーラーのブレーキを動作させる、ブレーキアウェイスイッチをトレーラーのヒッチ部に装着することが求められています。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

- 警告：**トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラー ブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。Tesla はトレーラーのブレーキ系の取り付け不良による損害には責任を負いません。

- 警告：**トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に直結しようとししないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがまたは死亡につながる可能性があります。

けん引ガイドライン

Model X は基本的には乗員を運ぶ車両として設計されています。トレーラーを牽引することは、モーターやドライブトレイン、ブレーキ、タイヤやサスペンションに負荷をかけ、航続距離を大幅に減少させます。トレーラーを牽引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラー牽引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- 前方の車両との車間を通常の倍ほどとるようにしてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- 急な旋回を避けてください。急な旋回をする、と、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類、方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーを牽引する場合、トレーラーの電球が切れていても、車両の計器クラスター上のウィンカーは正常に点滅します。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- トレーラー ブレーキが作動していることを定期的に確認してください。
- 勾配のある場所での駐車は避けてください（「トレーラーをつけた状態で駐車」を参照）。



- 牽引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。

- 1 人がブレーキ ペダルを押して保持します。
- もう 1 人がタイヤの坂道側に車輪止めを差し込みます。
- 車輪止めが配置されたら、ブレーキ ペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

注：車輪止めをテストするときは、ホールド機構（オートブレーキホールド - 68 ページ参照）が車両を支えていないようにします。ホールドが Model X にブレーキをかけているときは、インストゥルメントパネルにホールドインジケータが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

- 車両をパーキングにシフトします。パーキングブレーキが作動します。

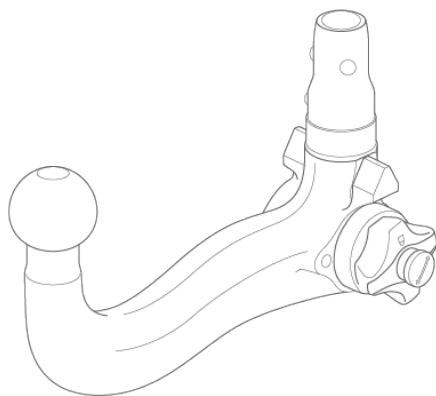
⚠ 警告：勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

トレーラーのふらつき軽減

トレーラーがふらついていることが検出されると、Model X の電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキを加えてトレーラーのふらつきを最小化しようとし、インストゥルメントパネルには、トラクションコントロール システムのインジケータが短時間表示されます。このシステムが作動してトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキは解除されません。

けん引ヒッチの接続

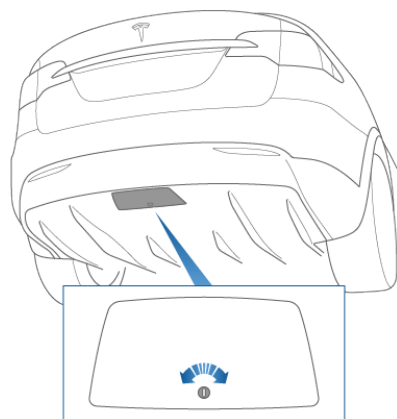
Model X のけん引パッケージには、50 mm 径ボールが付いている重量物運搬ヒッチが付属します。ヒッチ レシーバーを使用しない時は、ヒッチ を取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチ ハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止してください。



⚠ 警告：トレーラーを牽引する際には必ず Model X 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けしないでください。

トレーラーヒッチ は次のように取り付けます。

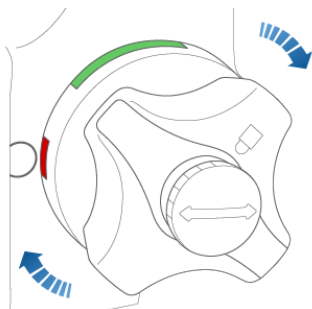
1. ダストカバーをヒッチ ハウジングから取り外します。



2. ヒッチのロック シリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「アンロック」位置に合わせます。



- アダプターからロッキング シリンダーを約 0.5 cm ほど引き出し、時計方向に回してシリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。



⚠ 警告：ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

- ヒッチを底からしっかりとつかみ、ヒッチ側面の三角形のガイドをヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注：ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないとください。

- ロッキング シリンダーが約 120 度反時計方向に回転し、「閉位置」で自動的にロックされるまで、ヒッチをヒッチハウジングに押し入れます。ロッキング シリンダーの緑色部分（白い矢印の上）はヒッチの白いドットに合わせます。
- ヒッチが完全にヒッチハウジングに差し込まれていることを目視で確認してください。ヒッチを引き下げてみます。ヒッチは引いても落ちないはずです。

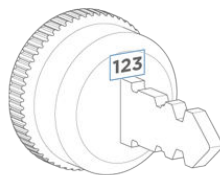
注：ヒッチがハウジング内でロックされていなければ、引いた時に落ちてしまいます。

- キーを回して矢印をロッキング シリンダーの「ロック」マークに合わせます。

- キーを外し、安全な場所に保管します（車両内部が望ましい）。

注：キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注：Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このコードが必要になります。



- ダストカバーを閉じ、汚れやごみがロック内に入らないようにします。

注：ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

けん引ヒッチの取り外し

牽引後は、ヒッチを取り外します。

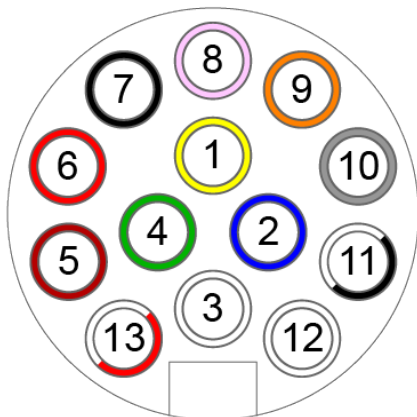
- キーを挿入し、「アンロック」位置にキー上部を合わせます。
- ヒッチを（床とさないように）その底をしっかりとしながら、ロッキング シリンダーを約 0.5 cm ほど引き出し、時計方向に回してロッキング シリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でロックされ、ヒッチがヒッチハウジングから外れます。

⚠ 警告：ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

- ハウジング内にゴミがたまらないように、ヒッチハウジングにダストカバーを再取り付けします。
- ヒッチのロッキング シリンダー上のダストカバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示灯を装備するよう規則で求められています。トレーラーの灯火類に電力を供給するために、組み込み式の 13 ピンワイヤリングコネクタが、ヒッチハウジング近くのけん引バーに取り付けられています。ほとんどのトレーラータイプで使用される配線プラグを、このコネクタに接続することができます。



1. 左折灯 (黄色)
2. リアフォグ (青)
3. アースのピン 1-8 (白)
4. 右折灯 (緑)
5. 右テールランプ (茶)
6. ストップランプ (赤)
7. 左テールランプ (黒)
8. リバースランプ (ピンク)
9. 12V 電源 - 常設 (オレンジ)
10. 12V 電源 - 切替/イグニッション (灰)
11. アースのピン 10 (黒/白)
12. トレーラー ブレーキ コントロール出力 (ライトグレー)
13. アースのピン 9 (赤/白)

注: すべてのピンは 12V 電源です。

注: すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよび牽引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。

注: 牽引中にトレーラー灯火類が消えた場合は、ヒューズ切れの可能性があります。Model X は、ヒューズが切れても警告は出しません。Tesla サービスにお問い合わせください。

注: トレーラーのフォグランプが検出されると、Modes X はリヤフォグランプを無効にします (装備されている場合)。

トレーラーのワイヤーを Model X の電気的コネクタに接続すると、けん引モードが自動的に有効になります (**けん引モード** - 78 ページを参照)。

⚠ 警告: 電気的接続は Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

⚠ 注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

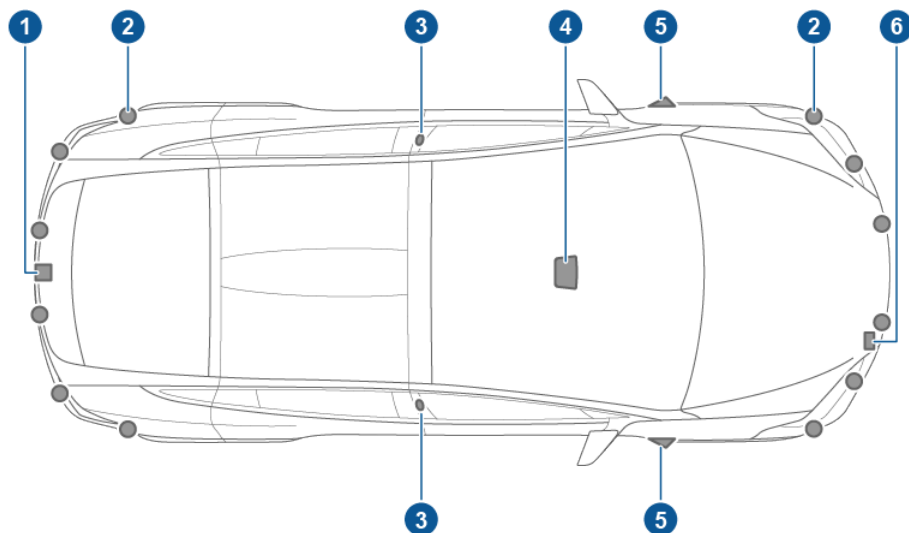
航続距離への影響

トレーラーを牽引してアクセサリを運搬すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリッププランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとはしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。



動作の仕組み

以下のドライビングアシスト コンポーネントを搭載する Model X は周囲の道路環境を能動的にモニターします。



1. カメラは、リア ナンバープレートの上方に搭載されています。
2. フロント/リア バンパー内に、超音波センサーを搭載しています。
3. 各ドア ピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスにはバックミラーの上方にカメラが 3 台取り付けられています。
5. 各フロント フェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダーは、フロントバンパーの背後にあり、車両のと右側に取り付けられています。

Model X には、高精度電動アシスト ブレーキおよびステアリング システムも装備されています。



機能

以下の安全機能は、ドライビングアシスト コンポーネントを搭載したすべての Tesla 車両に装備されています。

- レーンアシスト (レーンアシスト - 102 ページを参照)。
- 衝突回避アシスト (衝突回避アシスト - 104 ページを参照)。
- スピードアシスト (スピードアシスト機能 - 107 ページを参照)。
- オートハイビーム (ハイビーム ヘッドライト - 60 ページを参照)。

ドライバーの負担を軽減するように設計されたこれらの便利な機能は、お客様の Tesla 車両がオプションの強化された自動運転または完全セルフドライビング性能パッケージを装備している場合にのみ利用できます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール (トラフィックアウェア クルーズコントロール - 87 ページを参照)。
- オートステアリング (オートステアリング - 93 ページを参照)。
- 自動車線変更 (自動車線変更 - 96 ページを参照)。
- オートパーキング (オートパーキング - 98 ページを参照)。

ドライビングアシスト機能は有効または無効にすることができます。場合によっては機能を制御することもできます。ドライビングアシスト機能の設定にアクセスするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」の順にタッチします。

キャリブレーション

Model X ドライビングアシスト機能が使用されているときは高度で正確な操作が必要になります。従って、いくつかの機能 (例えば、トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリング) を初めて使用する前に、いくつかのカメラはセルフ キャリブレーション処理を完了させていなければなりません。

キャリブレーションは通常、32~40 km の距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。車線がはっきり見える直線道路で走行すると、Model X を速くキャリブレーションすることができます。キャリブレーションが完了すると、次回運転するときに機能が使用できるようになります (最低でも機能を使用する前に停止してパーキングに移動する必要があります)。

Model X を 160 km 走行してもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

注: 機能を使用したとしてもキャリブレーションが完了するまでは利用することができませんので、

機能は有効になりません。インストールメントパネルにはメッセージが表示されることがあります。

注: Model X は、Tesla がカメラのサービスを行った場合、ソフトウェアの更新後でも補正プロセスを繰り返します。

制限事項

ドライビングアシスト コンポーネントのパフォーマンスは、多くの要因によって影響を受け、意図したとおりに機能しないこともあります。これらの要因には以下のようなものがあります (ただし、これらに限定されません)。

- 視界不良 (激しい雨、雪、霧など)。
- 強い光 (接近するヘッドライト、直射日光など)。
- 自動運転コンポーネントが泥、氷、雪などによる損害を受けているまたは妨害されている。
- 車両に取り付けたアイテムがコンポーネントに干渉したり、妨害したりしている (バイクラックなど)。
- 過度の塗料や接着製品 (ラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど) を車両に塗布することによって発生する障害。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- バンパーが損傷している、または位置がずれている。
- 超音波を発生する他の機器がセンサーに干渉している。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。

⚠ 警告: 前記のリストはドライビングアシスト コンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。運転の際は、自動運転機能だけに頼らないようにしてください。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。

⚠ 注意: フロントガラスの交換が必要になった場合は、車両を Tesla サービスにお持ち込みください。これで、カメラの適切な取り扱いおよび取り付けが保証されます。これを怠ると、ドライビングアシスト機能が誤動作を起こすことがあります。

カメラおよびセンサーのクリーニング

ドライビングアシスト コンポーネントができるだけ正確な情報を提供できるように、コンポーネントを常にきれいにし、周囲に障害物や損傷がないようにしてください。時々、ぬるま湯に湿した柔らかい布でコンポーネントに蓄積した汚れを拭き取ります。

⚠ 注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。



-  **注意：** 高圧洗浄機は使用しないでください。
-  **注意：** 超音波センサーまたはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

注：トラフィックアウェア クルーズコントロールはベータ版の機能です。

、お客様がオプションの拡張自動運転または自己運転性能フルパッケージを購入している場合、前方監視カメラとレーダー センサーは同じ車線の前方に車両があるかどうかを判断するように設計されています。Model X の前方に車両が走行していない場合、トラフィックアウェア クルーズ コントロールは設定されている走行速度を維持します。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズ コントロールは、前方車両との間に時間に基づいて設定された車間距離が保たれるように、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を減速させるように設計されています。トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用していても、ドライバーは道路の進行方向に常に注意を払い、状況に応じて自らブレーキを踏む必要があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路など、乾燥した直線道路の走行を想定して設計されています。市街地の道路では使用しないでください。

警告：トラフィックアウェア クルーズ コントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズ コントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告：トラフィック アウェア クルーズ コントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model X の速度を減速するのに決してトラフィック アウェア クルーズ コントロールだけに頼らないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告：交通状況が常に変化している市街地の道路では、トラフィックアウェア クルーズ コントロールを使用しないでください。

警告：急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズ コントロールを使用しないでください。トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転状況に応じて運転速度を調整しません。

トラフィックアウェア クルーズ コントロールの動作

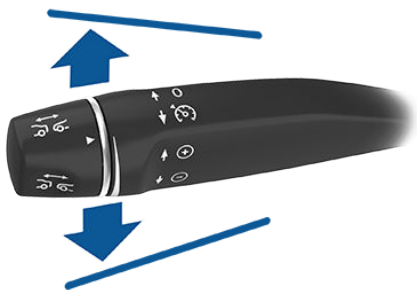
トラフィックアウェア クルーズ コントロールを使用するには、前方に車両が検出されない限り、最低でも時速 30 km 以上で走行している必要があります。前方に車両が検出された場合は、たとえ静止していても、車両から少なくとも 150 cm 離れている場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールを任意の速度で使用することができます。

最小設定速度は、時速 30 km です。設定できる最高速度は時速 150 km です。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。

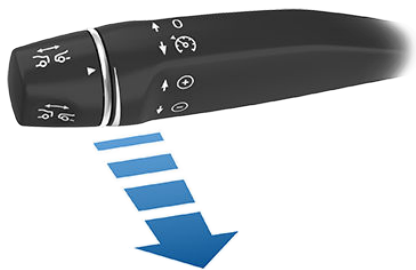


インストゥルメントパネルの走行速度の左側にグレーのスピードメーター アイコンが表示されるときは、トラフィックアウェア クルーズ コントロールは使用可能ですが有効になってはいません。灰色に表示されている数値はスピードアシストが設定したものです（スピードアシストの制御 - 107 ページを参照）。

希望の速度で運転中に、クルーズコントロール レバーを上または下に動かしてから離し、速度を設定します。



スピードアシストが設定した速度に巡航速度を設定するには（スピードアシストの制御 - 107 ページを参照）、クルーズ コントロール レバーを手前に引いて放します。



インストールメントパネルに灰色で表示されるスピードメーターアイコンが青くなり、設定速度が表示されれば、トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動しています。

注：最小設定速度は、時速 30 km です。設定できる最高速度は 時速 150 km です。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。

この状態でアクセルペダルを離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度の維持を開始します。前方に車両の存在が検出されない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度を維持し続けます。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは選択されている車間距離を保つために、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を加速させたり減速させたりします。前方に検出される車両がいなくなった場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度まで加速します。トラフィックアウェア クルーズコントロールは進入または脱出するカーブに合わせて適切な速度に調整します。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを用いて設定速度を維持しながら走行している場合、いつでも加速することが可能です。ただし、アクセルペダルを離すと、Model X は設定速度に戻ります。

前方に他の車両がある場合は、Model X が停車したとしても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効となったままとなります。前の車両が再び動き始めると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。ただし以下の状況では、トラフィックアウェア クルーズコントロールが再開せず**ホールド**状態になり、インストールメントパネルにはクルーズコントロールを再開する必要があることを示すメッセージが表示されます。

- 5 分間停車している場合。
- 運転席のシートベルトが外された場合。
- Model X 歩行者を検出した場合 (歩行者に接近していなければ**ホールド**状態が解除されます)。

- Model X 追従している車両を突然見失った場合。
- 超音波センサーが Model X の前方に障害物を検知した場合。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを再開するには、アクセルペダルを踏みか、クルーズコントロール レバーを手前に引きます (**キャンセルおよび再開** - 90 ページを参照)。

右側通行の場合、最右車線を走行してる時に出口の 50 メートル手前で右側に方向指示器を出すと (高速道路など侵入制限されている道路のみ)、トラフィックアウェア クルーズコントロールはその道路から出ようとしていると判断します。これにより、トラフィックアウェア クルーズコントロールは車両を減速し始めます。同様に左側通行の場合は、最左車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で左に方向指示器を出します。車載グローバルポジショニングシステム (GPS) を使用して、走行している地域が右側通行か左側通行かを判断します。GPS データが利用できない状況 (例えば、電波が弱い場合など) では、出口手前で方向指示器を出してもトラフィックアウェア クルーズコントロールは Model X を減速しません。

注：クルーズコントロール レバーを 2 回引くと (トラフィックアウェア クルーズコントロールがアクティブのときは 1 回)、有効になっている場合にはオートステアリングが動作し (**オートステアリング** - 93 ページを参照)、現在の走行速度、または予めスピードアシストでオフセットを設定した制限速度のどちらか速い方に設定速度が変更されます (**制限速度での運転** - 89 ページを参照)。

注：トラフィックアウェア クルーズコントロールが前方車両との車間距離を選択されている距離に保つために Model X を減速させているときは、ブレーキランプが点灯し、他のドライバーに自車が減速していることを知らせます。また、ブレーキペダルがわずかに動きます。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールが Model X を加速しているときは、アクセルペダルは動きません。

⚠ 警告：車載 GPS に限界があり、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、またはナビを使って目的地に向かっていている時に提示ルートに従わない時など、トラフィックアウェア クルーズコントロールが車両を減速することがあります。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があります。静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなる場合があります。特に時速 80 km 以上で走行しているときに追尾していた車両がいなくなり、その代わりに静止した車両や物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。常に前方の道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。衝突回避をトラフィックアウェア クルーズコントロールに任せきりに

すると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。さらに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を不必要または不適切に減速させる場合もあります。

⚠ 警告：制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが前方車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model X の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。衝突回避のための減速をトラフィックアウェア クルーズコントロールに任せきりにしないでください。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。衝突回避のための減速をトラフィックアウェア クルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model X にブレーキをかけることがあります。その原因は、前方車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の手車線上の車両や物体を検出することなどです。

車間距離の調整

Model X と前方を走行する車両との車間距離を調整するには、クルーズコントロール レバーを回して、1（最短車間距離）から 7（最長車間距離）の設定を選択します。各設定は、Model X が現在の位置から前方車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。



クルーズコントロール レバーの回転に従い、インストルメントパネルに現在の設定が表示されます。希望の設定が表示されたら、レバーを離します。



注：設定は、手動で変更されるまで保持されます。

⚠ 警告：十分な車間距離を取って安全に運転することはドライバーの責任となります。適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

⚠ 警告：衝突を避けるために、Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。

制限速度での運転

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用すれば、簡単に制限速度で巡航できます。スピードアシストが現在設定している速度制限で運転することができます（スピードアシスト機能 - 107 ページを参照）。これを行うには、クルーズコントロール レバーを手前に引きます。レバーから手を離すと、スピードアシストは設定してあるオフセット値を考慮して、巡航速度を設定します。レバーを引いた時すでに制限速度以上で走行していた場合は、速度は制限速度に調整されず、現在の走行速度で速度が設定されます。

注：制限速度をもとにクルーズ速度を調節する場合は、制限速度を変更しても設定速度は変更されません。新しい速度制限で走行するには、クルーズコントロール レバーをもう一度引く必要があります。常時巡航速度を手動で調整することもできます（[設定速度の変更](#) - 89 ページを参照）。

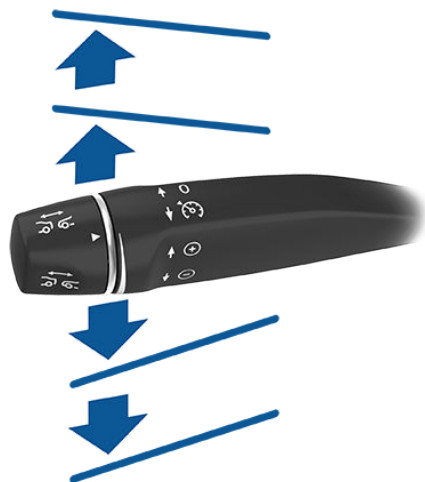
注：クルーズコントロール レバーを上下させると、現在の走行速度が設定速度となります。

注：スピードアシストが制限速度を特定できない場合、クルーズコントロール レバーを手前に引いても、設定速度を変更することはできません。

⚠ 警告：正確で適切な走行速度の把握をスピードアシスト、またはトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存しないでください。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行してください。

設定速度の変更

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用中に設定速度を変更するには、必要な速度が表示されるまで、クルーズコントロール レバーを上（増加）または下（減少）に動かします。



時速 1 km 刻みで加速または減速するには、レバーを第 1 ポジションまで上げて、または下げてから離します。現在の速度に最も近い時速 5 km の倍数で加速または減速するには、レバーを第 2 ポジションまで上げるまたは下げたあとに離します。たとえば、時速 83 km で走行しているときにレバーを第 2 ポジションまで上げてから放すと、速度は時速 85 km になります。レバーを一番上まで上げたまま、または一番下まで下げたままにして、目的の速度がクルーズコントロールアイコンの下に表示されたときにレバーを放すことによって、加速したり減速したりすることもできます。

スピードアシスト（設定したオフセットをすべてを含む）によって現在決められている制限速度で巡航するには、クルーズコントロール レバーを手前に引きます。[スピードアシスト機能 - 107 ページ](#)を参照してください。

注：Model X は、Model X の設定速度より遅い速度で走行する車両が前方にいないことを検出した場合、新しい走行速度を決定するために数秒かかることがあります。

追い越し加速

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している状態で前方車両を追っている場合、方向指示器を素早くオンにすると（追い越し車線へ移動することを示すと）、Model X は前方車両がいる方向へ短時間加速します。方向指示器レバーを一瞬上げたままにするか、下げたままにすると、アクセルペダルを踏むことなく、設定速度まで素速く加速できます。方向指示器の操作による加速は、以下の条件が満たされている場合に限られます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。

- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X 設定速度未満であるが時速 72 km を超える速度で走行している。

追い越し加速は前方車両を追いつく際の補助を目的としています。方向指示器が出されると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き前方車両との車間距離を保ちますが、設定距離よりも若干短い車間距離で運転することができるようになります。

加速は次の場合にキャンセルされます。

- 設定したクルーズ速度に到達した場合。
- 車線変更に時間がかかる場合。
- Model X 前方車両との距離が近すぎる。
- または
- 方向指示を取り消した場合。

注：追い越し加速は方向指示器を出した場合、または方向指示器に軽く触れた場合(部分的に出した場合)に機能します。方向指示器から手を放したり、方向指示器をオフにした場合、Model X は（アクセルペダルを放した場合と同様に）加速を中止し、設定速度での走行を再開します。

⚠ 警告：追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。

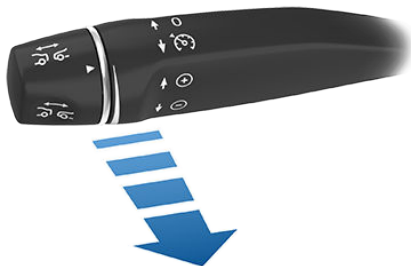
⚠ 警告：追い越し加速では、適切な方向指示が出されると必ず走行速度が増加し、Model X が前方車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは前方車両との車間距離を保ち続けますが、特に前方車両を追いつくつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

キャンセルおよび再開

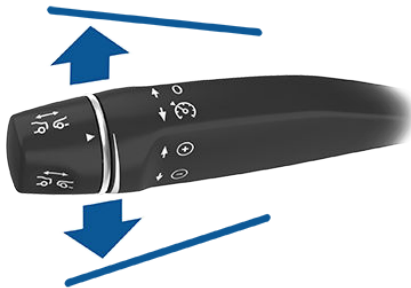
トラフィックアウェア クルーズコントロールを手動でキャンセルするには、クルーズコントロール レバーを前に素早く押す、またはブレーキペダルを踏みます。インストルメントパネル上のスピードメーターアイコンがグレイになり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが運転速度を制御していないことを示します。



前回の設定速度で再びクルーズする場合は、クルーズコントロールレバーを少しだけ手前に引きます。



現在の走行速度でクルージングを再開するには、クルーズコントロールレバーを上下に動かしてから放します



注：トラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセルペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します（[回生ブレーキ](#) - 63 ページを参照）。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは次のような場合にキャンセルされるか、利用できない場合があります。

- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- Model X が指定された車間距離内に前方車両を検出していない状態で、走行速度が時速 8 km 未満まで落ちた場合。
- 走行速度が最大巡航速度である時速 150 km を超えた場合。
- Model X を別のギアに入れてください。
- 運転席のシートベルトが外れた場合。
- ドアが開いた場合。
- レーダーセンサーまたはカメラの視界が遮られた場合。これは汚れ、泥、氷、雪、霧などが原因により発生する場合があります。

- トラクションコントロールの設定が手動で無効にされた、またはスリップを防ぐため何度も作動している場合。
- ホイールが回転しているにも関わらずその場から動かない場合。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールシステムが故障し、修理を必要としている場合。

トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用できない場合またはキャンセルされた場合、Model X は一定の設定速度で走行しなくなり、前方車両との間に指定された車間距離を保たなくなります。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

クルーズインジケータのまとめ



トラフィックアウェア クルーズコントロールは利用できますが、この機能を有効にするまでは車両の速度をコントロールすることはできません。灰色に表示されている数値はスピードアシストが設定したものです（[スピードアシストの制御](#) - 107 ページを参照）。



トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作し、設定速度を維持している（前方に車両がない）かまたは前方の車両と設定した車間距離を保ちます（設定速度まで）。



Model X が完全に停止したが、**ホールド**状態にある。安全に行える場合、設定速度で巡航を再開するにはアクセルペダルを踏みます。

制限事項

トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道が鋭くカーブしている。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- レーダーセンサーが遮られている（汚れ、カバーなど）。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。



警告：前記のリストはトラフィック アウェア クルーズ コントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。

注：オートステアリングは、ベータ版の機能です。

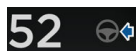
オプションの拡張自動運転または完全セルフドライビング性能パッケージが購入されている場合は、ドライビングアシストを利用して一定の条件下でステアリングや速度を操作することができます。オートステアリングでは、トラフィックアウェア クルーズコントロールに基づき（[トラフィックアウェア クルーズコントロール](#) - 87 ページを参照）、Model X が設定速度で走行中に走行車線を維持します。オートステアリングは車両のカメラ、レーダーセンサー、超音波センサーを使用して、車線マーキングと直前の車両を検出し、それを元にアシスト操舵 Model X を行います。

⚠ 警告：オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。使用中も常にハンドルを握っておいてください。

⚠ 警告：オートステアリングは十分に注意力の働くドライバーが高速道路などのアクセスの制限された道路を走る場合に限って使用することを前提としています。オートステアリングを使用する時は、ハンドルを握り、道路条件や周囲の車両に十分に注意を払ってください。市街地、道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある地域では、オートステアリングを使用しないでください。適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。常に即座に対応できるようにしてください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

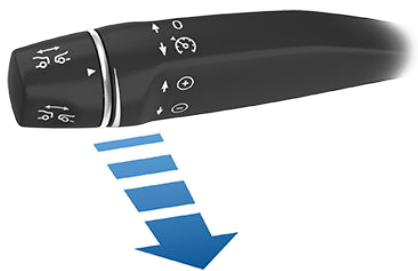
オートステアリングの操作

オートステアリングを利用するときは、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「オートステアリング」>「ON」の順にタッチし、この機能を有効にしておく必要があります。



オートステアリングが利用可能であること（ただし、現在は Model X をステアリング中ではないこと）を示すため、インストゥルメントパネルの運転速度表示の右側にグレーのオートステアリングのアイコンが表示されます。

オートステアリングを開始させるには、クルーズコントロール レバーを素早く 2 度続けて手前に引きます。



周囲の交通状況に注意を払い、ハンドルに両手を置いておこう。オートステアリングは短時間インストゥルメントパネルにメッセージを表示します。オートステアリングが作動してアシストし始めると操舵を開始すると Model X、インストゥルメントパネルのオートステアリングのアイコンの表示が青に変わります。オートステアリングが車線マーカを検出できると、車線も青で表示されます。



注：前方に車両がない場合にオートステアリングを起動するには、車線マーカを可視にして車道を時速 30 km 以上の速度で走行していなければなりません。前方に車両が検出された場合は、たとえ静止していても（車両から少なくとも 150 cm 離れている場合）、オートステアリングを任意の速度で開始することができます。

オートステアリングが作動できる運転速度で走行していない時にオートステアリングを有効にしようとすると、インストゥルメントパネルに、メッセージが表示され、オートステアリングが一時的に利用できないことを知らせます。オートステアリングがカメラやセンサーから適切なデータを受信していない場合も、オートステアリングが利用できないことがあります。

オートステアリングが車線マーカを検知できない場合、車線区分は追従する車両を元に決定されます。



オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、センサーが障害物（車両またはガードレールなどの）を検出すると、Model X に車線の中央から外れた経路を選択させる場合もあります。

警告：オートステアリングは、走行車線内の物体を部分的にまたは完全に避けて Model X を操縦するには設計されておらず、そのような動作はしません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

速度制限

オートステアリングは、高速道路などのように入口と出口が制限されている道路で、十分に注意力の働くドライバーが使用することを想定しています。住宅地や中央分離帯のない道路、または侵入が制限されていない道路でオートステアリングの使用を選択すると、オートステアリングは最大許容巡航速度を制限する場合があります。そのような道路の最大許容巡航速度は、検出された制限速度を基準に、時速 +10 km までのスピードアシスト オフセット値を含めて計算されます。時速 +10 km を超えるスピードアシストオフセット値は、時速 +10 km に四捨五入されます。しかし、速度制限オフセットを減らす（[スピードアシストの制御](#) - 107 ページを参照）またはクルーズコントロール レバーを調整することで、より制限されたクルーズ速度を選択することができます。

オートステアリングが有効で制限速度が検出できない状況では、運転速度は時速 70 km に制限されます。制限速度を超えて加速することはできませんが、Model X は検出した障害物に合わせてブレーキをかけることができなくなる場合があります。アクセルペダルを離すと、オートステアリングは制限速度まで減速します。その道路から離れる時、またはハンドルを動かしてオートステアリングを無効にした時に、必要に応じて設定速度を上げることができます。

ハンドルを握ってください

オートステアリングは、カメラ、センサー、GPS からのデータを使用し、ドライバーのをアシストして Model X を最適に運転する方法を決定します。これが有効になっている時、ハンドルを握っておく必要があります。一定時間ハンドルに手に触れないと、インストゥルメントパネルの周りに白いライトが点滅し、次のメッセージが表示されます。



オートステアリングは、ハンドルを回す時に軽い抵抗があるか、あるいはハンドルがわずかに（制御を取り戻すほどの力ではなく）回されるかによって運転者の手を検知します。ハンドルに手が置かれたのが検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能が通常動作に戻ります。

注：オートステアリングは、メッセージが表示された時と同時にチャイム音を鳴らす場合があります。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わるように備えていなければなりません。それでもハンドルに置いた手が検出されない場合、オートステアリングは徐々に速くチャイム音を鳴らします。

ハンドルに手を置くように促す警告を無視し続けると、以下のメッセージが表示され、その後の運転でオートステアリングは使用できなくなります。マニュアルで運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。



次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、一度停車してパーキングにシフトすれば再び使用できるようになります。

オートステアリングが停止します

オートステアリングが Model X を操作できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルにメッセージを表示します：



オートステアリングをキャンセルします

オートステアリングは次の時に動作をキャンセルします。

- ハンドルをわずかも回した時。
- ブレーキ ペダルを踏んだ時。
- クルーズ コントロール レバーを前に倒した時。
- オートステアリングの対応時速の上限（時速 150 km）を超えています。
- 別のギアに入れてください。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト](#) - 104 ページ参照）。

オートステアリングをキャンセルすると、オートステアリングはチャイム音を鳴らし、アイコンをグレーにしてオートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンを完全に消してオートステアリングが現在利用できないことを示します。

注：オートステアリングは、ハンドルを回そうと力を入れるとキャンセルされますが、トラフィック アウエア クルーズ コントロールは有効状態を保ちます。クルーズコントロール レバーを素早く前方に押す、または、ブレーキペダルを踏むなど通常の動作で、トラフィックアウエア クルーズコントロールを無効にします。

オートステアリングを無効にするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「オートステアリング」>「OFF」の順にタッチします。

制限事項

オートステアリングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカを正確に判断できません。たとえば、車線マーカが過度に摩耗している、以前のマーカが見えている、道路工事のために車線マーカを調整している、車線マーカが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流）、車線マーカに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況です。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。

⚠ 警告：様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。そのことに留意し、オートステアリングのアシスト Model X が適切にできないことがあることを覚えておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。



警告：自動車線変更は、進入が制限されている高速道路（出入りのある道路）を走行しているときのみを使用するよう設計されています。

、拡張自動運転または完全自動運転機能パッケージをオプションで購入している場合、自動車線変更機能を使ってハンドルを動かさずに Model X を隣の車線に車線変更することができます。トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングの両方が有効になっている場合、自動車線変更機能はハンドル操作をアシストし Model X を隣の車線へ車線変更を行います。Model X は、前方監視カメラ、レーダー、および超音波センサーを使用して、車線マーカークや他の車両の存在を検出します。

自動車線変更機能は、車線マークがはっきりとあるアクセス制限されている高速道路や主要な道路、ステアリングとドライバーの介入が最小限になる、比較的予測可能な状況下での使用を前提に設計されています。

警告：車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。自動車線変更機能は、目標車線上で近づいてくる車両、特に背後から高速で走ってくる車両を検出できません。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカーク、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

警告：適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、インストールメントパネルの警告に気を配りながら注意深く運転してください。常に即座に対応できるようにしてください。

警告：交通状況が常に変化し自転車や歩行者が通っているような市街地の道路では、自動車線変更機能は使用しないでください。

警告：自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカークを認識するカメラの性能に左右されます。

警告：急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサーの機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告：すべての警告および指示に従わないと、重大な損害、怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

自動車線変更機能の操作

自動運転車線変更を操作する前に、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動運転車線変更」>「オン」の順にタッチして自動車線変更機能を有効にする必要があります。

注：自動車線変更機能をオンにする前にオートステアリングをオンにする必要があります（オートステアリング - 93 ページを参照）。

オートステアリングをオンにしないと自動車線変更機能は作動しません。

注：選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールにも保存されます。

自動車線変更機能を使用して車線を変更する：

1. 目標車線への移動が安全で適切であることを確認するために目視チェックを行います。
2. 適切な方向指示器を動かし、両手をハンドルに置き、車線変更を開始します。
3. 目的の車線に入ったら、方向指示器を解除します。

自動車線変更機能は、次の条件が満たされた場合、方向指示器が示す隣接した車線に Model X を移動するアシストを行います：

- 自動車線変更機能は、手がハンドルに置かれていることを検知している。
- 自動車線変更機能の設定がオンになっている。
- 方向指示器を作動している。
- オートステアリングが Model X のステアリング操作をしている。
- 超音波センサーは、目標車線の中心線までの間に車両や障害物を検出していない。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示します。
- カメラの視野が遮られていない。
- レーンアシストが死角に車両を検出していない（レーンアシスト - 102 ページを参照）。
- 車線変更の途中で、自動車線変更機能は目標車線の外側車線マーカークを検出できます。
- 最低運転速度は時速 45 km

車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します（追い越し加速 - 90 ページを参照）。車線変更の途中で、自動車線変更機能は目標車線の外側車線マーカークを検出できなければなりません。この車線マーカークが検出できない場合は、自動車線変更機能とオートステアリングの両方がキャンセルされます。

注：自動車線変更機能は一度に 1 車線ずつ移動するアシストを行います Model X。さらに車線を変更する場合は、最初の車線変更が完了した後に方向指示器を再度作動させる必要があります。

警告：車線変更中に自動車線変更が中止された場合（たとえば、自動車線変更が車線変更の途中で目標車線の外側を検出できない場合）、Model X は元の走行レーンに戻ります。

自動車線変更機能が作動している時は、前方の運転経路と周囲の状況を注視し、自動車線変更機能の動作を見守ることが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、インストゥルメントパネルに、車線マークが点線の青い線として表示されます。新しい車線に入ると、車線のマーキングは青線で再び表示されます。

自動車線変更機能が最適な性能を発揮できない場合、またはデータが不十分なために機能しない場合、インストゥルメントパネルが連続した警告を表示します。自動車線変更機能の使用中は、常にインストゥルメントパネルに注意を払い、必要に応じて常時 Model X のハンドルを手動で制御できるようにしておく必要があります。

警告：自動車線変更機能が Model X のステアリングをアシストしている操舵している場合、ハンドルもそれにに応じて動きます。両手は必ずハンドルに置いておかなければなりません。が、ステアリングホイールの動きを制限する、またはステアリングの動きが重くなると、自動車線変更機能はキャンセルされます。

自動車線変更機能のキャンセル

自動車線変更機能は、走行中の車線のマーカーを Model X が超える前に手動でステアリングホイールを操作するかブレーキペダルを踏む、または方向指示器を取り消した場合にキャンセルされます。

自動車線変更機能を無効にするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動車線変更」>「オフ」の順にタッチします。

制限事項

自動車線変更機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 自動車線変更機能が車線マーカーを正確に判別できない。たとえば、車線マーカーが過度に摩耗している、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを調整している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況です。
- 方向指示器を出した時に、死角に車両が検出された。
- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- センサーあるいはカメラが破損しているか遮られている（たとえば、泥、霧、氷あるいは雪などによる）。

- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。

警告：様々な不測の事態によって、自動車線変更機能が妨害される場合があります。自動車線変更機能は操舵アシスト Model X を適切にできないことがあることに留意してください。常に運転に注意を払い、いつでも即座にステアリングを引き継ぐことができるようにしてください。



オプションで強化された自動運転または完全セルフドライビング性能パッケージを購入している場合は、オートパーキングは超音波センサーおよび GPS からのデータを使用します。

- 一般道路で Model X を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車します。**一般道路での駐車** - 98 ページを参照してください。
- 一般住宅では、車外から Model X をパーキングまたは出庫させることができます。**サモンの使用** - 99 ページを参照してください。

警告：サモンは、ベータ版の機能です。この機能を使用する時は注意して使用し、いつでも運転が引き継げるよう準備して待機してください。

警告：オートパーキングのパフォーマンスは、超音波センサーが他の車両、物体、緑石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。

一般道路での駐車

運転中、オートパーキングで、Model X を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

- 低速で一般道路を走行している場合、オートパーキングが駐車可能なスペースを検出したかどうかはインストゥルメントパネルで確認できます。オートパーキングが駐車スペースを検出した場合、インストゥルメントパネルに駐車アイコンが表示されます。オートパーキングは 24 km/h 以下で運転している時に縦列駐車できる場所を検出します。直角駐車できる場所の場合は、時速 16 km 以下で運転している時に検出します。



注：パーキングアイコンは、車両の位置および/または車両の周囲で適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を検出できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前面が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探るか、手動で駐車してください。

- 検出された駐車スペースが適切かつ安全であることを確認します。確認したら、縦列駐車と同様に車両を前に出し、駐車スペースの前方、車 1 台分のところに車を停車させます。
- ハンドルを離し、Model X をリバースにシフトしてからタッチスクリーンの「オートパーキング開始」をタッチします。

- パーキングが完了すると、オートパーキング画面に「完了」のメッセージが表示されます。

センサーのデータが不十分でオートパーキングを使用できない場合は、インストゥルメントパネルに Model X を手動でパーキングすることを求めるメッセージが表示されます。

注：オートパーキングが Model X を駐車動作をしているときにブレーキを踏むと、タッチスクリーンの「復帰」ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

注：オートパーキングは、少なくとも幅が 2.9 メートルあって、両側に他の車両が駐車されている直角駐車ができそうな駐車スペースを検出します。オートパーキングは、少なくとも 6 メートルあるが、9 メートル未満の平行駐車スペースを検出します。オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

警告：決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告：Model X のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。

警告：パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。

警告：オートパーキング作動中はタッチスクリーンやインストゥルメントパネルにも目を配り、オートパーキングからの指示を確認してください。

パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model X 停止し、タッチスクリーンにある「再開」をタッチするまで停止し続けます。

パーキングをキャンセルする

ハンドルを手動で動かしたり、ギヤを変えたり、タッチスクリーンの「**キャンセル**」をタッチすると、オートパーキングは駐車操作をキャンセルします。オートパーキングは以下の場合でもキャンセルされます：

- パーキングのシーケンスが最大 7 回の動作を超えた場合。
- Model X ドライバーが車両から退出していることを検出した場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- 自動運転が一時停止中にドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト](#) - 104 ページ参照）。

制限事項

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷している、汚れている、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。

⚠ 警告：予期しない状況により、オートパーキングで Model X を駐車できないことがあります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model X を適切に駐車できない場合があることに留意してください。Model X のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモンの使用

注：サモンは、ベータ版の機能です。サモンは、周囲の状況が予測しやすい私有地でのみ使用するように設計されています。サモンを実行している時は、絶えず車両を監視しなければなりません。この機能が安全に、その用途のために使用されることはドライバーの責任となります。

サモンは、モバイルアプリを使用して、車外から Model X を駐車スペースから出し入れすることができます。超音波センサーからのデータを使用して、サモンは Model X を前進、後進させて駐車スペースに駐車させます。パーキングが完了すると、サモンは Model X をパーキングにシフトチェンジします。パーキングは以下の状況で完了します：

- Model X 運転経路に障害物を検出した場合（選択した距離以内で）
- サモンが Model X を最大移動距離 12 メートル

または

- 後進の場合は、サモンが**最大サモン距離**に到達した場合。

サモンを使用するには：

- 初めて使用する時のみ：サモンを有効にして、その挙動をカスタマイズしてください（[サモン機能のカスタマイズ](#) - 100 ページを参照）。
- 駐車するために Model X を所定の位置に置きます（[駐車するために車両を所定の位置に置く](#) - 100 ページを参照）。
- モバイルアプリ、オートパーキングを開始してください。以下、それぞれの方法について詳しく説明します。

オートパーキングで駐車させからパーキングギアが動かされていなければ、サモンで Model X を元の位置に戻すことができます。モバイルアプリ、簡単に反対方向を指定するだけです。サモンは、周囲の状況が全く変わっていないければ（例、障害物が増えているなど）、車両を元の運転経路上で動かします。障害物が検出された場合は、Model X はそれらを避けてなるべく同じ経路をとるように移動します。

サモンをキャンセルして Model X を停止するには、モバイルアプリを使用するか、キーのいずれかのボタンを押すか、または車内にいる場合は、ステアリングハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックを操作してください。

注：サモンに、同じ方向へ数回動いてもらいたい場合、最大移動距離 12 メートルまで、呼び出しをキャンセルし、再度パーキングプロセスを開始して、同じ方向を選択してください。

注：これに加え、サモンは障害物を避けるために Model X を横方向に動かすことができますが、これにより同じドライビングパスに車両を戻すことはありません（例えば、オートパーキングは障害物を回り込んで Model X を動かすことでできません）。



⚠ 警告：過度の塗料や接着製品（ラップ、ステッカー、ゴム コーティングなど）により超音波センサーが妨げられた場合、サモンは設計どおりに動作しません。

⚠ 警告：Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体（例、自転車など）、または天井からぶら下がっている物体などを検知できません。これに加え、予期できない状況でオートパーキングが車両を駐車スペースから出し入れできなくなり、Model X を適切に操作できなくなることがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。

サモン機能のカスタマイズ

サモンを操作する前に、タッチスクリーンで有効にしてください。「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「サモン」>「オン」の順にタップします。

その後、「カスタマイズ」をタッチして、サモンがどのように車の出し入れを行うかを指定します。

- **バンパークリアランス：**サモンが物体を検出して停止する距離を設定してください。例えば、ガレージの壁から数インチ以内でサモンを停止したい場合など。この距離は車両の真正面にある物体（前進している場合）または真後ろにある物体（後進している場合）のみに適用されます Model X
- **サモン距離：**Model X が駐車スペースからバックで出る時の移動距離をコントロールします。
- **サイドクリアランス：**Model X を非常に狭い駐車スペースに入出力することを許可します。

⚠ 警告：狭いスペースに駐車することは、センサーが障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model X または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

注：サモンに関連するすべての設定は、手動で変更するまで保持されます。

駐車するために車両を所定の位置に置く

Model X を前進または後進して駐車スペースに入れられるよう Model X を駐車スペースに横方向向かって合わせてください。また、サモン機能が Model X を移動できる最大距離となるため、Model X を駐車スペースから 12 メートル以内に停車させる必要があります。

該当する場合は、ガレージ ドアを開きます。

注：サモンは、突起したコンクリートの端部が約 2.5 cm を超えない、平坦なドライブウェイのみで使用してください。

モバイルアプリでサモンを操作する

モバイルアプリでは、呼び出しを開始して、前進または後進ボタンを長押しして Model X を駐車スペースに移動させます。

サモンは、Model X を「D」位置または「R」位置にシフトチェンジして（指定した進行方向による）、駐車スペースに移動します。

注：サモンは、携帯電話がスリープ モードまたは電源が切られるとキャンセルされます。

サモンの停止またはキャンセル

サモンが実行されている間、キーのいずれかのボタンを押すかまたはモバイルアプリを使って、いつでも Model X を停止することができます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ステアリングハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックなどを操作します
- Model X 物体を検出し、約 2 秒未満しか前進できない場合。
- サモンが、Model X を最大移動距離約 12 メートル動かししました。

制限事項

サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。サモンは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- サモンが、駐車位置に向かって前進している時に突起したコンクリートの端部を検出ししました。サモンは、角が約 2.5 cm 以上あると前進しません。
- 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X がトレーラーモードまたはアクセサリが取り付けられています。

注：Model X がパーレーモードにある場合、サモンは無効になります（パーレーモード - 44 ページを参照）。

⚠ 警告：前記のリストはオートパーキングのサモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model X を常にコントロールできる状態であることは、ドライバーの責任です。サモンが Model X を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。



これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。



、監視カメラが走行している車線のマーカーを監視し、超音波センサーが車両周囲やブラインドスポット、隣の車線にいる車両または障害物の存在を監視します。

物体がブラインドスポットで検知された、または Model X の側面側に物体が近接している場合（車両やガードレールなど）、インストールメントパネル上の Model X の画像に放射状に色の付いたラインが表示されます。検出された物体の位置に対してラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、Model X に対する物体の近さを表します。白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。この色の付いたラインは、約時速 12 km ~ 140 km で走行している時のみ表示されます。また、オートステアリングが有効にされているとき、走行速度が時速 12 km 以下にあると色の付いたラインが表示されます。しかし、Model X が停止状態（渋滞時など）になると色の付いたラインは表示されません。



レーンアシストは、方向指示器を出さずにフロントホイールが車線を超えて不用意に車線から逸脱するとハンドルをわずかに振動させてドライバーに警告を出します。この警告は、約時速 59 km から 150 km 以上で運転しているときに有効になります。この警告をオン、オフするには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「車線逸脱警告」の順にタッチします。選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールにも保存されます。

前述の警告に加えて、Model X が車両などの物体が検出されている隣の車線に進入（あるいは接近）しようとしたらすると、レーンアシストが介入してステアリングを操作することがあります。つまり、このような状況のとき、Model X は自動的にステアリングを制御して、現在の走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングによる運転の介入は、車線マーカーがよく見える主要道路を Model X が時速 48 km ~ 140 km で移動しているときのみ作動します。レーンアシストがステアリング操作をして運転に介入する時、インストールメントパネルで警告メッセージが短時間表示されます。

警告：ステアリング介入は最小限しか行われず、Model X を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

警告：レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。走行車線から逸脱していないか、車両や物体がブラインドスポットにあるかどうか、あるいは自車両横に近接していないかの確認のために、レーンアシストのみに頼らず、必ずドライバー自身が確認してください。レーンアシストの性能を低下させる外部要因がいくつかあります。常に注意を怠らず、走行車線に注意を払い、他の車両に注意することはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告：レーンアシストは、車線を検知するように設計されているため、縁石のない道路の辺縁を検知しない場合があります。注意深く運転し、車線内に留まることはドライバーの責任です。

警告：車線を変更する場合は、必ず事前にサイドミラーを見たり、肩越しに後ろを振り返ったりして、自分の目で移動先車線を確認してください。レーンアシスト警告はいくつかの要因によって影響を受け、警告が出なかったり、誤ったものになったりする可能性もあります（**制限事項および不正確性** - 102 ページを参照）。

制限事項および不正確性

レーンアシストは、車線区分線を確実に検出できるとは限りません。以下のような場合に、不要あるいは無効な警報が出されることがあります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。超音波センサーの厳密な検出ゾーン幅は環境条件によって変わります。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model X の前の車両がカメラの視野を妨げている。



- ・ フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- ・ 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- ・ 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- ・ 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります：

- ・ 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- ・ 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- ・ センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- ・ Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model X を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- ・ Model X が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- ・ 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- ・ 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- ・ 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- ・ Model X が、時速 48 km または時速 145 km 超で走行している。
- ・ 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- ・ 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- ・ センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- ・ Model X に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- ・ 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- ・ 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

 **警告：**上記は、レーンアシスト警告の正しい動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅し

たものではありません。レーンアシストが正しい警告を出すことができなくなる理由は他にも数多くあります。Model X の運転中は、衝突を回避するために警戒を怠らず、常に道路の状況に注意を払い、できるだけ速やかに回避行動を行えるようにしてください。



次の衝突回避機能が乗員の安全性を高めるように設計されています。

- **正面衝突警告システム**は、Model X が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、映像および音声による警告を発します (**正面衝突警告** - 104 ページを参照)。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます (**自動緊急ブレーキ** - 105 ページを参照)。
- **ペダル踏み間違い時加速抑制装置** - この装置は、ドライバーが誤ってアクセルペダルを踏んだと判断し、Model X の走行進路の直近前方に物体を検出した場合、衝突の衝撃を緩和するように働きます (**ペダル踏み間違い時加速抑制装置** - 105 ページを参照)。

警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するおそれられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: ペダル踏み間違い時加速抑制装置は、衝突を防止するように設計されたものではありません。衝突時の衝撃を最小限に抑えるように働きます。衝突回避をペダル踏み間違い時加速抑制装置に任せきりにすると、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

前方監視カメラとレーダー センサーによって、車両、自転車、歩行者がいなくても、Model X 正面の領域がモニターされます。ドライバーがとっさの正行動をとらず衝突しそうな場合、正面衝突警告がチャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルには前の車が赤く警告表示されます。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください！



警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します (例えば Model X を減速または停止した場合や、前方の車両が Model S の進路から外れた場合など)。

Model X が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキがかかる場合 (有効になっている場合) があります (**自動緊急ブレーキ** - 105 ページを参照)。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。正面衝突警告をオフにする、またはその感度を調節するには、「コントロール」>「設定」>「ドライブングアシスト」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注: 正面衝突警告用に選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールでも保存されます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサーは、走行ルート上およそ 160 メートルの範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model X を減速させるものではありません。警告を見たり聞いたりしたときに、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model X の前方に注意を払い、何かアクションが必要ではないか予測してください。

警告: 前面衝突警告は、時速 10 ~ 150 km で走行しているときにみに作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。

自動緊急ブレーキ

前方監視カメラとレーダーセンサーは、Model X の前方で移動している物体（車両、オートバイ、自転車または歩行者）からの距離を測定するように設計されています。自動緊急ブレーキは正面衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、衝突の衝撃を和らげるように設計されています。

自動緊急ブレーキがかかると、インストゥルメントパネルに警告が表示され、警告音も鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。

緊急ブレーキ操作が進行中です

時速 (46 km) またはそれ以上で走行している場合、自動緊急ブレーキが走行速度を時速 (40 km) まで減速させた後にブレーキが解除されます。例えば、自動緊急ブレーキは、時速 90 km で走行している時に作動し、走行速度が時速 50 km 以下まで減速すると解除されます。

自動緊急ブレーキは、時速 10 km と時速 150 km の間で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況でブレーキをかけた後、その反対にブレーキをかけることを防ぎます：

- ドライバーが急ハンドルを切った場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキ機能によってブレーキがかかっている間に急加速した（アクセルペダル踏み込み圧力が 90% 以下から 90% 以上に増加した）した場合。
- 車両、オートバイ、自転車、または歩行者がもはや前方に検出されなくなった場合。

Model X を始動すると自動緊急ブレーキは常に有効になります。現在の運転でこれを無効にするには（ペダル踏み間違い時加速抑制装置を無効にする）ことに加えて、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「自動緊急ブレーキ」>「無効」の順にタッチします。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキを無効にすると、「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」も無効になります。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model X は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは、いくつかの要因によって、かからなかったり、不十分になった

り、タイミングがずれたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されており、Model X が後進中は機能しません。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

⚠ 警告：自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。Tesla 標準の運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

注：自動緊急ブレーキの作動を事前に通知するため、正面衝突警告がオンになります（**正面衝突警告** - 104 ページを参照）。オンになっていると、衝突が起こりそうだと判断されたときにチャイムが鳴り、インストゥルメントパネルの中央に衝突警告が表示されます。そこで、ただちに是正措置をとらなければ、衝突切迫と見なされ、自動緊急ブレーキがかかり、走行速度が落ちます。自動緊急ブレーキが有効になっていると、たとえ正面衝突警告がオフになっていても、衝突不可避と見なされれば、常にブレーキがかけられます。

ペダル踏み間違い時加速抑制装置

ペダル踏み間違い時加速抑制装置は、ドライバーが誤ってアクセルペダルを踏んだと判断し、Model X の走行経路の直近前方に物体を検出した場合、モータートルクを減少させ、ブレーキをかけて衝突時の衝撃を緩和するよう設計されています。例えば、Model X がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。それでも、Model X は加速してガレージドアに衝突してしまいがちですが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

トルクが下げられると、インストゥルメントパネルに以下が表示されます：

 障害物が検出されました - 電力を下げます
アクセルペダルを放してリセットしてください

この機能を無効にして通常のモータートルクを復帰させるには（自動ブレーキを解除）、アクセルペダルをいったん離してもう一度踏んでください。

ペダル踏み間違い時加速抑制装置は、以下の条件がすべて満たされると作動します：



- ドライブ ギアにシフトされている (D または R)。
- Model X 走行速度が、時速 16 km (10 mi) 以下。
- Model X 進路方向にある直近の物体を検出する。
- アクセルペダルの踏み込み圧力が 50% を超える。

自動緊急ブレーキが有効の時はペダル踏み間違い時加速抑制装置も有効になります (自動緊急ブレーキ - 105 ページ を参照)。

警告：ペダル踏み間違い時加速抑制装置は衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。

警告：ペダル踏み間違い時加速抑制装置は、場合によりトルクを制限できないことがあります。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、ペダル踏み間違い時加速抑制装置は動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。

警告：ペダル踏み間違い時加速抑制装置を利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、ペダル踏み間違い時加速抑制装置を試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。

警告：いくつかの要因がペダル踏み間違い時加速抑制装置の性能に影響して、モーター トルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、あるいは意図しないブレーキ効果が生じたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と Model X のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- レーダー センサーが遮られている (汚れ、カバーなど)。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。

警告：前述の制限事項は衝突回避補助機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を

回避するために常に Model X の周囲に注意を払い、必要に応じて素早く是正措置が取れるようにする必要があります。



注意：衝突回避補助機能が故障した場合は、Model X に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

スピードアシストの動作原理

制限速度警告がオンになっていると、インストゥルメントパネルにGPSデータをもとにした速度制限標識が表示されます。この制限速度を超えると、警告（後述）が表示されます。



スピードアシストが制限速度を判別できない場合（たとえば、速度標識やGPSデータがその位置で利用できない場合）や取得した制限速度が正しいかどうかかわからない場合（たとえば、最初に速度標識が認識されてからしばらくの間次の標識が認識されない場合）、インストゥルメントパネルに速度制限は表示されず、警告も発生されません。

速度制限警告を**表示する**（スピードアシストの制御 - 107 ページを参照）に設定し、その速度制限を超過すると、インストゥルメントパネルに表示された速度制限標識が徐々に大きくなっていきます。

速度制限警告を**チャイム**（スピードアシストの制御 - 107 ページを参照）に設定し、その速度制限を超過すると、インストゥルメントパネルに表示された速度標識が徐々に大きくなり、Model X は警告音を発します。

注：速度制限警告は 10 秒後または Model X が速度制限未満に減速すると解除されます。

⚠ 警告：適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告設定を調整するには、「コントロール」>「設定」>「ドライビングアシスト」>「速度制限警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択してください。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 視覚的な表示に加えて、速度制限を超えた時はチャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限は、検出された交通標識とGPSデータに基づいて決められます。必要に応じて速度制限を指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値（+ または -）を設定できます。たとえば、速度制限を時速 10 km 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km 上げます。

注：速度制限からのオフセット値は、インストゥルメントパネルの速度表示の左側にある灰色の速度メーターアイコン内に表示される数値にも反映されます。

- **絶対** - 時速 30 km から 240 km の間で速度制限を手動で指定します。

注：GPS データは必ずしも正確ではありません。GPS は道路の位置判断を誤って、隣接した道路の速度制限の異なる速度制限を提示することがあります。たとえば、Model X が高速道路または有料道路にいてもGPSが推測しても、実際には近くの一般道路を走っていることも、またその逆もあり得ます。

注：選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバープロフィールにも保存されます。

制限および不正確な記述

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- GPS データベースに保存されている速度制限は不正確で古い情報です。
- Model X GPS データを使えない地域を走行している。
- 道路や速度制限が最近変わった。

⚠ 警告：前記のリストは自動運転コンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。



大画面

ここでは、タッチスクリーンの各部について説明します。明るさとコントラストを手動で調節するには、「コントロール」>「スクリーン」の順にタッチします。「自動」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの「昼」(明るいバックグラウンド)と「夜」(暗いバックグラウンド)が自動的に切り替わります。

注：以下の図は説明のみを目的としています。タッチスクリーンは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。





1. ステータスバー

一番上の行には、Model X のロック/アンロック、HomeLink（装備されている場合）とドライバーのプロフィールへのアクセス、車両情報 (Tesla の「T」) の表示、ソフトウェア アップデートのダウンロード、電波強度および Bluetooth® 状態 Wi-Fi 設定の表示、助手席エアバッグ設定のショートカットがあります。警告アイコン (! マーク) が表示された場合、それにタッチして現在有効な警告メッセージを確認してください。

注：エアバッグのステータス記号は、Model X の電源が入っているときだけ表示されます。

注：インストールメントパネルに時刻と外気温を表示することもできます。ハンドルのスクロール ホイールを操作して、**時計**を選択してください ([ハンドル](#) - 45 ページを参照してください)。

注：ロック アイコンをタッチして全てのドアをロック/アンロックします。運転席のドアのロックのみが解除されている場合 (例えば「**ドア アンロックモード**」が**運転席**に設定されている)、ロック アイコンはアンロックされている状態で表示され、それをタッチするとすべてのドアをロックします。「**ドア アンロックモード**」の詳細は、[ドア](#) - 4 ページを参照してください。

2. アプリ

アプリをタッチしてそれを表示エリアに表示させます。アプリには既定の位置があります。ナビゲーションとカメラは表示エリア最上部に現れ、その他のアプリは表示エリアの下部に現れます。アプリを既定の表示エリアに表示させる代わりに、アプリのアイコンをタッチして表示エリアのお好きな場所にドラッグすることで表示位置を変えられます。



メディア： [メディアとオーディオ](#) - 128 ページを参照してください。



マップとナビゲーション（装備されている場合）。 [地図とナビゲーション](#) - 134 ページを参照してください。

注：ドライブギアが入っている時に地図を表示エリア上部（または全体）に表示している場合、上部のステータスバーとアプリバーは数秒で非表示となり、地図が最大化されます。それらを再表示するには、地図をタッチします。



カレンダー： [カレンダー](#) - 137 ページを参照してください。



エネルギー： [航続距離を最大限に伸ばす](#) - 72 ページを参照してください。



ウェブ：ウェブブラウザを使ってインターネットにアクセスします（装備されている場合）。



カメラ：Model X の後ろ側のエリアを映し出します。リバースにシフトしたときは必ずこのエリアが映し出されます。 [リアビューカメラ](#) - 74 ページを参照してください。



電話： [電話](#) - 132 ページを参照してください。

3. 主表示エリア

選んだアプリによって、主表示エリアの内容が変わります。アプリ（ナビゲーションやウェブなど）によっては、タッチスクリーンの一般的な指操作によって拡大、縮小ができます。

4. アプリの最大化/最小化

小さい四角型にタッチすると、対応するアプリが主表示エリアいっぱいに表示されます（拡大できないアプリもあります）。もう一度タッチすると、ふたつのアプリが画面の半分ずつに表示されます。

5. 音量調節

上向き矢印と下向き矢印にタッチしてスピーカーの音量を上げたり下げたりします。ハンドルの左側にあるスクロールホイールを使って音量を調節することもできます。



6. 温度調整 ([温度調整](#) - 120 ページを参照)。
7. コントロール

タッチして、Model X のすべての制御や設定 (ドア、ロック、ライトなど) にアクセスします。

8. 現在表示されている 2 つのアプリの位置を入れ替えます。



警告：運転者は、常に道路と交通状態に注意を払うことを最優先してください。車両乗員および道路歩行者の安全を確保するため、道路と交通状態が許す限りにおいてタッチスクリーンを操作してください。

機能のコントロール

タッチスクリーンの下隅にある「コントロール」にタッチして、Model X のすべての主要機能のコントロールとカスタマイズを行います。

注：以下の図は説明のみを目的としています。コントロール画面で利用可能な機能は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。





1. 閉じる

ウィンドウを閉じるには、ウィンドウ左上の丸囲みのXにタッチします（または、ウィンドウの外側の任意の場所をタッチします）。

2. ドア

タッチしてドアを開閉します。

3. シート

Model X が、モノポストの2列目シートを装備している場合は、2列目シートにタッチして前後に移動します（**2列目シートのモノポスト調整** - 21 ページを参照）。

4. サスペンション

Model X にスマート エア サスペンションが装備されている場合、タッチして Model X を手動で上下させるか、保存されている車高オート上昇位置を削除することができます（**スマートエアサスペンション** - 126 ページを参照）。Model X サスペンションの設定を変更するには、電源がオンになっている状態でブレーキペダルを踏む必要があります。スマートエアサスペンションは、電源がオンになっていない場合も、Model X を水平に保ちます（セルフレベルング）。そのため、牽引やジャッキアップの際にはセルフレベルングを無効にする必要があります（**車両輸送者向け注意事項** - 179 ページおよび **ジャッキアップと引き上げ** - 162 ページを参照）。

5. 運転

• ステアリングモード

ハンドルを回すのに必要な力を調節します。「スポーツ」に設定するとより素早い反応が得られ、「コンフォート」に設定すると運転や駐車の手操作がより容易になります（**ハンドル** - 45 ページを参照）。

• 加速（パフォーマンスデュアルモーター車両のみ）

加速レベルを選択します。「スポーツ」は通常レベルの加速設定です。ドライビングレンジを最大化することができます。インセインを選択するとピークトルクが約 30% 増加し、LUDICROUS を選択すると約 60% 増加します。

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。しかし、絶対的な最大出力（短時間で使用するように設計されています）を得るには、加速設定のすぐ下で青い文字で表示されている「**バッテリー出力最大化**」をタッチします。バッテリー出力最大化は、バッテリーを加熱して 100% 利用できる電力を引き出せるよう最適な動作温度にします。周囲の環境や Model X が運転されているかどうかによっても異なりますが、バッテリーの加熱には 1 時間強かかります。この間、待ち時間を知らせるメッセージが表示されます。追加電力が利用できるようになると、バッテリー出力最大化の準備が完了したメッセージが表示されます！バッテリー出力最大化を使用している時、Model X はバッテリーを最適な温度範囲に保つため電力を多く消費します。バッテリー出力最大化をキャンセルするには、加速設定を「スポーツ」に変更してください（またはバッテリー出力最大化モードのポップアップにあるボタンをタッチしてください）。過度に、または不必要に電力を消費することを防ぐために（例えば、バッテリー出力最大化をキャンセルせずに車を離れる）、バッテリー出力最大化は、運転中であっても、車を離れていたとしても 3 時間で自動的にキャンセルされます。

注：バッテリー出力最大化を保つには、充電レベルが 20% 以上でなければなりません。充電レベルが 20% 以下だと、バッテリー出力最大化を開始することはできません。これに加え、充電レベルが 20% 以下になるとすぐにバッテリー出力最大化はキャンセルされます。

注：バッテリー出力最大化は、パックを最適な温度範囲に保ちます。バッテリーのヒーティングに加え、バッテリー出力最大化は必要に応じてバッテリーを冷却します（例えば、アグレッシブなドライビングの間など）。

注：バッテリー出力最大化は、加速性能を短時間の間最大限発揮するよう設計されているので、日常的な利用には適していません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセインまたは Ludicrous 加速設定は、バッテリー出力最大化を使用しなくても大幅に性能を増加します。事実、通常の運転をする限りバッテリー出力最大化で得られる追加パワーを感じることはあまりないかも知れません。

• クリープ

オンにすると、ブレーキを離れたときに、Model X がドライブ状態であればゆっくり前進し、リバース状態であればゆっくり後退します（従来の自動車のオートマチック トランスミッションに相当します）。この設定は、Model X がパーキング状態のときだけ変更できます。

- **トラクションコントロール**

故意にホイールをスピンさせたい場合は、スリップ スタートを有効にすることができます。警告メッセージがインストゥルメントパネルに表示されます。スリップ スタートは、走行速度が時速 80 km を超えると（または Model X を起動すると）自動的に無効となりますが、スリップ スタートを使用する必要がない場合はすぐに無効にすることが推奨されます。[トラクション コントロール](#) - 65 ページを参照してください。

- **回生ブレーキ**

運転中にアクセルを離すと、回生ブレーキにより Model X のスピードが落ち、余剰エネルギーがバッテリーに戻されます。「低」に設定すると、Model X のスピードが急激に落ちることはありませんが、航続距離が低下することがあります（[回生ブレーキ](#) - 63 ページを参照）。

注：設定に関わらず、バッテリーがフル充電されている場合や気温が極端に高いまたは低い場合は、回生ブレーキによって得られるエネルギー量は少なくなります（余剰エネルギーは、バッテリーを温めたり冷やしたりするために使われます）。

- **レンジモード**

オンにすると、Model X は空調システムの電力を制限することによってエネルギーを節約し、シグネチャー ライティングをオフにします。車内の冷暖房はあまり効果的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。デュアルモーター車の場合、オンにすると航続距離を最大化するよう、トルク配分が最適化されます。

6. 寒冷地設定

Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、全座席のヒーターとヒートッドワイパーおよびヒートッド ステアリングホイールを調節できます。オンになっているヒーターは赤色で表示されます。すべてのヒーターをオフにするには、「**すべて OFF**」にタッチします。さらに、タッチスクリーンの下にある主温度調整パネルを使って運転席と助手席のシートヒーターを調節できます（[温度調整](#) - 120 ページを参照）。

7. 走行データ

トリップ メーターでこれまでの走行データを確認し、メーターをリセットします（[走行情報](#) - 71 ページを参照）。

8. タッチスクリーン

「**昼**」（明るいバックグラウンド）または「**夜**」（暗いバックグラウンド）設定をマニュアルで調整します。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。「**自動調整**」がチェックされている場合、画面は周囲の状況とお客様のお好みに応じて自動的に調整します（お客様が行うマニュアル調整を記憶します）。

クリーニングのために一時的にタッチスクリーンを無効にするには、「**クリーニングモード**」を選択します。

また、Model X を省エネモードにしておくと、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります（[航続距離を最大限に伸ばす](#) - 72 ページを参照）。

注：「スクリーン」設定は「設定」画面からアクセスすることもできます。

9. E ブレーキと電源オフ

手動で以下の操作ができます。

- サイドブレーキをかける/解除する（[パーキング ブレーキ](#) - 64 ページを参照）。
- 電源を切る（[停止](#) - 49 ページを参照）。

10. ライト（[ライト](#) - 57 ページを参照）

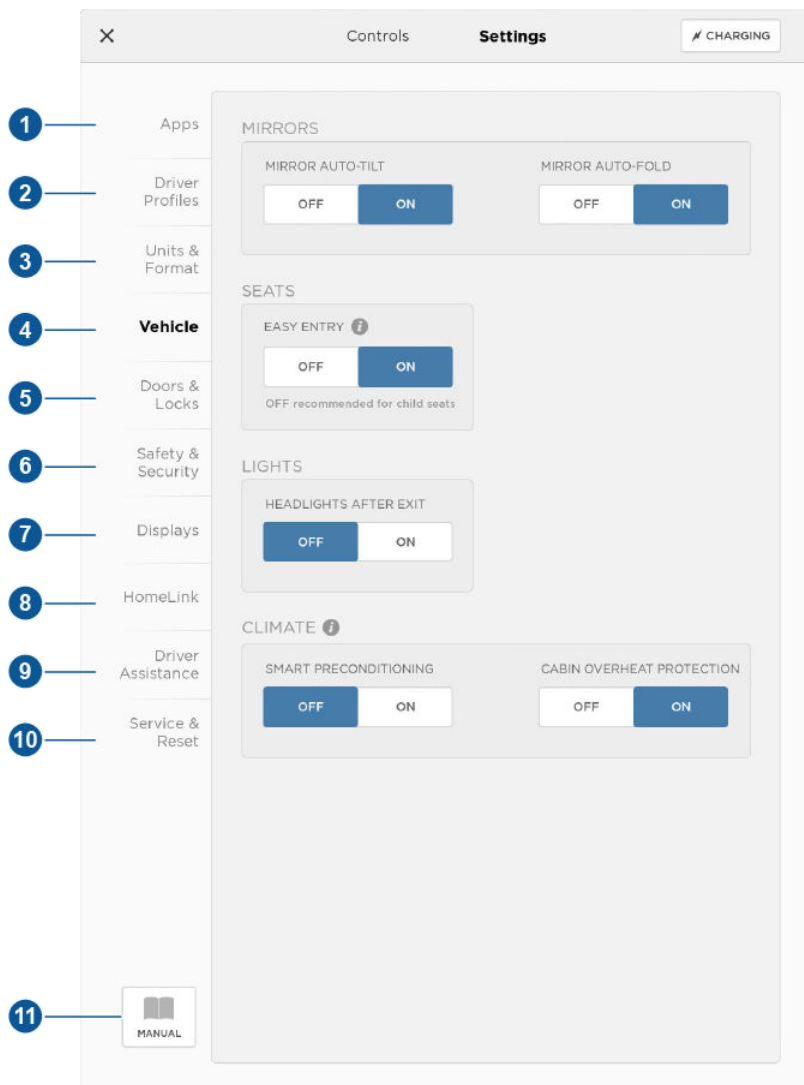
 **警告：**運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。運転中に必要な情報はすべてインストゥルメントパネルに表示されます。



車両のカスタマイズ

「コントロール」ウィンドウの「設定」タブにタッチして、Model X をお好みに合わせて調整します。

注：以下の図は説明のみを目的としています。「設定」画面で利用できるオプションは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域によって異なることがあります。例えば、多くの地域では [言語と単位] タブは [単位と形式] と呼ばれます。



1. インストールされているアプリ (アプリケーション) に関連のある設定を調整します。ご利用の Model X では利用できない、または設定できる内容がないアプリは淡色表示されます。
2. ドライバープロフィールを管理します ([ドライバー プロフィール](#) - 43 ページを参照)。
3. 言語と単位

Model X の表示方法を調整します。

- 言語: Model X が警告、通知、メッセージおよびナビゲーションの指示 (装備されている場合) を表示する際の言語を設定します。

メモ: Model X 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更すると、車両がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- 距離: 航続距離表示、速度計、エネルギー チャート、トリップメーター、Google マップのルート検索およびナビゲーションの表示単位をマイルと km の間で切り替えることができます。
- 時間形式: 12 または 24 時間。
- 温度: ° C または ° F。
- エネルギーと設定電力残量および充電ユニットをパーセント、または走行可能な予測距離で表示します。「距離」を選択した場合、以下のいずれかに基づく距離が表示できます。
 - 定格値 - ECE R101 テストに基づく表示。
 - 標準値 - US EPA テストに基づく表示。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

- タイヤ空気圧: BAR または PSI。

4. 車両

注: 製造日と購入時に選択したオプションによっては、以下の一覧に示す全ての機能が搭載されていない車両があります。

- イージーエントリー (2 列目モノポストシートのみ): オンになっていると、イージーエントリー ボタンを一回押すだけで、ドア側にあるシートと中央のシートが動き 3 列目シート (装備されている場合) へ乗り降りするためのスペースを大きくします。オフになっている場合は、イージーエントリー ボタンを押してドア側のシートと中央のシートを動かします。 [3 列目シートへのアクセス](#) - 23 ページを参照してください。
- 降車後のヘッドライト: あたりが暗くなった時にこの機能がオンの場合、運転者が降車してから 1 分間または車両をロックするまで、ヘッドライトが点灯し続けます ([降車後のヘッドライト](#) - 60 ページを参照)。
- アダプティブ ヘッドライト (装備されている場合): オンになっている場合、アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、運転時の視認性をよくするためにヘッドライトのビームを自動調整します ([アダプティブ フロント ライティング システム \(AFS\)](#) - 60 ページを参照)。
- ミラー角度自動調節: オンにすると、バックするときに外部ミラーが下に傾きます ([ミラー](#) - 48 ページを参照)。
- ミラー自動格納: オンになっている場合、キー、モバイル アプリ、または降車後オートロック機能を使用して Model X をロックする際に、ドアミラーが折りたたまれます。車両に戻るとミラーは自動で開きます。センター ミラー コントロール ボタンをタッチして、ミラーを自動的に折りたたむこともできます ([ミラー](#) - 48 ページを参照)。
- スマートエアコンディショニング: オンの場合、Model X は過去の運転スケジュールや最後に設定された温度に基づいて運転スケジュールを予測、キャビンの温度を調整し、Model X を快適に運転できるよう準備します。お客様の車両が運転の習慣を学習するには、しばらく時間がかかる場合があります。また、定期的な運転スケジュールがない場合、パターンを認識できません。スマートプレコンディショニングは、寒冷時にバッテリーも暖めます。

注: Model X の電力が低下し、消費エネルギーを節約している状態ではスマートエアコンディショニングが機能しない場合があります。

注: スマートエアコンディショニングは自宅や職場の住所を登録している場合のみ利用可能です ([お気に入り、自宅、勤務先](#) - 136 ページを参照)。



- キャビン過熱保護: オンになっていると、空調システムは周囲の温度が著しく暑い時にキャビン内の温度を、Model X から降車してから最長 12 時間に渡って下げます ([キャビン過熱保護](#) - 125 ページを参照)。

⚠ 警告: 子供またはペットを車の中に放置しないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく暑い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

注: キャビン過熱保護は、バッテリー残量が 20% 以下のときは働きません。

- 自動ワイパー (ベータ版): オンの時、Model X がフロントガラスに雨滴を検知するとワイパーが自動的に作動します。ワイパーを自動設定に設定する必要があります ([ワイパーとウォッシャー](#) - 62 ページを参照)。

5. ドアとロック

注: 製造日と購入時に選択したオプションによっては、以下の一覧に示す全ての機能が搭載されていない車両があります。

- ドア アンロックモード: キーを携帯して Model X に近づいた際に、**全て**のドアのロックを解除するか、もしくは**運転席**のドアのみ解除するかを選択できます。
- チャイルドロック: オンにすると、セーフティ ロックが作動し、車両の車内からリア ドアとリフトゲートを開けられなくなります。
- 降車後オートロック機能: オンになっている場合、キーを持って車両から離れるとドアが自動的にロックされます ([降車後オートロック](#) - 10 ページを参照)。
- 自動ドア: 自動ドアが **ON** に設定されていると、Model X に近づくだけで、ドア (「ドア アンロックモード」が「**すべて**」に設定されている場合は複数のドア) がアンロックされ、運転席側のドアが開きます。オフの場合は、ドアがアンロックされますが、運転席側のドアは開きません。また、オンになっていれば、運転席側を開けた後にキーのロック/アンロック ボタンをダブルクリックすると助手席側ドアが開きます ([Model X のドアを車外から開閉する](#) - 7 ページを参照)。
- P でロック解除: オンになっていると、パーキングギアに入れた時にドアが自動的にアンロックされます。
- ファルコンドア高さ: **自動**に設定されている場合、ファルコン ウィング ドアは全開します (高さ登録してある場所以外で障害物が検出されていない場合)。**低**に設定されている場合、ファルコン ウィング ドアは部分的に開き、悪天候から乗車している人を守ります。
- キー フォブで全て閉じる: オンになっていれば、キーのロック/アンロックボタンをシングルクリックするとすべてのドア (リア トランクも含む) が閉じてロックされます (**OFF** の場合は、このボタンをトリプルクリックします)。
- パッシブ エントリー: オンにすると、キーを持って Model X に近づくと、オフの場合は、キーを使用して Model X のロックを解除する必要があります ([キーを使用する](#) - 4 ページを参照してください)。

注: Model X の電源を入れるにはパッシブ エントリー設定を変更する前にブレーキペダルを踏み必要があります。 [充電開始中](#) - 49 ページを参照してください。

注: パッシブエントリーがオフで、約 5 分以内にブレーキペダルを踏んで Model X を開始しない場合、再び車両を始動する前に、インストゥルメントパネルにメッセージが表示され、キーを使用して Model X を一度ロックし、再びロックを解除する必要があります。

6. 安全とセキュリティ

さまざまな安全性とセキュリティ、プライバシー保護機能をオンまたはオフにします。

- 助手席フロントエアバッグ ([助手席ヘッドエアバッグを OFF にする](#) - 41 ページを参照)。
- パーキングアシスト チャイムなど、Model X が装備しているアクティブセーフティ装置 ([パーキングアシスト](#) - 66 ページを参照)。
- セキュリティアラームなど、Model X が装備しているセキュリティ機能 ([セキュリティ設定](#) - 138 ページを参照)。
- Tesla のモバイル アプリでアクセスできるプライバシー保護機能 ([モバイルアプリ](#) - 141 ページを参照) および道路測定データ共有の有効化 ([データ共有](#) - 183 ページを参照)

7. タッチスクリーン

「**昼**」(明るいバックグラウンド)または「**夜**」(暗いバックグラウンド)設定を手動で調整します。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。「**自動調整**」がチェックされている場合、画面は周囲の状況とお客様のお好みに応じて自動的に調整します(お客様が行う手動調整を記憶します)。

クリーニングのために一時的にタッチスクリーンを無効にするには、「**クリーニングモード**」を選択します。

また、Model X を省エネモードにしておくと、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります([航続距離を最大限に伸ばす](#) - 72 ページを参照)。

注: 「スクリーン」設定は「コントロール」ウィンドウからアクセスすることもできます。

8. HomeLink (装備されている場合)

HomeLink 機能が装備されている場合、RF 機能付きの駐車場のドア、ライトおよびセキュリティ システムに使用することができます。

9. ドライビング[#10]アシスト

ドライビングアシスト機能が搭載されている Model X の場合、運転を安全でより便利にする機能を利用することができます([ドライビングアシストについて](#) - 84 ページを参照)。

10. サービスとリセット

サービスに係るさまざまな機能をオンまたはオフにします。

- サービスモード: オンにすると、ワイパー ブレードを交換するときにアクセスしやすいように、ワイパー ブレードがサービス ポジションへ移動します。Model X をパーキングに入れます([ワイパーとウォッシャー](#) - 62 ページを参照)。
- 牽引モード: Model X をニュートラルに保つため、牽引モードを起動します([車両をニュートラルのままにする \(牽引モード\)](#) - 50 ページを参照)。
- 工場出荷時リセット: 「**消去とリセット**」にタッチすると、すべての個人情報(住所、曲、お気に入りなど)が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

11. マニュアル

オーナーズマニュアルを表示します。

注: Model X のアップグレードが利用可能な場合(例えば、自動運転を含む場合、または走行距離を増やす場合)、**アップグレード**タブも設定ウィンドウに表示されます。購入したいアップグレードを選択して、画面の指示に従います。

 **警告:** 運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。

車両に名前を付ける

Model X をさらにカスタマイズするため、それに名前を付けることができます。Model X に付けた名前はモバイルアプリに表示されます。お客様の車両に名前を付けるには、タッチスクリーンの最上部中央の「**Tesla**」にタッチしてから、「**車の名前を入力**」にタッチします。

保存すると「**車の名前を入力**」が入力された車の名前になります。名前にタッチすることで、いつでも車両の名前を変更することができます。

個人情報の消去

すべての個人情報(保存した住所、お気に入りの音楽、インポートされた連絡先、など)が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。これは Model X の所有権を移す際に便利な機能です。「**コントロール**」>「**設定**」>「**サービスとリセット**」>「**工場出荷時リセット**」>「**消去とリセット**」の順にタッチします。消去を実行する前に、Model X がドライバーの認証情報を確認するため Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

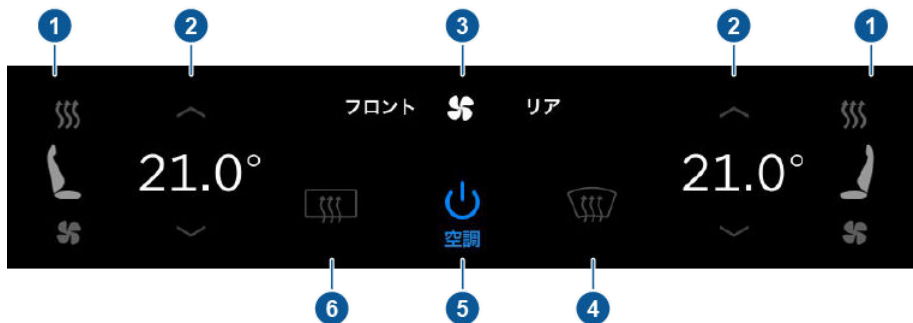


温度調節の概要

温度調整は、タッチスクリーンの最下部からいつでもアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。温度を調整すると、システムが暖房、空調、空気供給、空気循環、ファンの速度を自動的に調整して設定温度を維持します。これらの設定を変更するには、「オート」にタッチします（[空調のカスタマイズ](#) - 121 ページ 参照）。

ファン、暖房、空調はバッテリーを電源としています。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

注：以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、設定により異なる場合があります。



1. フロントシートは暖房/冷却パッドが装備されています。作動時、暖房の場合は最上部のインジケータが赤色に、冷却の場合は最下部のインジケータが青色に変わります。

注：Model X に寒冷地オプションが搭載されている場合、**「コントロール」** > **「寒冷地設定」**の順にタッチすることで、後部座席のシートヒーター、ヒートッドワイパー、ヒートッドハンドルを操作できます（[コントロール](#) - 113 ページを参照）。

2. 上矢印または下矢印にタッチしてキャビンの温度を設定してください。運転席側と助手席側に同じ温度設定を適用するには、矢印にタッチすると表示される温度表示ポップアップ画面の**「連動モード」**にタッチします。
3. ファンアイコンをタッチして、フロントおよびリア キャビンの空調設定をカスタマイズしたり自動化します。（[空調のカスタマイズ](#) - 121 ページを参照）

注：リア空調が利用できるのは、Model X が 6 シートまたは 7 シートを装備している場合のみです。

4. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。一度タッチするとオンになり、もう一度タッチするとヒーターとファンが最大レベルで動作します。3 度目にタッチするとオフになり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
5. 空調システムを ON/OFF にします。

注：駐車中に設定温度を維持しようとして空調を設定すると、「エアコンをオンのままにする」というラベルがこのボタンに表示されます（[空調のカスタマイズ](#) - 121 ページを参照）。

6. リア ウィンドウのデフロスターは 15 分間リア ウィンドウを温めた後、自動的に停止します。外部サイドミラーも温められます。

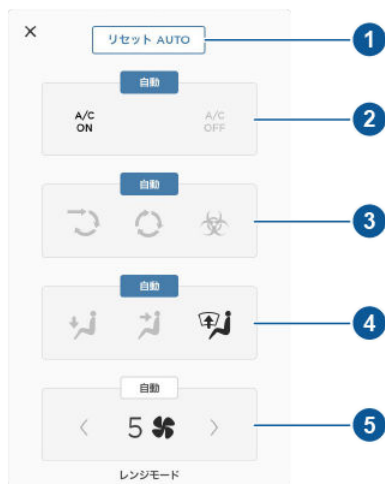
警告：長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調のカスタマイズ

空調システムは、ほとんどの状況で自動的に最高の快適さを保つように設計されています。お好みの温度を設定するだけで、空調、空気再循環、空気供給、ファンの速度が調整され、設定温度が自動的に維持されます。車から離れている間でも、空調制御システムをオンにしておけば、選択した温度を維持することもできます。

自動設定を変更するには、「フロント」または「リア」をタッチしてフロントまたはリアの座席エリアを個別に設定します。次に、変更したい設定にタッチします。パネルの設定すべてをデフォルト設定に戻すには、「リセット」をタッチします。個々の設定を初期設定に戻すには「オートモード」をタッチします。

注：リア空調が利用できるのは、Model X が 6 シートまたは 7 シートを装備している場合のみです。



上に示す（下記で説明）5 つの設定に加え、Model X をパーキングに入れると、「クライメートタイマー」が上側ポップアップの下に表示されます（**エアコンを ON のままにする** - 124 ページを参照）。

1. カスタム設定パネルに現在表示されている設定すべてを初期設定に戻すには、「リセット」をタッチします。
2. 空調を ON/OFF するには、「A/C ON」または「A/C OFF」にタッチします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

Model X はガソリン車より走行音が格段に静かなため、コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。



3. Model X に空気を取り込む方法を選択します。

外気が Model X の車内に取り込まれます (換気 - 125 ページを参照)。



Model X の車内で空気が再循環します。この設定では、外気 (排気ガスなど) が車内に入り込むことを防止できますが、除湿効果は低下します。空気を再循環させることが最も効率よく車内前方を冷やす方法です。状況の変化によってフロント ガラスが曇るのを防止するために、1 時間ごとに短時間設定を変えて外気を車内に取り込んでください。



Model X にオプションで HEPA (高性能微粒子) フィルターが装備されている場合は、車内の空気を最良の状態に保つことができます。その場合、取り込まれた外気は医療用グレードの HEPA フィルターと、付随する補助フィルターシステムの両方を通過します。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウィルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のにおいやガスを除去します。この HEPA オプションを有効にすると、ファンは最大回転数で作動します。これに加え、車内が正圧となるため、外気が車内に入ってくることを最小限に抑えます。

注：一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することできません。

4. 車内に流れ込む空気の通気口を選択します。複数の場所を選択できます。

足元の通気口



顔の高さの通気口



フロント ガラスの通気口



注：空気が足元の通気口から出るように設定すると、約 1/3 の空気がフロント ガラスの通気口から流れ続け曇りを除去します。しかし、空気が顔の高さの通気口から出るように設定すると、フロント ガラスの通気口からは空気は流れません。顔の高さの通気口から出る空気の流れがフロント ガラスの曇りを除去するのに十分だからです。

5. 矢印をタッチしてファンの速度を設定します。

注：ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model X 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。ファンの速度を最大 (例:設定 10) に設定すると、大きな風量を得るために Model X は外気導入から循環に自動的に切り替わります。「オートモードリセット」にタッチすると、すべての設定が標準の値にリセットされます。

リア キャビン空調（6 または 7 シートの車両のみ）



注：自動に設定されている場合に、Model X が 2 列目または 3 列目に誰も乗車していないことを検出するとリアヒーターと空調はオフになります。この省エネ機能をオーバーライドして、手動で改めて変更するまでその設定を保存するためには、「空調オン/オフ」設定の上にある「自動」ボタンをタッチします。「自動」にもう一度タッチするとマニュアル設定がキャンセルされ、省エネ機能に戻ります。

1. 「リセット AUTO」にタッチすると、すべての設定が標準の値に戻ります。
2. 空調をオン/オフにするには、「空調オン」または「空調オフ」をタッチします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

注：Model X はガソリン車より走行音が格段に静かなため、コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を最小限に抑えるには、ファンの速度を下げるか、空気を再循環させます。

3. 矢印をタッチして温度を調整します。
4. 矢印をタッチしてファンの速度を設定します。



エアコンを ON のままにする

「クライメートタイマー」設定を使用すれば、車両をパーキングに入れて車から離れても空調システムをオンのままにすることができます。これは、キャビンの温度を適度に温度に保ちたい場合（例えば、Model X にペットを残す場合や Model X の車内で仮眠をとる場合など）にとっても便利です。「エアコンを ON のままにする」を使用するには、バッテリー残量が 20% 以上なければなりません。

「エアコンを ON のままにする」には：

1. パーキング ギアに入れます。「エアコンを ON のままにする」設定は、Model X がパーキングにシフトされている時のみ使用できます。
2. 空調で、**フロント**の順にタッチします。クライメートタイマーは、フロントシート用空調設定を調整する各設定の下側に表示されます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 「**エアコンを ON のままにする**」 > **ON** の順にタッチします。

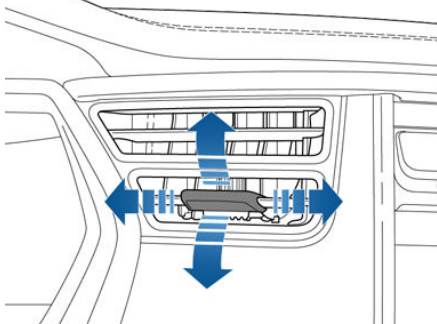
空調システムは、パーキングからギアを動かす、または手動でオフにするまで空調温度を維持します。バッテリーの充電レベルが 20% 以下になると、空調システムは自動的にオフになり、Tesla モバイルアプリはドライバーにそれを通知し、Model X 内に何か残されていないか確認します。

次回 Model X を使用するときは、空調システムは前回と同じ設定を使用して再開されます。

 **警告：**空調システムを常にそのままの状態で使用することは絶対に避けてください。怪我や死亡事故につながる可能性があります（例えば、夏に犬を車内に残す場合）

換気

Model X 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。



注：顔の高さにある外側の通気口をサイドウィンドウに向けると、サイドウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビンエアフィルター

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを備えています。Tesla では、12 か月ごとの定期メンテナンス、または 20,000 km ごとにエアフィルターを交換します。

キャビン過熱保護

空調システムは周囲の温度が著しく暑い時にキャビン内の温度を、Model X を下車してから最長 12 時間に渡って下げます。有効になっている時、空調システムはキャビン内が 40° C 以上になると働きます。この機能を無効にするには、「コントロール」>「設定」>「車両」>「キャビン過熱保護」>「オフ」の順にタッチしてください。

▲ 警告：子供またはペットを車の中に放置しないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく暑い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

注：キャビン過熱保護は、バッテリー残量が 20% 以下の時には作動せず、動作中にそれ以下になった場合は停止します。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムを起動すると、システムは 30 分後に自動的に終了します。これより長く車内を冷房または暖房したい場合は、再度システムを起動してください。
- エネルギーを節約するために、レンジモードをオンにして空調システムの消費電力を制限することができます。車内の冷暖房は効率的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」の順にタッチします。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、風量を下げて使用してください。
- 車内の冷房に加え、A/C コンプレッサーはバッテリーの冷却にも使用されます。このため、暑い天候では A/C コンプレッサーはオフにしたとしてもオンになることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model X の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。(これは充電量が 20% 以上ある時のみ作動します)



注：Model X にスマート エア サスペンションが搭載されている場合、Model X の始動時、システムのリザーバにエアが充填される際にコンプレッサーの音が聞こえることがあります。

スマート エア サスペンションの動作モードには手動と自動の両方があります。

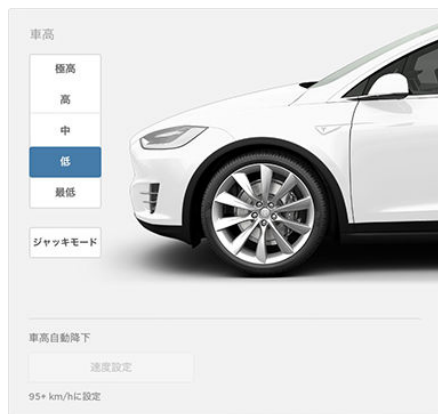
高さ調整

注意：サスペンションの高さを調整する際は、Model X の上下に障害物が一切ないことを確認してください。

Model X の手動高さ調整は、自宅車庫までの急な道、スロープ、積雪、住宅街のスピードバンプなど、さらに地上からの高さが必要な場合に、車高を調節できる便利な機能です。

Model X の電源をオンにした状態で、またはブレーキペダルを踏んだ状態で、タッチスクリーンを使って車高を手動で変更します。「コントロール」>「車高」の順にタッチし、次のいずれかを選びます。

- ・「**極高**」：「極高」に設定されている場合、走行速度が時速 56 km に達すると自動的に車高が「HIGH」に下がります。
- ・「**高**」：「高」に設定されている場合、走行速度が時速 73 km に達すると自動的に車高が「中」に下がります。
- ・「**中**」：「中」に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。
- ・「**低**」：車高を下げると、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になります。
- ・「**最低**」：この設定は手動で行われ、現在の走行でのみ適用されます。



注：使用可能な設定は走行速度やその他の条件によって異なります。たとえば、ドアが開いていると車高を下げることはできません。

ロケーションベース サスペンション

ロケーションベース サスペンションは、車高を上げる必要のある場所 (急勾配のドライブウェイやランプ、雪の深いところ、スピードバンプなど) をよく使用する場合、そこに到着するたびにサスペンションを手動で調整する手間を省きます。

「高」または「極高」に車高を上げるたびに、Model X はその場所をデータとして保存します。

保存された場所に次回戻ってくると、Model X は車高を上げ、インストールメントパネルに次のメッセージが表示されます：

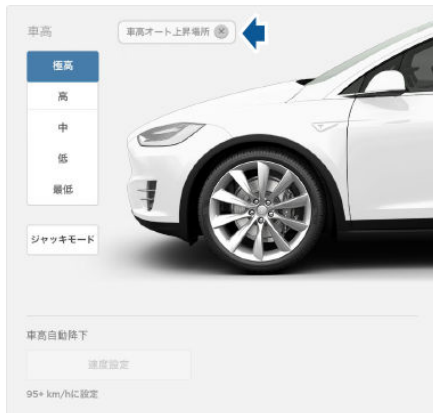


注：

- ・ 保存された場所でも「高」および「極高」サスペンション設定で走行可能な速度以上の速度 (**高さ調整** - 126 ページを参照) で走行した場合は、Model X の速度が下がるまでサスペンションは上がりません。
- ・ 保存された場所を離れると、「コントロール」>「車高」>「地上高自動降下」により設定された車高自動降下速度になっても、速度しきい値を上回る速度で走行するまで、車高が下がらないことがあります。
- ・ 保存された場所に Model X が着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、サスペンションは調節されません。

車高オート上昇場所を取り消す

保存された場所でサスペンションのオート上昇を希望しないときは、そこで表示される車高オート上昇場所ステータスに関するメッセージ内の **X** をタッチします。その場所のオート上昇が取り消され、今後その場所に着いても車高が自動的に上がることはありません。



注：保存された場所にいる間に手で「中」または「低」に車高を下げると、その車高オート上昇場所が取り消されます。

地上高自動低下

Model X の走行速度が、自宅車庫までの道や駐車場内を走行する速度を超えると、スマートエアサスペンションが自動的に車高を下げ、空力抵抗やハンドリングを改善します。ほぼ平均的な速度で走行している場合、サスペンションは自動的に「中」に設定されます。上述のとおり、手動高さ調整を行った場合は、走行速度の増加に応じてサスペンションが自動的に下がります。

荷物を積載する場合、スマートエアサスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。

タッチスクリーンで「コントロール」>「サスペンション」>「地上高自動低下」>の順にタッチすると、エアサスペンションが自動的に車高を「低」に切り替える速度を設定することができます。この設定は「ドライバーのプロフィール」に保存されます。

注：一時的に車高を変更するには、ブレーキペダルを踏み、「コントロール」>「サスペンション」の順にエアサスペンションコントロールにタッチしてから手動で車高を選択します。サスペンションを自動的に下げる保存済みの設定は、次の走行時に復元されます。



車の性能に関わるエアサスペンションシステムの不具合が検知されると、インストゥルメントパネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。

ジャッキモード

ジャッキアップや引き上げを行う際は、あらかじめサスペンションを「ジャッキモード」に設定し、Model X の電源がオフになってもセルフレベルングが機能しないようにします。

ブレーキペダルを踏み、次に「コントロール」>「車高」>「ジャッキモード」の順にタッチします。

解除するには、「ジャッキモード」を再度タッチします。

注：ジャッキモードは、走行速度が時速 7 km を越えると自動的に解除されます。

注：Model X また、車両が目標高まで車高を下げるができない、または車両重量が何らかの物体の上にかかっている（バンパーが縁石に当たっているなど）場合などを検出すると、自動的にジャッキモードを設定します。



概要

インターネット ラジオやストリーム音楽、ポッドキャスト (利用できる場合) を聞く、あるいは Bluetooth や USB 接続した装置から音楽ファイルを再生をするには、**メディアプレイヤー** アプリをタッチしてください。FM ラジオの再生が可能です。

利用可能なコンテンツがメディアプレイヤーの上部に表示されます。ラジオ、TuneIn、電話、USB 接続 (**USB 接続** - 130 ページを参照) にフラッシュドライブを挿入すると、追加の USB ソースが表示されます。ソースをタッチしてメディアプレイヤーで利用可能なコンテンツを閲覧したり、利用したいコンテンツを検索することができます (**メディアプレイヤー内の検索** - 128 ページを参照)。

メディアプレイヤーの下側に表示される「再生中」ビューで、現在再生中のコンテンツをコントロールすることができます (一時停止/再生、次のトラック/局へスキップ等)。「再生中」ビューでは、現在再生されている曲をお気に入り登録 (**お気に入り** と **最近の履歴** - 129 ページを参照) したり、最近聞いたお気に入りの放送局や音楽、ポッドキャストにアクセスすることができます。

再生中ビューは、メディアプレイヤーで選択したソース (ラジオ、TuneIn、電話、USB) に関係なく表示されます。タッチするだけで「再生中」ビューを最大化したり、最小化したりできます。

音量調節

メディアプレイヤーの再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。音量をミュートするには、左スクロールホイールを押してください。

スクロール ホイールは、現在スピーカーで聞いているものに依拠して、メディア、ナビゲーションの指示や通話の音量を調整します。曲、オーディオファイル、またはポッドキャストを再生している時に、電話を受けた、あるいは Model X がトリッププランナーの進路変更をスピーカーから案内すると、曲、オーディオファイルまたはポッドキャストが一時的にミュートになります。

注: 通話中に左のスクロールホイールを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

オーディオ設定

フェード (前/後)、バランス (左右) または可聴周波数のカスタマイズなど、お好みのサウンドの調整を行うことができます。メディアプレイヤーの右上にあるイコライザーアイコンを押して、オーディオ設定を開きます。

フェードとバランスの調整は、画面左側で十字マーク中心にある円を、Model X でサウンドの焦点を置きたい位置に合わせて行います。デシベル (dB) バーの対応するスライドバーを上下させて、画面右側にある 5 つの周波数バンド (低音域、中低音域、中音域、中高音域、高音域) を調節します。

装備されている場合、**ドルビー** チェックボックスをタッチして、ドルビー サラウンドを有効にします。

メディアプレイヤー内の検索

メディアプレイヤー全体を検索することができます。検索は、全コンテンツ カテゴリに対して行ったり、特定のカテゴリに絞り込んで行うことができます。検索結果は以下のコンテンツを表示します:

- TuneIn
- USB コンテンツ

検索するには、メディアプレイヤーの検索バーをタッチし、曲名やアルバム名、アーティスト名、ポッドキャスト、プレイリスト、放送局などを入力して検索します。検索範囲を狭めるためのフィルターを選択するか、デフォルト設定のまま全カテゴリを検索します。

注: 音声コマンドによるハンズフリー検索も可能です (**音声コマンドの利用** - 47 ページを参照)。

TuneIn を使用している場合、TuneIn の一覧エリアからカテゴリ別にコンテンツをブラウズすることができます。コンテンツは、地域 (アフリカ、アジア、北米など)、ローカルラジオ局、トークラジオ、お気に入り、その他のカテゴリでブラウズすることができます。ブラウズを止める時や他のカテゴリをブラウズしたい場合は、メディアプレイヤー上部にある TuneIn をタッチしてください。

FM ラジオ

今いる場所で利用できる場合、メディアプレイヤーはラジオ ソースから選択できる FM ラジオ サービスを提供します。ラジオを特定の周波数に合わせるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印で周波数をひとつ次へ (または前へ) 移動させます。また、希望の周波数を合わせるには指でタップまたはドラッグしてください。周波数の数字の左にある 3 本のバーは、選択した周波数の信号強度を示します。利用できる周波数の場合は、HD をタッチすることにより高品位バージョンが再生されます。

ラジオ局をお気に入りとして登録すると、ラジオソースに表示され、アクセスしやすくなります (**お気に入り** と **最近の履歴** - 129 ページを参照)。

インターネット ラジオ

インターネット ラジオ サービスには、データ接続経由でアクセスします。インターネットラジオを使うには、メディアプレイヤーの「TuneIn」をタッチし、利用できるカテゴリーや放送局をブラウズし、再生したいものをタッチします。ジャンルなどの大きなカテゴリーを閲覧する時は、一覧が次のページに続きます。メディアプレイヤーの左側にある左矢印ボタンを使用して、一つ前のページに戻る、またはソースを再度押してメインブラウズページに戻ることができます。

インターネット ラジオ サービスで利用可能な次の(場合によっては前の)局やエピソード、トラックを再生するには、再生中ビューにある次へ(あるいは前へ)の矢印をタッチするか、またはハンドル左側のボタンを押します(ハンドルの左ボタンを使用する - 45 ページを参照)。これらのコントロール機能は、お客様がお聞きになっているインターネットサービスによって様々です。

特定の局やアーティスト、アルバムなどをインターネット ラジオ サービスへの音声コマンド(英語で話けている場合のみ)で再生させることもできます(音声コマンドの利用 - 47 ページを参照)。

インターネットラジオをお聞きになっている時は、「再生中」ビューから次のような操作が可能です。

- **お気に入り** アイコンをタッチすると、ラジオ局やポッドキャストをお気に入りとして保存できます(お気に入りと最近の履歴 - 129 ページを参照)。
- デジタル ラジオ局をアクセスするには、数字をタッチします(利用できる場合)。デジタルラジオ局は高品質のサウンドで、対応のアナログ版とは番組内容が異なる場合があります。
- **右矢印** をタッチして、ポッドキャストまたはプレイリストにある曲のリストを表示することができます。

デフォルトで、TuneIn はお客様向けにセットアップされた Tesla のアカウントを使用します。異なる TuneIn アカウントにサインインするには、「TuneIn」ソースの下でスクロールし、「サインイン」をタッチしてからご自身のアカウントのログイン情報を入力してください。

注: TuneIn ポッドキャストの再生中、ポッドキャストのどの位置からでも早送り、早戻しが可能です。再生中ビューで、スライダーバーの下にある矢印を好きな位置にドラッグしてください。

お気に入りと最近の履歴

いつでも簡単にアクセスできるよう、お気に入りのラジオ局やオーディオ ファイルがメディアプレイヤーの上部および再生中ビューに表示されます。使用しているソース(ラジオ、TuneIn、電話、または USB)に関わらず、全てのソースのお気に入りが表示されます。ソースコンテンツを素早く最大化や最小化することができます。

「USB お気に入り」は、お気に入りフォルダの再生中ビューから利用することができます。(スクロールしないとそのフォルダが見えない場合があります。)[再生中]ビューで **Favorites** フォルダをタッチすると、USB の最初のお気に入りが再生されます。次の曲進む、あるいは前の曲に戻る矢印を使用して、「USB お気に入り」をスクロールしてください。



現在再生中のラジオ局やオーディオ ファイル、ポッドキャストまたはオーディオ ファイルを自分のお気に入りリストに追加するには、再生中ビューの**お気に入り** アイコンをタッチします。(お気に入りアイコンをタッチするには、再生中ビューをタッチして最大化します。)



お気に入りを削除するには、ハイライトされている**お気に入り** アイコンをもう一度タッチします。また、お気に入りを長押しすると「再生中」ビューから1つまたはそれ以上のお気に入りを削除することができます。すべてのお気に入りに **X** が表示されます。**X** を再度タッチすると、選択したお気に入りを削除します。

最近再生したものを見るには、再生中ビューの**最近の履歴**をタッチします。最近再生したものは常時更新されますので、特に削除する必要はありません。

注: 最近視聴したと FM ラジオ局の選択は、選択の履歴に表示されません。

デバイスからメディアを再生

USB 接続されたフラッシュ ドライブや Bluetooth 接続されたデバイス(電話など)にあるオーディオ ファイルを再生することができます。USB フラッシュ ドライブを接続すると、メディアプレイヤーに USB ソースが表示されます。Bluetooth 機能をもつデバイスを接続すると、そのデバイスの名前が電話ソースに表示されます。USB フラッシュ ドライブまたは Bluetooth デバイスを接続してから、再生したい曲やアルバム、プレイリストをタッチしてください。



選択したプレイリストやアルバムの次の曲を再生するには、再生中ビューの前または次の矢印をタッチするか、ハンドルの左側にあるボタンを使用してください（**ハンドルの左ボタンを使用する** - 45 ページを参照）。アルバムカバー アート下に表示されるシャッフル/リピートアイコンを用いて、プレイリスト内の曲をシャッフルしたり、プレイリストやトラックをリピートすることも可能です。

USB 接続されたフラッシュ ドライブ

センター コンソールのフロント コンパートメントにある USB 接続の 1 つ (**USB 接続** - 130 ページ)。「**メディアプレーヤー**」 > 「**USB**」をタッチし、再生したい曲が含まれているフォルダーの名前をタッチします。USB 接続されたフラッシュ ドライブのフォルダー内のコンテンツが表示されたら、再生中ビューの右矢印をタッチしてリスト内の曲を表示できます。リストの中から再生する曲をタッチします。あるいは再生中ビューの前へまたは次への矢印で曲をスクロールします。

注：USB 接続したメディアを再生する場合、Model X が認識できるのはフラッシュ ドライブのみです。デバイスに Bluetooth で接続することにより、iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生することができます（後述）。

注：センターコンソール前部にある USB 接続を利用します (**USB 接続** - 130 ページを参照)。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

注：メディアプレーヤーは、FAT32 フォーマットされた USB フラッシュ ドライブをサポートします (NTFS と exFAT には現在対応していません)。

Bluetooth® に接続された機器

電話などの Bluetooth 接続可能なデバイスを Model X とペアリングして接続した場合、そこに格納されているオーディオ ファイルを再生できます (**Bluetooth 対応の携帯電話の接続** - 132 ページを参照)。そこから音楽サービスをストリーミングすることも可能です (たとえば、Pandora や Spotify)。メディアプレーヤーの **Phone** ソースを選んで **Connect Phone** をタッチし、Bluetooth 接続したご自分のデバイスの名前をタッチしてから **CONNECT** をタッチします。

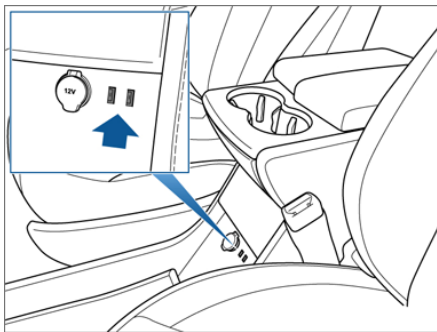
ご自身の Bluetooth 機器がその中で現在アクティブなオーディオファイルを再生し始め、メディアプレーヤーが「再生中」ビューを表示します。デバイスでオーディオ ファイルの 1 つが再生されない場合は、視聴したいオーディオ ファイルをそのデバイスから選択してください。オーディオ ファイルがメディア プレーヤーで再生され始めたら、メディアプレーヤーのコントロールで別のトラックを再生することができます。

注：Bluetooth 接続された機器でメディアを再生するには、メディアへのアクセスが機器でオンにな

っていることを確認してください（**電話** - 132 ページを参照）。

USB 接続

Model X にはセンター コンソールの前面に 2 つの USB 接続端子があります。これらのポートに接続された USB ドライブに保存されているオーディオ ファイルを再生する方法については、**デバイスからメディアを再生** - 129 ページを参照してください。これらの端子を使用して USB 機器を充電することもできます。

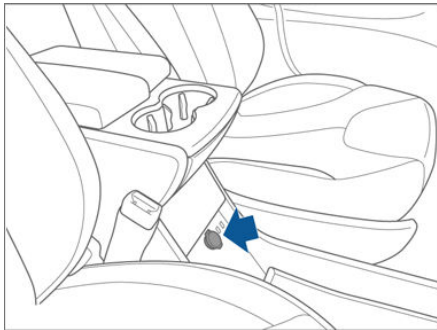


さらに、Model X にはセンターコンソールのリア側に充電専用の USB 接続が 2 つあり、もう一つの充電専用 USB 接続が 3 列目シートの間にあります。

注：センターコンソール前方の 2 ポートとコンソールリア側の 2 箇所を同時に使って 4 台の機器を充電できます。

12V 電源ソケット

Model X のセンター コンソールの前面に電源ソケットがあります。追加の 12V 電源ソケットはリア トランク内にあります。インストールメントパネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、電源を利用できます。





12V 電源ソケットは、11A までの連続通電 (最大 15A) または最大 150 持続 W (最大 180 W) までのアクセサリが適合します。

注: Model X が (バッテリー電圧低下、電波干渉などのために) キーを認識できない場合は、が最もキーを検出しやすいセンターコンソール内 Model X の 12 V 電源ソケットの真下にキーを置いてください。

 **警告:** 電源ソケットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。



Bluetooth® 互換性

Model X では、通信範囲内にある Bluetooth 対応電話機をハンズフリーで使用できます。通常、Bluetooth はおよそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話によって異なることがあります。

Model X で電話機を使用するには、あらかじめ登録しておく必要があります。登録をすることにより、Model X は Bluetooth 対応電話機を使えるようにセットアップされます ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 132 ページを参照)。

最大 10 台の Bluetooth 電話を登録できます。Model X 常に最後に使用された電話機に自動的に接続します (その電話機が通信範囲内にあることが前提です)。別の電話に接続する方法については、[登録済みの電話との接続](#) - 133 ページを参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: Model X には電話機以外の Bluetooth 対応機器も登録できます。たとえば、iPod Touch、iPad または Android タブレット端末の登録をして音楽をストリーミングすることができます。

Bluetooth 対応の携帯電話の接続

登録することにより、Model X は Bluetooth 対応電話機を使えるようにセットアップされます。登録済みの電話機が通信範囲内であれば、Model X はその電話機にいつでも接続できます。

電話を登録するには、Model X の車内で以下の手順を実行します。

1. タッチスクリーンと電話の両方の電源がオンになっていることを確認します。
2. タッチスクリーンのステータスバーで、Bluetooth アイコンにタッチします。
3. 電話で Bluetooth を有効にして、電話を検出可能にします。
4. Model X のタッチスクリーンで「検索開始」にタッチします。タッチスクリーンが検索を開始し、動作範囲内にあるすべての利用可能な Bluetooth 機器のリストを表示します。
5. Model X のタッチスクリーンで、登録したい電話機にタッチします。数秒以内にランダムに生成された数字がタッチスクリーンに表示され、電話にも同じ数字が表示されます。
6. 電話に表示される数字がタッチスクリーンに表示される数字と同じであることを確認します。次に、電話で登録を確認します。

登録が完了すると、Model X は自動的に該当の電話機に接続し、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

連絡先と通話履歴のインポート

ペアリングが完了すると、電話の連絡先と通話履歴へのアクセスを許可するかどうかを Bluetooth 設定画面を使用して指定できます。

アクセスをオンにすると、Model X のタッチスクリーンで連絡先のリストを見ることができます。「電話」 > 「連絡先」の順にタッチします。連絡先にタッチして、連絡先の電話番号をダイヤルしたり、連絡先のアドレスを表示することができます。

注: 連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に回答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

アクセスがオンになっていれば、Phone アプリの連絡先タブにタッチするとインポートされた情報が表示されます。

注: 安全のため、Model X を売却する際は連絡先を削除してください ([個人情報](#)の消去 - 119 ページを参照)。

Bluetooth 対応の携帯接続のペアリング録解除

電話を切った後再び使用したい場合は、Bluetooth 設定画面で「切断」にタッチします。Model X でその電話機を再び使うことがない場合は、「このデバイスの登録を解除」にタッチします。登録を解除した電話機を Model X で使用するには、もう一度その電話機を登録する必要があります ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 132 ページを参照)。

注: Model X から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

登録済みの電話との接続

Model X 最後に接続された電話機が通信範囲にあり、その電話機の Bluetooth 機能がオンになっている場合、自動的にその電話機に接続します。最後の電話が動作範囲内でない場合、Model S は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、タッチスクリーンのステータスバーの Bluetooth アイコンにタッチします。Bluetooth ウィンドウに登録されている電話のリストが表示されます。接続したい電話を選択し、「**接続**」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、**Bluetooth 対応の携帯電話の接続** - 132 ページの手順に従ってください。

Model X と電話機が接続されると、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (英語) (**音声コマンドの利用** - 47 ページを参照)。
- 連絡先リストから連絡先を選択します。
- Model X のキーパッドを使用する。

キーパッドを使用して電話をかける：

- タッチスクリーンの電話のアプリにタッチしてから「キーパッド」にタッチします。
- キーパッドに電話番号を入力します。
- 「**発信**」にタッチします。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の番号が表示されます。

連絡先を選択して電話をかける：

- タッチスクリーンの Phone アプリにタッチし、「**連絡先**」にタッチします。
注：電話の連絡先へのアクセスがオンになっていることを確認します (**連絡先と通話履歴のインポート** - 132 ページを参照)。
- 通話相手の連絡先名にタッチして、連絡先の詳細情報を表示します。
- ダイヤルする番号をタッチします (連絡先に複数の番号がある場合)。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の連絡先の名前が表示されません。

注：安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

電話に応答する

電話機に着信があると、(発信者が電話連絡先リストに含まれていて、Model X がその連絡先へアクセスできる場合)、発信者の番号または名前が計器パネルとタッチスクリーンの両方に表示されます。

タッチスクリーンのオプションの 1 つにタッチするか、ハンドルの右側のスクロールホイールを使用して着信に「**応答**」するか、または着信を「**無視**」します (**ハンドルの右ボタンを使用する** - 46 ページを参照)。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによってインストールメントパネルに通話メニューを表示することができます。通話メニューが表示されたら、スクロールホイールを使用してメニューをスクロールし、オプションを選択することができます (**ハンドルの右ボタンを使用する** - 46 ページを参照)。通話音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。

⚠ 警告：道路の状況に常に注意して運転してください。運転中に電話を使用することは、Bluetooth などを使用していたとしても、怪我や死亡事故の原因となることがあります。

⚠ 警告：テキストの使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関する適用可能なすべての法規に常に従ってください。



概要

Google MapsTM アプリケーションが、Model X にナビゲーション機能を提供しています。

- Model X にナビゲーションのオプションが装備されている場合は、アプリケーションが **ナビ** とラベルされ、オンボード マップが利用できます。場所を検索するには、通信接続が必要です。
- Model X にナビゲーション オプションが装備されていない場合、オンボード マップは使えません。しかし、データ接続を行えば、任意の場所を検索および表示できます。

場所を指定すると、タッチスクリーンにルートが表示され、進路変更ごとの指示が与えられます。各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。

目的地まで往復したあとのエネルギー残量が 10% 未満の場合、または目的地まで往復することで大量のエネルギーを消費する場合は、ナビゲーション表示の下部に、往復時に使用されるエネルギーの推定量が表示されます。バッテリーの使用エネルギーに関わらず、すべての往復時について必要なエネルギーの推定量を表示するには、マップとナビゲーションの設定で「**往復の推定所要電量を常に表示する**」を選択します。有効にすると、ナビゲーション表示の下部に、往復に必要なエネルギーの推定量が常に表示されます。(ナビゲーション表示の下部までスクロールしないと、往復に必要なエネルギーの推定量が見えないことがあります。)

地図を使用する

「ナビゲート」をタッチする、または音声コマンド (音声コマンドの利用 - 47 ページを参照) を使用して、目的地を指定します。住所、建物名、会社名などを文字入力または音声入力します。あるいは「ナビ」をタッチして自宅または職場を選んだり、お気に入りの目的地のリスト (お気に入り、自宅、勤務先 - 136 ページを参照)、検索履歴 (最後に使用した場所が上に表示される)、行ったことのある充電ステーションをタッチします。

「最近」または「お気に入りリスト」にあるロケーションのピンをタッチする、またはマップにあるロケーションのピンをタッチすると、選択したロケーションが地図の中央に表示され、そのロケーションのさらに詳しい情報がポップアップ表示されます。ポップアップには、名前、電話番号、ロケーションの住所、目印となる建物、または会社などが表示されます。表示される情報には、Google 評価、価格帯、営業時間、および充電器、Wi-Fi、トイレ、食べ物などの有無が表示される場合もあります。

このポップアップから、その場所をお気に入りとして登録したり、ナビゲーション オプションが装備されている場合は、「ナビ」をタッチすることにより目的地までのナビゲーションを開始したり、「発信」をタッチしてその場所にいる人に電話をかけることもできます。ナビゲーション オプションが装備されている場合、最近の履歴やお気に入りリストにある目的地の名前をタッチすると (ピンのタッチと比較)、最近の履歴またはお気に入りからすぐにナビゲーションを起動することができます。Model X ルートを計算して、進路変更ごとの道順を表示します。

デフォルトでは、スーパーチャージャーの場所が表示されます (充電ポイント - 135 ページを参照)。Model X がナビゲーション オプションを装備している場合は、地図の任意の場所をタッチしたまま保持してそこにピンを立てることができます。

地図が表示するものをカスタマイズするには右下隅のアイコンを使用します。



衛星画像 - タッチして衛星画像をオン/オフします。

充電ポイント - タッチするとマップに充電ポイントが表示され、ポップアップリストには都市や充電ポイントまでの距離が含まれます (充電ポイント - 135 ページを参照)。



注: ポップアップリストには、その地点までの走行距離ではなく、その地点までの直線距離が表示されます。ナビゲートを開始すると、ナビゲーションシステムはその場所までの走行距離を表示します。

現在位置あるいは指定の場所で地図をズームイン、ズームアウトするには、右上部のズームアイコンをタッチします。現在位置を地図の中央にすることや、地図の向きを変えるには、北/進行方向アイコンをタッチします。



北が上 - スクリーンは常に北が上になります。



進行方向が上 - スクリーンは常に進行方向が上になります。車両が向きを変えると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

指で好きな方向に地図を回転できます。マップを時計回りまたは反時計回りに回転する、またはマップを上下、または左右に移動させると、「北向き / 進行方向」アイコンがグレーになり、現在位置の追跡が行われなくなります。(「北向き / 進行方向」アイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが表示されます)。トラッキングを再度有効にして、北向きまたは進行方向が画面の上に来るようにマップの向きを調整するには、「北向き / 進行方向」アイコンをもう一度タッチします。「北向き / 進行方向」アイコンが再び有効になると、「北上」または「進行方向」というメッセージが表示されます。

注：トラッキングを有効にしたままにするには、ズームアイコンのみを使用または指でつまむようにしてズームイン、ズームアウトを行います。トラッキングを無効にするには、マップを任意の方向に移動します。

地図の大きさを最大にするため、タッチスクリーンのステータスバーとアプリエリアは、地図上のアイコンとともに数秒後に非表示になります。それらは、地図にタッチするだけで再表示されます。

充電ポイント

スーパーチャージャーはデフォルトでは地図上で赤いピンで表示されます。そのピンをタッチするとスーパーチャージャーのある施設の詳細が表示され、ナビの目的地に選択したり、お気に入りとして登録することができます。地図にあるスーパーチャージャーのロケーションを示すピンにタッチすると、スーパーチャージャーの設置数、使用状況、スーパーチャージャーのある施設の所在地や現在地からそのスーパーチャージャーまでのおよその距離が表示されます。ポップアップには、スーパーチャージャーの設置場所で利用できるアメニティ(トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fiの使用可否など)についても表示します。

注：ポップアップには、その充電ポイントまでの走行距離ではなく、その充電ポイントまでの直線距離が表示されます。ナビゲートを開始すると、ナビゲーションシステムはその充電ポイントまでの走行距離を表示します。

スーパーチャージャーに加えて、地図の右下隅の充電アイコンをタッチすれば、以前に使用したことがある目的地の充電器や充電ポイントを表示することができます。充電ポイントに関する詳細を表示するにはピンをタッチします。



スーパーチャージャーが稼働中。



スーパーチャージャーが稼働していないかまたは低容量で稼働中 (ピンをタッチすると詳細が表示される)。



この場所には充電ステーション(ウォールコネクター)が設置されています。タッチすると、充電ポイントの利用できる台数と使用制限など詳細な情報が表示されます。



この場所には複数の充電ステーションが設置されています。アイコンに表示されている数字は、目的地にある充電ステーションの数を示します。ピンにズームインして充電ステーションを表示します(上で示す通り)。

ナビゲーションを開始する

1. 地図を表示するには、「ナビ」をタッチします。
2. 「ナビ」をタッチして、目的地を入力します。また、音声コマンド(ハンドル - 45 ページを参照)を使用する、「最近」またはお気に入りリストにある場所をタッチする、もしくはマップにあるピンをタッチしてから、ポップアップにある「ナビ」をタッチすることもできます。

- データ接続がある場合は、目的地の入力を始めるとオートコンプリートオプションがポップアップリストに表示され、そこから選択することができます。例えば、通りの名前、会社名、またはカテゴリ(ホテル、コーヒー等)を入力するだけです。

注：ポップアップリストには、その地点までの走行距離ではなく、その地点までの直線距離が表示されます。ナビゲートを開始すると、ナビゲーションシステムはその場所までの走行距離を表示します。

- データ接続がない場合、「ナビ」、「検索」フィールドを順にタッチし、「オフライン時の住所入力」をタッチしてオンボードマップを使用します。目的地の住所を完全に入力し、「検索」をタッチします。

注：接続された電話機のカレンダーが Model X と連動するように設定されていて、カレンダーイベントに具体的な場所が含まれていれば、カレンダーからナビゲーションを起動することができます(カレンダー - 137 ページを参照)。

ナビゲーションの使用

ナビゲーション中、タッチスクリーンには、そこまでの道順が推定距離、所要時間、到着時刻、目的地到着時に予想されるエネルギー残量を伴って表示されます。

タッチスクリーンには地図上の現在位置も表示されます。地図のズームレベルによっては、ルート全体が見えない場合があります。ナビゲーション ルートが有効になっている場合は、ルート概要アイコンをタッチすると完全なルートをいつでも表示することができます。



ナビゲーションルートが有効になっているときは、ルート概要アイコンが常に地図の右上隅に表示されます。このアイコンをタッチすることで、現在の行程の表示や、地図の向きを北向きと進行方向のいずれにするかの変更ができます（[地図を使用する](#) - 134 ページを参照）。

ナビゲーション中、インストールメントパネルには進路変更ごとの指示が表示され、音声ガイダンスが聞こえます。音声ガイダンスの言語を変更するには、「コントロール」>「設定」>「単位と形式」。音声ガイダンスの音量を変更するには、進路変更ごとの指示の右上隅にある音量アイコンをタッチします。

ナビゲーションのルートで次の曲がり角が近づくと、タッチスクリーン右側で縦に表示されるルート情報バーに詳細な道案内リストが表示されます。この縦に表示されるルート情報バーは、インストールメントパネルにあるナビゲーション情報の右側にも表示されます。曲がるべき道に近づいていくと、バーの色が下から上へと変わっていきます。曲がり角に着くと、バーの色が完全に変わります。

お気に入り、自宅、勤務先



目的地までナビゲートしている際にピンをタッチするか、もしくは目的地を地図上に表示したピンをタッチすることで、お気に入りに追加することができます。ポップアップの画面が表示されたら、お気に入りアイコンをタッチしてから**お気に入りに追加**をタッチします。お気に入りの目的地を削除するには、マップ上でそれを選択し、表示されるポップアップにある**お気に入り**アイコンをタッチし、「**削除**」をタッチして削除を確認します。

ひんぱんに利用する目的地は、そのつど目的地名や住所を入力することを避けるため、お気に入りに追加することをおすすめします。目的地をお気に入りに追加すれば、「ナビ」>「**お気に入り**」をタッチしてリストから選択するだけで簡単にそこまでのナビゲートができます。

ナビゲート オプションには、自宅と勤務先用のプレイスホルダーが含まれます。Model X は、使用パターンによって検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように促すことがあります。自宅と勤務先を保存すると、Model X は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲートするかどうかを促すようになります。現在地からの推定時間を表示するようになります。自宅または勤務先にナビゲートするには、**勤務先へ向かう**または**自宅に戻る**を押します。また、「コントロール」>「設定」>「アプリ」>「**地図とナビゲーション**」をタッチして、Model X 経路を変更する前に節約したい時間（最長 30 分まで）を指定することができます。

自宅や勤務先の住所を変更するには（他の住所変更も同じ手順です）、「ナビゲート」をタッチし、自宅または勤務先の住所を長押しして、ポップアップに新しい住所を入力します。最近の履歴やお気に入りのリストにある住所を削除するには、その住所を長押しして、表示された **X** をタッチします。

注：安全のため、Model X を売却される際は、自宅や勤務先の住所、お気に入りの目的地を削除してください（[個人情報の消去](#) - 119 ページを参照）。

地図のアップデート

マップを更新するには、Model X を定期的に Wi-Fi ネットワーク（[Wi-Fi への接続](#) - 139 ページを参照）に接続してください。Wi-Fi を介して Model X にアップデートが送信されて、更新されたマップが利用可能になります。タッチスクリーンには、地図のアップデートがインストールされたことを示すメッセージが表示されます。

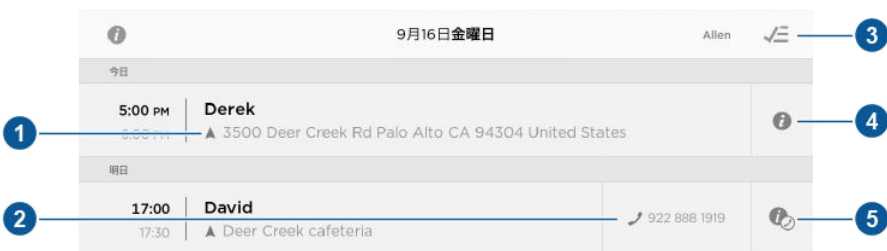
概要

カレンダー アプリにより、スマートフォン (iPhone® or Android™) のカレンダーを当日と翌日の分だけ見ることができます。カレンダー アプリを使用するには、次の条件を満たす必要があります。

- Tesla Model X のモバイル アプリを起動し、すでにログインしていること。スマートフォン上で要求があれば、カレンダーのモバイル アプリへのアクセスを許可しなくてはなりません。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model X へ定期的 (かつ自動的に) 送られるようになります。また、スマートフォンでモバイル アプリを表示させたときも、その都度最新のカレンダーのデータが Model X に送られます。カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリを最新のバージョンにする必要があります。
- スマートフォンと Model X が Bluetooth 経由で接続されていること (プライバシー保護のため、Bluetooth 接続されたスマートフォンからのカレンダー データのみが表示されます)。
- Model X へのリモート アクセスが有効になっていること (「コントロール」 > 「設定」 > 「安全とセキュリティ」 > 「リモート アクセス」 > 「On」の順にタッチしてください)。
- スマートフォンと Model X 双方の通信状態に問題がないこと。

Model X に乗ったとき、タッチスクリーンにその日のイベントのリマインダーを表示することができます。リマインダーを表示するかどうか、またいつ表示するかは「コントロール」 > 「設定」 > 「アプリ」 > 「カレンダー」 > 「乗車後カレンダーを表示」の順にタッチしてカスタマイズすることができます。

48 時間以内のスケジュールを表示するには、メイン タッチスクリーン ウィンドウからカレンダー アプリを選択します。カレンダー アプリにイベントが時系列順で表示されます。



1. カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます (Model X にナビゲーションが搭載されている場合)。
2. カレンダー イベントに電話番号が関連付けられている場合、数字にタッチすることで電話呼び出しを行うことができます。
3. 複数のカレンダーにあるイベントが表示されている場合、特定のカレンダーのイベントだけが表示されるようにフィルタリングできます。
4. カレンダー イベントにメモが関連付けられている場合、インフォメーションアイコンにタッチするとメモがポップアップ ウィンドウで表示されます。
5. イベントのメモに 1 つまたはそれ以上の電話番号が含まれている場合、インフォメーションアイコンと電話シンボルが表示され、イベント リストに最初の電話番号が表示されます。この番号で (上記の項目 2 で説明したように) 電話を呼び出すことができます。また、メモのポップアップ ウィンドウにある他の番号からも電話を呼び出すことができます (特に電話会議に便利です)。メモにウェブ リンクが含まれている場合、タッチするとウェブ ブラウザー アプリを開くことができます。

カレンダーとナビゲーション

Model X にナビゲーションが搭載されており、カレンダー イベントに場所が指定されている場合、その場所までナビゲーションさせるオプション機能を使うことができます。



セキュリティ システムについて

Model X が近くにキーがあることを検出していない状態でロックされたドアやトランクが開かれると、アラーム音が鳴り、ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームは、キーのボタンを押すと解除されます。

アラーム システムを手動でオンまたはオフにするには、「コントロール」 > 「設定」 > 「安全とセキュリティ」 > 「アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model X から出て 1 分後にアラームが作動し、ドアがロックされ、またはキーカードは検出されなくなります。



データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。Model X のソフトウェアアップデートを高速かつ確実に行うため ([ソフトウェアアップデート - 140 ページ](#)を参照)、Tesla は Wi-Fi をネットワークに接続した状態にしておくことをお勧めします。Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです:

1. タッチスクリーンのステータス バーにある「LTE」(または「3G」)アイコンにタッチします。Model X 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、表示します。
2. 使用したい Wi-Fi ネットワークを選択してパスワード(必要な場合)を入力してから、「**接続**」にタッチします。

検索したネットワークの一覧にない非表示のネットワークにも接続できます。「**Wi-Fi 設定**」にタッチし、表示されるダイアログ ボックスにネットワーク名を入力するだけです。

いったんネットワークに接続すると、そのネットワークが圏内にあるかぎり Model X は自動的に同じネットワークに接続されます。過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model X は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: モバイル ホットスポットや Wi-Fi テザリングを経由したインターネット接続も使用できます。

注: Tesla サービス センターでは、Model X は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。



新しいソフトウェアの読み込み

Model X ソフトウェアをワイヤレスでアップデートすると、お車の所有期間中は新しい機能がご利用いただけます。ソフトウェアのアップデートがリリースされた場合はすぐにインストールすることを Tesla は推奨します。アップデートが利用可能な状態になった後、初めて Model X に乗り込むと、タッチスクリーン上に予約ウィンドウが表示されます。最初の運転期間が終了した時点で、再度スケジューリング ウィンドウが表示されます。

注：ソフトウェア アップデートの中には完了までに最大 3 時間かかるものもあります。Model X 新しいソフトウェアのインストール中は、ギアを P（パーキング）に入れておく必要があります。ソフトウェア アップデートを最も速くそして確実に受け取るには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしておきます（[Wi-Fi への接続](#) - 139 ページを参照）。

ソフトウェア アップデートが利用可能な状態になると、タッチスクリーンのステータス バーに黄色の時計アイコンが表示されます。アップデート ウィンドウを表示するには、このクロックアイコンをタッチします。次に、以下のどちらかを行います。

- アップデートを開始したい時刻を設定することにより、アップデートの予約をします。次に「**この時間に設定**」にタッチします。スケジュールされると、時計アイコンが黄色から白色に変わります。アップデートの開始前であれば、いつでもアップデートの再予約を行うことができます。

または

- 「**今すぐインストール**」をタッチすると、アップデート プロセスが直ちに開始されます。

ソフトウェア アップデートの開始時に Model X が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェア アップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。予約したアップデート時刻に Model X が走行中の場合は、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。

注：使用するにつれ、タッチスクリーンにソフトウェアのアップデート ウィンドウが表示され、**この時間に設定**または**今すぐインストール**するよう知らせます。このソフトウェアのアップデート ウィンドウは、ソフトウェア アップデートのインストールが完了するまで表示され続けます。すべてのソフトウェアのアップデートは、リリースされ次第すぐにインストールしなければなりません。ソフトウェアのアップデートをしなかったことにより発生した問題は車両の保証対象となりません。アップデートをインストールしなかったり、インストールを拒否した場合、車両の特定機能（デジタルメディア機器に対応できなくなるなどを含む）が使用できなくなったり、Tesla が車両の診断やサービスを行うことができなくなる恐れがあります。

注：ソフトウェアの更新がインストールされていないと、車両の機能によってはアクセスできなくなっ

たり、デジタル メディア デバイスとの互換性が失われる場合があります。以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

タッチスクリーンにソフトウェア アップデートが完了しなかった旨のメッセージが表示された場合は、Tesla にご連絡ください。

リリース ノートの表示

ソフトウェア アップデートが完了したら、リリース ノートを表示させて新機能について内容をよく確認してください。現在のソフトウェア バージョンに関するリリース ノートを任意のタイミングで表示するには、タッチスクリーン最上部中央の Tesla の「T」をタッチしてから、「**リリースノート**」をタッチします。

すべてのリリース ノートをぜひお読みください。リリース ノートには、Model X に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。

Model X モバイルアプリ

Tesla Model X モバイル アプリにより、Model X は iPhone® または Android™ 携帯電話とリモート通信することができます。このアプリを使うと、次のことができるようになります。

- 車両の推定航続距離を表示する
- 充電の進行状況をチェックしたり、充電を終了したり、充電の開始時や停止時、完了時に通知を受け取る。

注：スーパーチャージャーで充電している場合、アイドル手数料が発生した時に通知を受け取る。アイドル手数料は、充電が終了して 5 分以内に車を移動すれば課金されません。[スーパーチャージャー使用料と超過時間料金 - 149 ページ](#)を参照してください。

- 車内の温度をチェックしたり、Model X を運転する前にヒーターまたはクーラーを入れる（ガレージなどに駐車している場合も含む）。
- Model X の位置と方向を特定し、マップ上で動きを追跡する。
- 駐車中で Model X のライトを点滅させたり、ホーンを鳴らさせて車両を見つける。
- 遠くから Model X をロックまたはアンロックする。
- フロントまたはリア トランクを開く。
- パレー モードを有効にする。
- Model X を遠隔操作で始動する
- サモンを使用して、Model X をパーキングにするか、またはパーキングを解除します（[サモンの使用 - 99 ページ](#)）。
- Model X のカレンダー アプリをサポートし、モバイル アプリを使ってスマートフォンのカレンダー データを Model X に転送する。
- カー アラームが発動したときや、Model X の新しいソフトウェアが更新可能なときに通知を受け取る。
- スケジュールされているソフトウェアのアップデートの通知を受信する。
- オドメーター、VIN、現在のソフトウェアのバージョンを表示する。

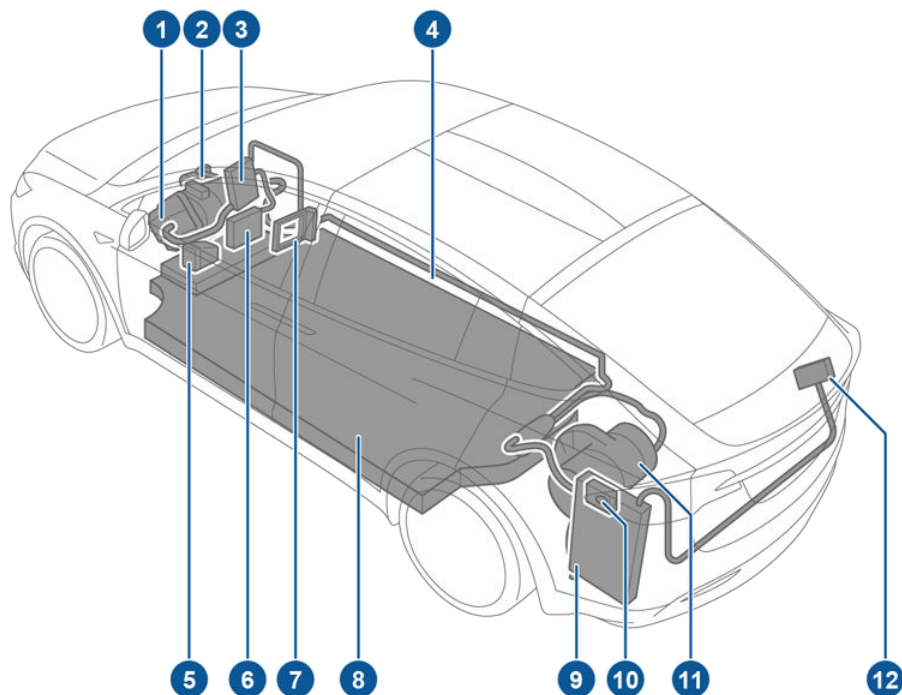
お使いのスマートフォンに Tesla Model X モバイル アプリをダウンロードして、Tesla アカウントログイン情報を入力します。また、リモートアクセスの設定をオンにして Model X がモバイル アプリと通信できるようにしておく必要があります。「コントロール」>「設定」>「安全とセキュリティ」>「リモートアクセス」>「オン」の順にタッチします（[設定 - 116 ページ](#)を参照）。

注：Tesla は、Model X との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

注：新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。



高電圧コンポーネント



1. フロント モーター
2. エアコン用コンプレッサー
3. 前方ジャンクション ボックス
4. 高電圧ケーブル配線
5. バッテリークーラントヒーター
6. DC-DC コンバーター
7. キャビンヒーター
8. 高電圧バッテリー
9. 車載充電器
10. 充電ポート
11. リヤ モーター
12. HV ケーブルからリア HVAC アセンブリ

警告： 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

警告： Model X に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

警告： 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

充電機器

Model X の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。Tesla ウォール コネクタはガレージに取り付けるタイプで、Model X をご自宅で最も高速に充電することができます。

一部の国・地域では、Model X にモバイル コネクタとアダプターが装備され、一般的に使用される電源コンセントに挿して使います。モバイル コネクタを使用するときは、まずそのモバイル コネクタを電源コンセントに挿してから、Model X に接続します。モバイル コネクタの詳細については、モバイル コネクタのオーナーズ マニュアル (タッチ スクリーンで閲覧可能) を参照してください。追加アダプターの購入は、Tesla にお問い合わせください。

また Tesla は、さまざまな種類のアダプター (J1772 と CHAdeMO を含む) も用意して、お客様の地域で一般的に使用されている公衆充電ステーションに Model X をプラグインできるようにしています。アダプターを充電ステーションの充電ケーブルに接続し、タッチスクリーンを使って充電ポート扉を開けてから (充電方法 - 145 ページを参照) Model X に接続します。

お使いの地域で利用できる充電機器の詳細な情報については、www.tesla.com にアクセスし、利用可能な充電オプションをご確認ください。



バッテリーについて

Model X は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model X を運転する予定がない場合、これは重要です。Model X が充電状態になっていれば、バッテリーの寿命を最大にする充電レベルを自動的に維持することが必要になったときにスリープ状態から復帰します。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: Model X のバッテリーが完全に放電し、牽引が必要になった場合は、オーナーが牽引の費用を負担しなければなりません。放電が原因の牽引に対する費用はロードサイドアシスタンス契約の対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。Model X を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。バッテリーは平均して 1 日 1% の割合で放電します。Model X が充電されない状態が長期間続くような場合もあります(たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間(14 日)充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると、バッテリーを恒久的に損傷するおそれがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 5% に低下すると、Model X は低消費電力モードに入ります。このモードでは、1 か月当たりの放電速度をおおよそ 4% にまで下げるため、バッテリーは車載電子回路への電源供給を停止します。低消費電力モードに入った場合は、バッテリーを損傷しないように、2 か月以内に Model X を充電することが重要です。

注: 低消費電力モードに入っていると、補助 12V バッテリーの充電は停止し、12V バッテリーは 12 時間以内に完全放電します。そのような状態になった

場合、ジャンプスタートさせるか、12V バッテリーを交換しないと充電できなくなるおそれがあります。その場合はテスラにご連絡ください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model X を 60° C 超または -30° C 未満の環境に 24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

省エネ機能

Model X Model X には省エネ機能があり、使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。「**コントロール**」>「**スクリーン**」>「**省エネモード**」の順にタッチします。航続距離を最大限に伸ばし、かつエネルギーを削減することについての詳細情報は **航続距離を最大限に伸ばす** - 72 ページを参照してください。

バッテリーに関する警告と注意事項

⚠ 警告: バッテリーには、オーナーまたはテスラにより認定されていないサービス技術者が整備できる部品はありません。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。必ずテスラに連絡して、バッテリーの修理を依頼してください。

⚠ 注意: バッテリーの充電レベルが 0% に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、12V バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、Model X を充電または使用できない場合があります。Model X を長期間にわたって充電せずに放置すると、恒久的にバッテリーを損傷することもあります。Model X を充電できない場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。

⚠ 注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラントフィラーキャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告がインストールメントパネルに表示された場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。

⚠ 注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

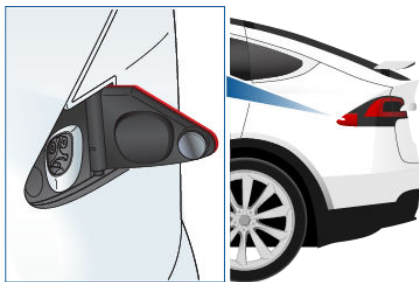
充電ポートは Model X の左側に位置し、リア テール ランプ アセンブリの一部になっているドアの後ろにあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように駐車します。

Model X がアンロックされ、パーキングにシフトされている（または認識されたキーが範囲内にある）時に、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- タッチスクリーン上部のステータス バーにある充電アイコンをタッチして、{充電ポートを開く}を押します。
- キーのリアトランクボタンを 1〜2 秒間長押しします。
- Model X がアンロックされているか、認識されたキーが近くにある状態で、充電ポート ドアを押します。



注：充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

⚠ 注意：充電ポートを無理に開けようとしなくてください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電上限と充電電流を変更します（[充電設定の変更](#) - 146 ページを参照）。

公共の充電スタンドで充電するには、スタンドの充電コネクタにアダプターを接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクタを使用している場合は、先にそれを電源コネクタに挿してから Model X につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく差し込まれている場合に Model X が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注：Model X に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、コンセントからエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model X の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model X が消費するエネルギーはバッテリーではなく電源コンセントから取り込まれます。

⚠ 注意：充電ケーブルのコネクタ側を車両の上にと落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電中

充電中は、充電ポート ライトが緑色に点滅し、インストゥルメント パネルに充電状況が表示されます。充電レベルがフルに近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注：Model X がロックされていると、充電ポート ライトは点灯しません。



充電ポートライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。インストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。したがって、充電中に音が聞こえるのは正常な状態です。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（例えば、暖かい季節に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たない場合があります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「**充電を停止**」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、Model X のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す

1. Tesla コネクターのボタンを長押ししてラッチを解除します。また、充電画面から「**充電を停止**」をタッチすることもできます。（**充電設定の変更** - 146 ページを参照）。
2. コネクターを充電ポートから引き抜きます。
3. 充電ポート扉を押して閉めます。

注: Model X が電動式の充電ポート扉を装備している場合は、充電ケーブルを外すとそれが自動的に閉じます。

注意: Tesla では、Model X を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電ポート ライト

- **白:** 充電ポートが開いています。Model X 充電準備ができていますが、コネクターが挿入されていないか、ラッチが外されコネクターが取り外せる状態になっています。
- **青色:** Model X コネクターがプラグインされましたが充電が開始していないことを検知しました。Model X が充電の準備をしているか、特定の時間に充電を開始する予定があるかのいずれかの状態です。
- **緑色点滅:** 充電中。Model X の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- **緑色点灯:** 充電完了。
- **オレンジ色点灯:** コネクターが完全に差し込まれていません。コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込んでください。
- **オレンジ色点滅:** Model X は電流を減少して充電しています（AC 充電のみ）。
- **赤色:** 故障が検出され、充電が停止しました。インストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンで故障メッセージを確認してください。

充電設定の変更

充電ポート扉が開いていると、タッチスクリーンに充電設定画面が表示されます。

充電設定画面を表示するには、タッチスクリーン最上部のバッテリーアイコンにタッチするか、「**コントロール**」>「**充電中**」（「コントロール」画面の右上）の順にタッチします。

注: 以下の図は説明目的で掲載されており、ソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって若干異なる場合があります。



注: Tesla スーパーチャージャーで充電し、対応した有料高速充電をお使いになった場合、充電画面には前回と現在のスーパーチャージャー充電の情報を表示します（**スーパーチャージャー使用料と超過時間料金** - 149 ページを参照）。

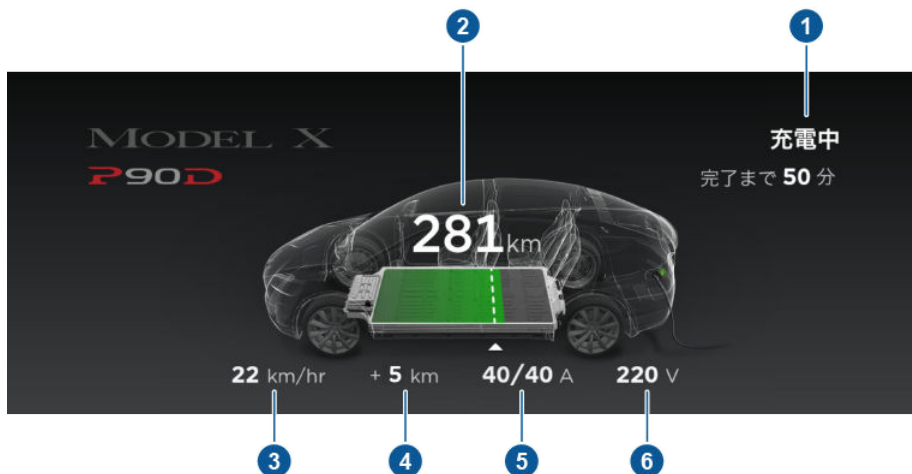
1. 充電ステータス メッセージ (たとえば「予約充電」、「充電中」) はここに表示されます。
2. 充電制限を調整するには、**充電制限の設定**をタッチして、矢印をドラッグして充電制限を変更します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。
3. 特定の場所の予約充電 Model X をパーキングにいれ、現在の場所での充電開始時刻を設定します。予定時刻に指定場所にある Model X に充電ケーブルが接続されていない場合は、予定時刻経過後 6 時間以内に充電ケーブルを接続するとすぐに充電が開始されます。予定時刻から 6 時間経過した後で充電ケーブルを接続した場合、充電は翌日の予定時刻になるまで開始されません。この設定を変更するには、「**充電開始**」または「**充電を停止**」にタッチします (第 4 項を参照)。充電予定時刻を設定すると、Model X のインストールメント パネルとタッチスクリーンに設定された時刻が表示されます。
4. タッチして充電ポート扉を開けるか、充電を開始 (または停止) します。
5. 1 時間当たりの充電速度、この充電セッションでこれまでに達成された走行距離 (またはエネルギー) の推定増加量、接続された電源から供給される電流/利用可能な電流、充電ケーブルから供給される電圧。
6. あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、上下矢印にタッチして電流を変更します (たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります)。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model X はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

注：入力電力の変動により、Model X が充電場所の電流設定値を自動的に低下させた場合は (**充電ステータス** - 148 ページの注記を参照)、問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。



充電ステータス

以下の図は説明目的で掲載されており、ソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって若干異なる場合があります。



1. 充電ステータス情報。たとえば、Model X が充電中の場合は、現在選択されている充電レベルで充電したときのフル充電までの残り時間が表示されます。充電セッションが予定されると、充電開始される時間を表示します。
2. 推定航続可能距離（エネルギー）。距離表示とエネルギーのパーセント表示のいずれかを選ぶには、「コントロール」>「設定」>「言語と単位」>「エネルギーと充電」の順にタッチします。

注：バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

3. 1 時間当たりの充電量。
4. 現在の充電で増加した推定航続距離（またはエネルギー）。
5. 接続した電源から供給されている/利用可能な電流。（[充電設定の変更](#) - 146 ページを参照）。
6. 充電ケーブルから供給されている電圧。

注：Model X が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25% 減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流低減は、問題が外的に存在する場合（例えば、家庭用配線システム、レセプタクル、アダプタまたはコードが定格電流容量を満たすことができない場合）の堅牢性および安全性を向上させます。しかし、Model X が、ある場所の入力電力が自動的に下がると、その充電場所の入力電力が下がったまま保存されるのでご注意ください。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla は、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

スーパーチャージャー使用料と超過時間料金

Tesla のスーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に有料高速充電の情報が表示されます。この情報には、所在地、充電開始時間およびその充電に要する充電の推定費用が含まれます。充電を停止すると、最終的にかかった費用が次にスーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。無料充電が適用される場合、費用はゼロと表示されます。

Tesla スーパーチャージャーで充電するとき、超過時間料金が発生する場合があります。超過時間料金は、充電が完了したら運転手に速やかに車両をスーパーチャージャーから移動してもらうことを目的にしており、充電場所のスーパーチャージャーが半分以上使用されているときに適用されます。Tesla モバイルアプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や無料クレジットの残高の確認や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。



定期サービス

ご利用の Model X の信頼性と効率を長期にわたって維持するには、定期的なメンテナンスが重要となります。

適正なタイヤ空気圧を維持し、Model X の走行期間が 12 ヶ月、または走行距離が 20,000 km に達するたびに Tesla の定期メンテナンスを受けてください。また、毎日および毎月により下記のようなチェックを行うことも重要です。

Model X は Tesla 認定の整備士によって実施されることが推奨されます。Tesla 認定の整備士以外が行ったメンテナンスまたは修理で生じた損傷または故障は保証の対象となりません。

毎日のチェック

- インストゥルメント パネル、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックしてください (**タイヤの手入れと保守** - 151 ページを参照)。
- 外装のライト、ホーン、方向指示ライト、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。
- シートベルトをチェックします (**シートベルト** - 26 ページを参照)。
- Model X の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっても (空調システムの除湿プロセスによる)、異常ではありません。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します (**ウォッシャー液の補充** - 161 ページを参照)。
- 空調システムが正しく動作するかを確認します (を参照)。

警告: 液位の大幅または急激な低下、あるいはタイヤの局部的な摩耗に気づいたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

定期液交換

バッテリー冷却剤やブレーキフルードは交換したり補充したりしないでください。液は Tesla サービス技術者が以下の間隔で定期的に交換いたします。

- ブレーキフルード: 2 年ごとあるいは 40,000 km のいずれか早い方。
- バッテリー冷却剤: 4 年ごとあるいは 80,000 km のいずれか早い方。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

高電圧安全性

お客様の Model X は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model X に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

警告: Model X の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないようにしてください。冷却ファンの中には、Model X がパワー オフの状態でも動作するものがあります。

警告: 自動車で使用される液体 (バッテリー酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など)の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。

タイヤ空気圧の保守

タイヤと荷重情報ラベルに印刷されている空気圧が、タイヤ自信に記載されている空気圧とは異なる場合でも、トレーラーを牽引している時でない限り、このラベルに表示される空気圧に従ってください。「タイヤと荷重情報」ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転者の側のドアを開くと確認することができます。

トレーラーを牽引している時は、タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧とは異なりますのでご注意ください。その代り、オーナーズマニュアルのを参照してください（[牽引とアクセサリ](#) - 76 ページを参照）。



1 つまたは複数のタイヤの空気圧が低すぎるまたは高すぎる場合、インストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧を調整してもすぐには消えません。タイヤを推奨空気圧にした後、タイヤ空気圧表示灯を消すタイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させるには、時速 25 km を超える速度で 10 分間より長く運転する必要があります。

Model X の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、TPMS の故障が検出されています（[TPMS の不具合](#) - 155 ページを参照）。

、ステアリングホイールの右または左のボタンを使用して**車両ステータス**を表示するよう選択すると、インストゥルメントパネルにタイヤ空気圧を表示させることができます（[ハンドルの左ボタンを使用する](#) - 45 ページまたは[ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 46 ページを参照）。また、タイヤ空気圧を BAR また PSI を使用して表示させたい場合は、「コントロール」>「設定」>「言語と単位」>「タイヤ空気圧」の順にタッチしてください。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model X が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. バルブキャップを取り外します。
 2. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押し付けます。
 3. 必要に応じて、推奨空気圧にするために空気を充填または放出します。
- 注:** バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を逃がすことができます。
4. タイヤゲージを使用してタイヤの空気圧を再度確認してください。
 5. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
 6. ほこりが侵入しないよう、バルブキャップを再び取り付けます。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

⚠ 警告: タイヤの低空気圧は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。

⚠ 警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1.6 kms ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

⚠ 警告: Tesla 修理キットに用意されているタイプ以外のタイヤシーラントは使用しないでください。他のタイプを使用すると、タイヤ空気圧センサーが故障する可能性があります。Model X にタイヤ修理キットが含まれていない場合は、Tesla から購入できます。



タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

警告：タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model X を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはブライ / コード構造の露出がないことを確認してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 3 mm 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいので、使用しないでください。トレッドの深さが 4 mm 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model X 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケーターが鑄込まれたタイヤが取り付けられています。トレッドが 3 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪郭のように見えるウェア インジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

使用されているタイヤは非対称パターンで前後でサイズも異なるため、Model X のタイヤはローテーションすることができません。

ホイールバランスが悪い場合（ステアリングホイールからの振動によって気付くことがあります）は、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均でない場合（タイヤの片側のみ摩耗）または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。

注：2 つのタイヤのみを交換する場合は、常に新しいタイヤを後部に取り付けてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永久的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model X を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注：場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク（6 mm を応急修理することもできます。これにより、Model X を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告：パンクでタイヤの空気が抜けていなくても、パンクしたタイヤで運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model X を高温下で長期間駐車したままにすると、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model X を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

駐車中にフラットスポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておいてください。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急に曲がったり急ブレーキを避ける。
- 陥没している道路、障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは 6 年ごと、必要に応じてはそれ以前に交換するようにしてください。

ホイールとタイヤは、車両のハンドリング特性に合うように組み合わせられています。交換用タイヤは、元の仕様と適合する必要があります。指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度（[タイヤのマーキングについて](#) - 173 ページを参照）が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

4 本すべてのタイヤを一度に交換することが理想的ですが、できない場合は、タイヤ 2 本を交換し、古いタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールのバランス調整を行ってください。

ホイールを交換する際は、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）をリセットして、タイヤの空気圧が高すぎるまたは低すぎるときに確実に警告が発信されるようにする必要があります（[TPMS センサーの自動リセット](#) - 155 ページを参照）。

Model X に取り付けられている元のホイールおよびタイヤの仕様については、[ホイールとタイヤ](#) - 172 ページを参照してください。

⚠ 警告：安全のため、元の仕様と一致するタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

⚠ 警告：車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール（[タイヤのマーキングについて](#) - 173 ページを参照）に表記されています。

非対称タイヤ

Model X のタイヤは非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールに OUTSIDE と表示されています。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



⚠ 警告：タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

ラグナットカバーの取り外しと取り付け

Model X にラグナットカバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにラグナットカバーを取り外す必要があります。

ラグナットカバーの取り外し方：

1. Tesla の「T」のベース部分にある穴にラグナットカバー ツール（グローブボックス内に配置されています）にの湾曲部分を挿入します。



2. ラグナットカバー ツールがラグナットカバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
3. 湾曲した部分がラグナットカバー中央に触れるように、ラグナットカバー ツールをひねります。
4. ホイールからラグナットカバーが外れるまで、ラグナット ツールをしっかりと引っ張ります。



ラグナットカバーを取り付けるには、カバーを所定の位置に合わせ、完全にはまるまで押し込みます。



季節別タイヤ保管

サマー タイヤ

Model X に最初から高性能夏季用タイヤまたはオールシーズンタイヤのいずれかが装着されている場合があります。これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するには作られていません。Tesla は低温下、あるいは雪や氷が存在する路面での運転にはスタッドレスタイヤの使用を推奨しています。ウィンタータイヤが装着されていない場合は、Tesla に連絡し、推奨されるタイヤをご確認ください。

⚠ 警告：低温下、あるいは雪や氷の存在する路面では、サマータイヤは十分なトラクションを発揮しません。お客様の Model X がデュアルモーター搭載仕様の場合であっても、安全性の維持と十分な性能発揮のためには、冬期用の適切なタイヤ選びを行い、装着することが重要です。

オール シーズン タイヤ

ご購入直後の Model X には元々オール シーズンタイヤが装備されている場合があります。これらのタイヤは年間を通じて適切なトラクションを発揮できるように設計されていますが、雪水下ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない場合があります。オール シーズン タイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」(mud and snow) と表記されています。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装備する際は、必ず 4 輪一組で同時に装備してください。スタッドレスタイヤは、4 つの車輪とも同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンを使用してください。Tesla に連絡し、スタッドレスタイヤに関する推奨事項を確認してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。

低音での運転

タイヤの性能は低周囲温度では低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることもあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪の交じる状況でのトラクションを高めるための Maggie Group Trak Special LT51 タイヤチェーンを試験し、認定しています。このチェーンは、リアの 19 または 20 インチタイヤにのみ装着できます。22 インチ タイヤおよび前輪には使用しないでください。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤチェーンを取り付ける際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。チェーンはできるだけしっかりと取り付けてください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- ゆっくり運転します。時速 48 km を超えないようにしてください。
- Model X に重量物を積載しないでください (重量物はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注：タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

⚠ 注意：非推奨タイヤチェーンの使用、サイズ違いのタイヤチェーンの使用は、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキラインを損傷する可能性があります。非推奨タイヤチェーンの使用により発生した損傷は、保証の対象外です。

⚠ 注意：22 インチのタイヤが装備された Model X にチェーンを付けたり、前輪にタイヤチェーンを使用しないでください。

⚠ 注意：チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model X との接触を示す異常なノイズが聞こえたらただちに停車して、確認してください。

タイヤ空気圧監視

タイヤが冷えている状態、および運転席側ドアピラにある「タイヤと荷重載情報」ラベルに記載された推奨空気圧の状態、毎月点検する必要があります(タイヤ空気圧の保守 - 151 ページを参照)。車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

追加の安全機能として、この車両には TPMS が装備されています。TPMS は、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低すぎる、または高すぎる場合に、インストゥルメントパネルに警告(タイヤ空気圧警告)を表示します。これに応じてインストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧インジケータがタイヤ空気圧の警告を表示する場合は、ただちに停車してタイヤを点検し、適正な空気圧に調整してください(タイヤ空気圧の保守 - 151 ページを参照)。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、航続距離とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。



Model X が TPMS に不具合を検出する場合、Model X の電源を入れるたびにこのインジケータが 1 分間点滅します。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。



警告: TPMS は、タイヤ空気圧の手動による点検およびタイヤの定期検査などのタイヤの適切な保守に代わるものではありません。TPMS がインストゥルメントパネル上にタイヤ空気圧の警告を表示していない場合でも、常に適正なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。

TPMS センサーの自動リセット

1 個または複数のホイールを交換した後(タイヤ交換やローテーションは含まれません)、TPMS センサーをタイヤ空気圧警告を正確にするためにリセットします。時速 25 km 以上で 10 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。

注: ホイールを交換した後時速 25 km で 10 分より長く走行するまでは、誤ったタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケータが頻繁に表示される場合は、Tesla に連絡してタイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でがタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

TPMS の不具合

Model X には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障インジケータも搭載されています。



TPMS 故障インジケータは、タイヤ空気圧インジケータ ライトに組み込まれています。システムが故障を検出すると、Model X の電源を入れてから約 1 分間の間インジケータが点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。TPMS 故障インジケータがオンの状態では、タイヤ空気圧の異常を通常通りに検出できない場合があります。

TPMS の故障は、交換用または代替タイヤまたはホイールの取り付けを含む、TPMS の正しい作動を阻害するさまざまな要因によって発生します。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障インジケータをチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。できるだけ早く Tesla に連絡し、修理を依頼してください。



外装のクリーニング

腐食性物質（鳥のフン、樹液、虫の死骸、コーラター、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、塗装の損傷を防ぐためにただちに除去してください。Model X の次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコーラターや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

Model X の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 徹底的に洗い流す

洗車する前に、ホースを使用してボディに付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイールアーチやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下に付着している道路塩をすべて除去します。

2. 手洗い

きれいでやわらかい布と中性の良質のカーシャンプーを加えた冷水またはぬるま湯を使用して Model X を手洗いします。

3. 清潔な水ですすぐ

洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。

4. 完全に乾燥させてガラスの外側を拭く

洗車とすすぎが終わったら、セーム革で水分をしっかりと拭き取ります。

自動車のガラスクリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

⚠ 注意：フロントガラスには水処理液を使用しないでください。はつ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

⚠ 注意：熱湯や洗剤を使用しないでください。

⚠ 注意：直射日光の当たる場所では洗わないでください。

⚠ 注意：高压洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model X の表面から 30 cm 以上離してください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。

⚠ 注意：ホースの水をウィンドウシール、ドアシール、ボンネットシールに直接当てたり、ホイールの開口部を通してブレーキ部品に当てたりしないでください。

⚠ 注意：洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。

⚠ 注意：自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model X の表面に（ブラシなどが）一切触れないで洗車します。他のタイプの洗車機を使用して車両が損傷しても保証の対象にはなりません。

⚠ 注意：ワイパーの損傷を避けるために、Model X を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。

⚠ 注意：化学物質系のホイールクリーナーを使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。

⚠ 注意：高压洗浄機をカメラやパーキングセンサー（装備している場合）に使用しないでください。レンズの表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤でセンサーやカメラのレンズをクリーニングしないでください。

⚠ 警告：Model X を充電している間、充電ポートに強い圧力の液体を絶対にかけないでください（高压洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。一般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

レザーシート

レザーは染料が付着しやすく、そのため、特に明るい色のレザーは変色するおそれがあります。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。洗剤や市販のレザークリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

ポリウレタンシート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。クリーニングした後は、自然乾燥してください。

布シート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。必要に応じてシートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

タッチスクリーンとインストゥルメントパネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用してタッチスクリーンとインストゥルメントパネルを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）を使用しないでください。濡れた布や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。ボタンを作動させて設定を変えてしまうことがないように、タッチスクリーンを清掃するときはクリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「表示」>「クリーンモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。

クロームや金属の表面

光沢剤、研磨クリーナー、かたい布は、クロームや金属の表面を傷つけるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

-  **注意：**溶剤（アルコールを含む）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。
-  **注意：**静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルを損傷する恐れがあります。
-  **警告：**エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。
-  **警告：**水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。
-  **警告：**化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があり、危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。



- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン (Tesla から購入可能) を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスをかける前に、タッチアップペンを使用します。

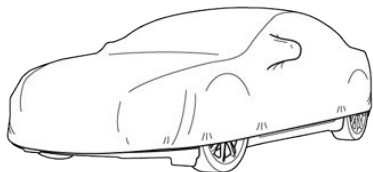
石による欠け、割れ、傷を修復します。ボディの修理は、Tesla 認定のボディショップ以外では行わないでください。認定ボディショップのリストについては、Tesla にお問い合わせください。

注意: カッティングペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model X を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla から購入できます。[部品とアクセサリ](#) - 163 ページを参照してください。



注意: Model X に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、カーペットのクリーニングを簡単にするために、Tesla 純正品のフロアマットを使用してください([部品とアクセサリ](#) - 163 ページを参照)。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

警告: マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマット

やその他のカバーの上には敷かないでください。

とワイパーの点検と交換

ワイパー ブレードに触りやすくするため、ワイパーをオフにし、Model X をパーキングにシフトしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「サービス モード」>「オン」の順にタッチします。

注: Model X をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ワイパー ブレードのエッジを定期的に点検、清掃し、ゴムにひび割れや裂け目、表面の荒れが生じていないか確認してください。損傷している場合は、Tesla サービスに連絡しブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパー ブレードが汚れていると、ワイパー ブレードの効果が損なわれる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 非研磨系のガラス クリーナーでフロントガラスをクリーニングします。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。イソプロピル (消毒用) アルコールまたはウォッシャー液でブレードを拭きます。

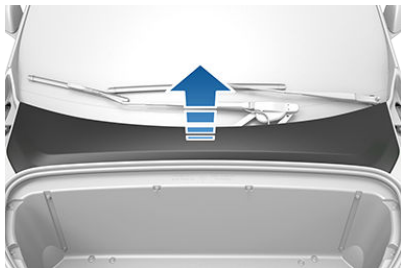
クリーニング後もワイパーの効果がいない場合は、ワイパーを交換する必要があるかもしれません。ワイパーの洗浄システムはワイパー ブレードと一体化しているため、ワイパー ブレードだけを交換することはできません。ワイパー交換については、Tesla サービスにお問い合わせください。



メンテナンス パネルの取り外し

フルードのレベルを確認するときは、メンテナンスパネルを取り外します。

1. フードを開きます。
2. メンテナンス パネルを上に取り上げ、それを留めているクリップを外します。



注意：メンテナンス パネルはフロント トランクを水から保護する役割を果たしています。メンテナンス パネルを再び取り付けるときは、完全にに取り付けられていることを確認してください。

バッテリー冷却剤の確認

冷却システムのフルード量が推奨レベルより低下すると、インストールメントパネルに警告メッセージが表示されます。その場合は、周囲の安全を確認して Model X を停車させ、Tesla にご連絡ください。

フルードレベルチェック

Tesla は定期メンテナンスのときにバッテリー冷却剤の量をチェックします。

フィルターキャップを取り外したり、フルードを追加したりしないでください。その場合は、保証の対象にならない損傷をきたすことがあります。

バッテリー冷却剤を補充しないでください

警告：バッテリー冷却剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。危険です。いかなる状況でも、自分でフィルターキャップを取り外したり、クーラントを補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告がインストールメントパネルに表示された場合は、直ちに Tesla にご連絡ください。

バッテリーの性能と寿命を最大限にするために、冷却システムでは特定に混合される G-48 エチレングリコール冷却剤 (HOAT) を使用しています。冷却剤の詳細な情報については、Tesla にお問い合わせください。

ブレーキフルードのチェック

警告：ブレーキ ペダルの遊びが大きくなったリブレーキフルードが大幅に減ったりした場合は、ただちに Tesla に連絡してください。その状態で運転すると、制動距離が長くなったりブレーキが完全に壊れたりするおそれがあります。



ブレーキ リザーバ内のフルード レベルが推奨レベルより低下すると、インストールメントパネルの「ブレーキ」インジケーターが警告を発します。運転中にブレーキの警告が表示された場合は、周囲の安全を確認しながらゆっくりブレーキを踏んで停車してください。そのまま運転を続けしないでください。ただちに Tesla にご連絡ください。

フルードレベルチェック

Tesla は定期メンテナンスのときにブレーキフルードのレベルをチェックします。

ブレーキフルードの補充

ブレーキフルードを補充しないでください。Model X の定期点検時に Tesla がブレーキフルードを補充します。以下の説明は今後の参考のためにのみ記載されています。

1. リザーバにゴミが入らないように、取り外す前にフィルターキャップを掃除します。
2. キャップを回して取り外します。
3. 適切なブレーキオイルを使用してリザーバを MAX マークまで補充します。
4. フィラー キャップを元に戻し、しっかりとめられていることを確認します。

警告：必ず密封された未開封の容器に入っている新しいフルードを使用してください。フルードが水分を吸収し、ブレーキ性能が低下するため、使用済みのブレーキフルードや開封済みの容器に入っているブレーキフルードは使用しないでください。

警告：ブレーキフルードには強い毒性があります。容器を密封して、お子さまの手の届かないところに保管してください。ブレーキフルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

注意：ブレーキフルードは塗装面を損傷します。こぼした場合は、吸収性のある布でただちにフルードを吸い取り、カーシャンプーと水を混ぜたもので液が付着した部分を洗い流してください。

ウォッシャー液の補充

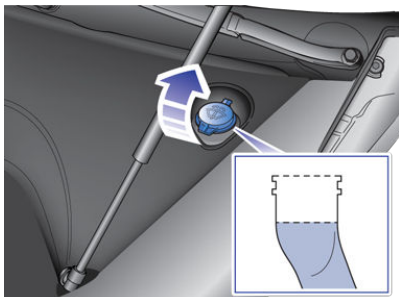
お客様ご自身で補充できるフルードは、フロントトランク下側にあるウォッシャー液リザーバのみです。ウォッシャーフルードのレベルが低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

- ⚠ 注意：**はつ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、キー音やその他の騒音の原因になることがあります。

定期的にウォッシャーを動作させて、ノズルに詰まりがなく、ウォッシャー液が正しい方向に出ることを確認してください。ワイパーとウォッシャー・62ページを参照してください。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィラー キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。



4. 給水口のすぐ下にウォッシャー液が来るまで、リザーバに補充してください。
5. フィラー キャップを元に戻します。

注：国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model X がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

- ⚠ 注意：**どのような状況でも、ウォッシャー液以外のフルードリザーバを点検したり液を補充したりする必要はありません。ウォッシャー液の横に 2 つのフルードリザーバがありますが、メンテナンス パネルの下です。通常は起こらない、インストゥルメントパネルでいずれかのリザーバの液レベル低下を知らせるメッセージが表示された場合は、周囲の安全を確認しながら Model X を停車させ、Tesla にご連絡ください。

- ⚠ 注意：**ウォッシャー液をボディ パネルにこぼさないように注意してください。それ以上の荷物を積むと、車に損傷を与える可能性があります。ただちに液を拭き取り、液が付着した部分を水で洗い流してください。

- ⚠ 警告：**気温が 4° C 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられることがあります。

- ⚠ 警告：**フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

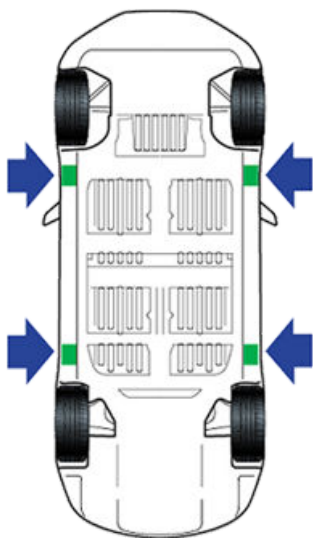


ジャッキ アップの手順

Model X の引き上げは以下の手順で行います。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、以下の引き上げ作業の要点が理解されていることを確認してください。

1. Model X をリフト ポストの間に置きます。
2. Model X にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「サスペンション」の順にタッチします。
 - ブレーキペダルを踏んでから「極高」をタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「ジャッキモード」にタッチしてセルフレベルリングを無効にします。
3. ファルコンウィングドアを閉じてください。
4. リフトのアームパッドを図に示す指定されたボディリフトポイントの下側に当ててください。

⚠ 警告：リフトアームパッドを赤で示すようにバッテリーの下側当てないでください。



5. リフトのアームパッドの高さと位置を適切に調整します。
6. 助手に手伝ってもらいリフトを上げ、アームパッドが正しい位置にとどまることを確認します。

注：ジャッキモードは Model X が時速 7 km を超える速度で走行すると解除されます。

注：車両重量が何かの物体に支えられている（バンパーが縁石に乗り上げているなど）場合など、ジャッキモードが予期せず有効になる場合があります。

⚠ 警告：Model X にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。引き上げやジャッキアップを行うときは、Model S をジャッキモードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。スマートエアサスペンションを無効にしておかないと、Model X がセルフレベルリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

⚠ 警告：充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model X を持ち上げないでください。

⚠ 警告：正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 注意：バッテリーの下から引き上げないでください。リフトアームパッドは専用ボディリフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model X で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model X を損傷した場合は保証対象にはなりません。

部品、アクセサリ、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla からは Model X の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリは、Tesla ストアまたは www.tesla.com/shop のオンラインでご購入いただけます。

Model X に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任は負いません。

⚠ 警告：無認可の部品/アクセサリの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、Model X の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

⚠ 警告：無認可のアクセサリの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

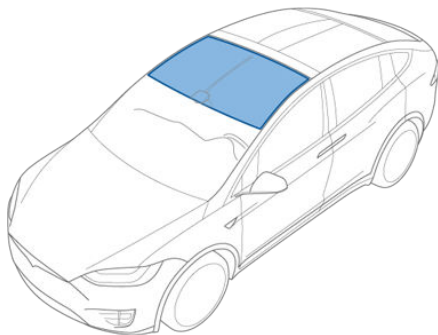
Model X が衝突した場合は、必ず Tesla の正規部品で修理できるように Tesla にご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

RFID トランスポンダーの利用

Model X の車内に RFID トランスポンダー (多くの自動料金所システムで使用される) を取り付けるときは、フロント ガラス最上部に図のようにトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。

注：防水トランスポンダーをフロント ライセンスナンバープレート。

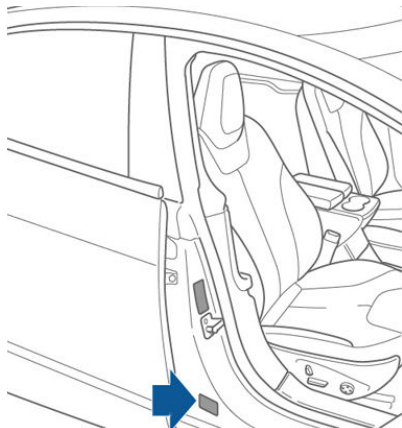




車両識別番号

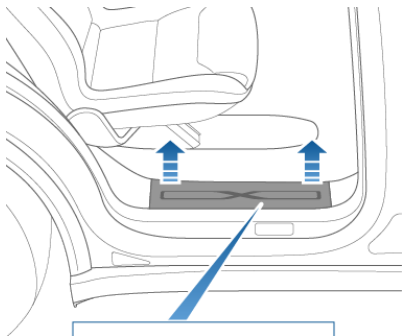
VIN は以下の場所に表示されています。

- タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチします。ポップアップ ウィンドウに VIN が表示されます。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- ドア ビラーの法定プレートに印刷されています。運転席側のドアを開くと見えます。



- 車両の助手席側リア運転席側ドアのシル パネル下のシャーシに刻印されています。シル パネルを取り外すには、平らで刃のついた工具を使って慎重に上に引き上げます。

⚠ 注意： 損傷の可能性があるため、VIN を見るためにシル パネルを取り除くことはお勧めしません。このパネルは、壊れやすいクリップで固定されています。シル パネルを取り除くことによって生じた損傷は保証対象にはなりません。

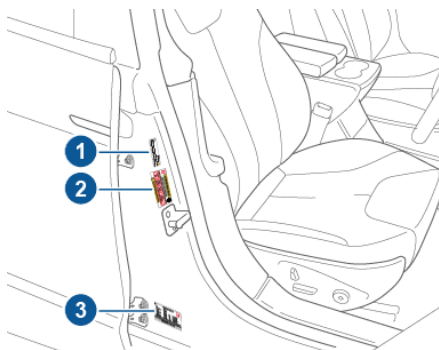


5YJXCAE44GF000000

積載量ラベル

Model X が安全に運搬できる重量を知ることは重要です。この重量は車両の積載容量といい、すべての乗員、積載物、および Model X の製造後に追加されたすべての付加装備の重量を含みます。

Model X には、安全に運搬可能な重量を記載した 1 つ以上のラベルが中央のドア ピラーに貼り付けてあります。これらのラベルは、フロント ドアが開いているときに見えます。



1. けん引ラベル（装備されている場合）
2. タイヤと荷重載情報ラベル
3. 法定プレート

注：Model X では、オプションの牽引パッケージが装備されている場合のみ、牽引を利用できます。

⚠ 警告：Model X に過積載すると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model X が損傷する可能性があります。

⚠ 注意：リア カーゴエリア（下側トランク コンパートメント上部）に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランク コンパートメントに 60 kg (175 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

⚠ 注意：Model X に大量の液体を保管することは絶対に避けてください。液体を大量にこぼすと、電気部品が故障する原因となります。

牽引ラベル

牽引パッケージが装備されている場合、トレーラーを牽引する際に適用すべきタイヤ空気圧についてはオーナーズ マニュアルを参照せよという指示が牽引用ラベルに記載されています。タイヤと荷重載情報ラベルに印刷されているタイヤ空気圧を適用しないでください。

⚠ IMPORTANT!

For towing and high speed driving, please refer to  owner's manual for tire inflation pressure requirements.

注：Model X では、オプションの牽引パッケージが装備されている場合のみ、牽引を利用できます。タイヤ空気圧情報は、その他けん引に関連する情報と合わせて、オーナーズ マニュアルの運転セクションにある「トレーラーの牽引」トピック内に記載されています。



タイヤと荷重情報ラベル

タイヤと荷重情報ラベルは以下の情報を記載しています。

- ・ 車両の最大座席数。
- ・ 車両の最大可搬重量。
- ・ 元のタイヤのサイズ。
- ・ 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧 (冷間時)。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

タイヤと荷重情報			
定員	計5名	前席2名	後席3名
乗客と積載物の合計重量は絶対に下記を超えないこと			
タイヤ	フロント	リア	予備タイヤ
標準タイヤサイズ			適用外
タイヤ空気圧 (冷間時)			適用外

詳細はオーナーマニュアルを参照

将来異なるタイヤを使用しても、このラベルを変更しないでください。

注: Model X の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- ・ GVWR - 車両総重量。Model X の最大許容総重量。この値は、Model X、すべての乗員、液体および積載物の重量として計算されます。
- ・ GAWR - 前後両軸の定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

TESLA MOTORS, INC.	
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
XXXX kg	VIN
1- XXXX kg	GVWR
2- XXXX kg	GAWR (Front)
	GAWR (Rear)
PAINT CODE: XXXX	

- 注意:** 損傷を防止するため、Model X に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

積載制限の計算

1. 「タイヤと積載情報」ラベル上にある「乗員と積載物の重量の合計が xxx kg を超えないようにしてください。」の記載を見つけます。
2. 乗車するすべての乗員の総重量を求めます。
3. 乗員の総重量を xxx kg から引きます (ステップ 1 を参照)。

4. 差し引いた結果の重量が積み込める積載物の重量です。例えば、「xxx」の重量が 635 kg の場合に、1 人 68 kg の人が 5 人乗車すると、最大積載重量は 295 kg (635 - 340 (5 x 68) = 295 kg) となります。
5. 車両に積み込む積載物の総重量を求めます。その重量がステップ 4 で算出した重量を超えてはいけません。

- 警告:** 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。衝突事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

積載制限計算の例

Model X が運べる積載物の重量は、乗員の数と体重に応じて変わります。以下は、体重が 68 kg の人が乗車すると仮定した場合の積載量制限の計算例です。乗員の体重の増加または減少により、積み込める積載物の重量が減少または増加します。

運転者と 1 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	954 lbs (433 kg)
乗員の体重を減算する (2 x 68 kg/150 ポンド)	300 lbs (136 kg)
利用可能な積載物重量	654 lbs (297 kg)

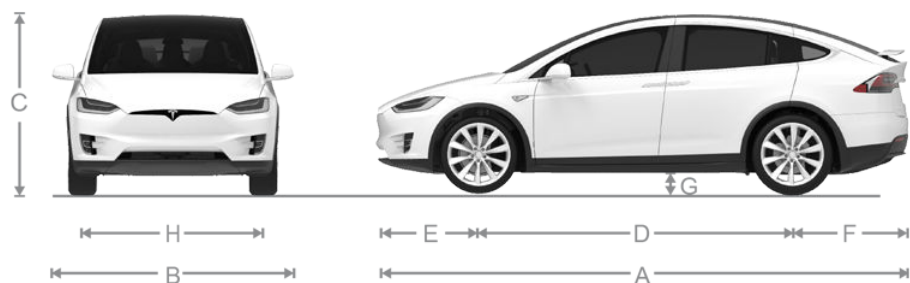
運転者と 4 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	954 lbs (433 kg)
乗員の体重を減算する (5 x 68 kg/150 ポンド)	750 lbs (340 kg)
利用可能な積載物重量	204 lbs (93 kg)

積載物の重量は、前と後ろのトランクに分散されるようにしてください。

- 注意:** リア カーゴエリア (下側トランク コンパートメントの上半分) に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランク コンパートメントに 60 kg (135 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

外形寸法



A	全長	199 in	5,052 mm
B	全幅 (ミラー含む)	89 in	2,272 mm
	全幅 (ミラー折りたたみ時)	82 in	2,017 mm
	全幅 (ミラー含まず)	79 in	1,999 mm
C	全高	66 インチ*	1,684 mm*
D	ホイールベース	117 in	2,965 mm
E	オーバーハング - フロント	39 in	989 mm
F	オーバーハング - リア	43 in	1,098 mm
G	最低地上高：		
	標準、スキー付き	7 in	183 mm
	標準、スキーなし	7 in	211 mm
	最高、スキー付き	8 in	223 mm
H	トレッド - フロント	67 in	1,711 mm
	トレッド - リア	67 in	1,723 mm
*値は概算値です。寸法は車両の構成やその他の要因によって変わります。			

インテリア寸法

室内高	フロント リア サード	41.7 in 40.9 in 37.1 in	1059 mm 1039 mm 942 mm
足元スペース	フロント リア サード	40.3 38.4 in 32.7 in	1023 mm 975 mm 831 mm
肩周りスペース	フロント リア サード	60.7 in 56.8 in 40 in	1542 mm 1442 mm 1016 mm



腰周りスペース	フロント リア サード	55.6 in 59 in 38.5 in	1412 mm 1498 mm 978 mm
---------	-------------------	-----------------------------	------------------------------

貨物量

	フロントトランク	リア*	合計
7 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2166 L (76.5 立方フィート)**	2353 L (83.1 立方フィート)
6 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2002 L (70.7 立方フィート)**	2189 L (77.3 立方フィート)
5 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2299.5 L (81.2 立方フィート)**	2486.5 L (87.8 立方フィート)
* 1 列目シート後部の最大貨物容量リア トランクの 357 L (12.6 立方フィート) 貨物部分を含む (装備されている場合は、3 列目シート後側部分)			
** 2 列目シートは最前位置に置かれる、および/または折りたたまれています。			

重量

車両重量* - 60D/75D	5,185 lbs	2,352 kg
車両重量* - 90D	5,267 lbs	2,389 kg
車両重量* - P90D	5,377 lbs	2,439 kg
車両重量* - 100D	5,421 lbs	2,459 kg
車両重量* - P100D	5,483 lbs	2,487 kg
GVWR** - 60D/75D	6,581 lbs	2,985 kg
GVWR ** - 90 D	6,658 lbs	3,020 kg
GVWR ** - 90 D	6,768 lbs	3,070 kg
GVWR** - 100D	6,788 lbs	3,079 kg
GVWR** - P100D	6,878 lbs	3,120 kg
車両総重量配分 - 60D/75D	フロント: 2,890 lbs リア: 3,690 lbs	フロント: 1,311 kg リア: 1,674 kg
車両総重量配分 - 90D	フロント: 2,977 lbs リア: 3,681 lbs	フロント: 1,350 kg リア: 1,670 kg
車両総重量配分 - P90D	フロント: 2,976 lbs リア: 3,792 lbs	フロント: 1,350 kg リア: 1,720 kg
車両総重量配分 - 100D	フロント: 3,097 lbs リア: 3,690 lbs	フロント: 1,405 kg リア: 1,674 kg



車両総重量配分 - P100D	フロント: 3,027 lbs リア: 3,851 lbs	フロント: 1,373 kg リア: 1,747 kg
総軸重定格 - フロント	3,241 lbs	1,470 kg
定格総軸荷重 - リア (公称タイヤ圧 42 psi)	3,968 lbs	1,800 kg
*車両重量 = 正規のフルードレベルで乗員、積載物を除く重量 **GVWR = 車両総重量		



モーター

タイプ	AC インダクション モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
公称電圧	320 ボルト
大型モーターの最大回転数 (高性能車両のリアモーター)。	18700 rpm
小型モーターの最大回転数 (全車種のフロントモーター、通常車両のリアモーター)。	18200 rpm
大型モーターの最大定格出力* およびモーター回転数	375 kW @ 6,150 rpm
小型モーターの最大定格出力* およびモーター回転数	193 kW @ 6,100-6,800 rpm
大型モーターの最大トルク:	660 Nm
小型モーターの最大トルク	330 Nm
* ECE R85 に準拠したテスト済	

トランスミッション

タイプ	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	小型モーター: 9.325:1 大型モーター: 9.734:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

タイプ	ラック アンド ピニオン電動パワー ステアリング 速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.05
最小回転半径 (最外輪外面)	12.44 メートル

ブレーキ

タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスド スタビリティ コントロール/電子アクセラレーターペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
キャリパー	4 ピストン固定
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98" /355 mm リア: 14.37" /365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26" /32 mm 使用限界: 1.18" /30 mm

リア ローター厚	新品: 1.10" /28 mm 使用限界: 1.02" /26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.393" /10 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	ベース: 0.354" /9 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー

車高

フロント	独立、仮想ピボット ダブル ウィッシュボーン
リア	独立、仮想ピボット ダブル ウィッシュボーン

バッテリー - 12 V

定格	33 アンペア時以上
電圧と極性	12 V 負極 (-) グランド

バッテリー - 高電圧

タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
定格	60、70、75、85、90、100 kWh (使用開始時)
定格電圧 - 85、90、100 kWh 定格電圧 - 60、70、75 kWh	350 V DC 300 V DC
温度範囲	Model X を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。



ホイールの仕様

ホイールの種類	サイズ	オフセット
20 インチ - オールシーズン - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - オールシーズン - リア	9.5J x 20	1.575 インチ 40 mm
20 インチ - サマー - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - サマー - リア	10.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - フロント	9.0J x 22	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - リア	10.0J x 22	1.378 インチ 35 mm

ラグナット トルク	129lb ft (175Nm)
ラグナット ソケット サイズ	21 mm
注: Model X をジャッキアップする方法については、 ジャッキアップと引き上げ - 162 ページを参照してください。	

タイヤの仕様

タイヤの種類	規模	荷重指数 / 速度定格
20 インチ - Continental - フロント	265/45R20	108 / V
20 インチ - Continental - リア	275/45R20	110 / V
20 インチ - Michelin - フロント	255/45R20	105 / Y
20 インチ - Michelin - リア	275/45R20	110 / Y
22 インチ - Goodyear または Pirelli - フロント	265/35R22	102 / W
22 インチ - Goodyear または Pirelli - リア	285/35R22	106 / W
タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは運転席側のドアヒラーにあり、運転席側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 - 151 ページを参照)。		
ウィンタータイヤは Tesla 販売店で購入できます。		

タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。



1	タイヤの分類。P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2	タイヤ幅。この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3	アスペクト比。この 2 桁の数字は、パーセントで表したトレッド幅に対するサイドウォールの高さの比です。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4	タイヤの構造。R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5	ホイール径。この 2 桁の数字はインチ単位で表したホイール リムの径です。
6	荷重指数。この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
7	速度記号。記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)。
8	タイヤの構成と材質。トレッドエリアとサイドウォールエリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9	最大タイヤ荷重。タイヤで運搬できる最大荷重。



10	最大許容タイヤ空気圧。通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11	U.S. DOT タイヤ識別番号 (TIN)。先頭の文字 DOT は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12	トレッド磨耗。この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐磨耗性があります。
13	トラクション。タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14	温度。タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



タイヤと荷重情報に使用される専門用語

一般的にホイールおよびタイヤに使用される用語

アクセサリ重量	工場に取り付けられる機器として用意されているものの合計重量 (交換されたものより多い)。
ビード	タイヤ内部の縁のことで、この部分がリムに密着し、気密性のあるシーリングを形成する。ビードはプライコードで包まれて補強された鋼線で構成される。
冷間時タイヤ空気圧	3 時間を超える停車かまたは 1.6 km 未満の走行後のタイヤ空気圧。
車両重量	標準の車両重量で、装着されているオプション機器や適正レベルの液体を含む。
車両総重量	運転者、乗員、負荷、荷物、装備を含む車両の最大許容重量。
kPa (キロパスカル)	圧力を測るメートル系単位。1 キロパスカルは約 0.145 psi。
最大空気圧	タイヤに入れられる空気の詳細最大圧力。この圧力は、タイヤのサイドウォールに psi 単位で示されています (lbf/in ²)。 ⚠ 注意: タイヤに刻印されているこの圧力は、タイヤメーカーが認めている最大値です。Tesla が Model X に推奨している圧力ではない。
最大負荷時車両重量	車両重量、アクセサリ重量、車両の積載容量、製造オプション重量の総和。
製造オプション重量	取り付けられたオプションのうち交換された標準品よりも 1.35 kg 重いものと、車両重量やアクセサリ重量に含まれていないものの合計。
PSI (lbf/in ²)	Pounds per square inch (平方インチ当たりのポンド、タイヤ空気圧の測定単位)。
推奨タイヤ空気圧	テスラが定めたタイヤ空気圧で、工場ですべての車両に取り付けられたタイヤの種類に基づく。この情報は、ドアビラーの「タイヤと荷重情報」ラベルにある。
リム	タイヤあるいはタイヤとチューブを支持する金属で、これにタイヤのビードが密着する。
車両の積載容量	シート数に 68 kg をかけた値に、荷重/荷物の規定量を加えたもの。

荷重積載に関する定義

通常の乗員体重	表の 2 列目にある数字は、乗員 1 人あたりの体重 68kg (150 lbs) としてそれに人数を乗じて積載制限を計算したものです。 車両総重量 - 165 ページ
乗員の配置	車内に座る乗員の配置
旅客用車両タイヤ	車両総重量 (GVWR) が 10000 ポンドまたはそれ以下の旅客車両、多目的旅客車両、およびトラックに使用されるタイヤ。
リム直径	ビードシートの呼び径
指定リムサイズ	リムの直径と幅。
指定リムタイプ	スタイルまたはコードで製造者が指定するリム



リム幅	トリム フランジ間の公称距離
タイヤの車両最大積載量	各車軸に最大積載された車両の荷重を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。
タイヤの車両通常荷重	各車軸に整備荷重、アクセサリ重量、および通常乗員重量を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。

空気入りラジアルタイヤの定期

ビードの分割	ビード内のコンポーネント間にあるボンドの内訳。
バイアス タイヤ	ビード部分から覆われるブライ コードが 90 度以下の角度で交互にトレッドの中心線と交差して付けられている空気入りタイヤ。
カーカス	トレッド、サイドウォール部分を除いたタイヤの構造部分で膨らまされた時に荷重を支えます。
チャンキング	トレッドまたはサイドウォールの部分的に剥がれ落ちること。
コード	タイヤでパイルを形成する編み込み部分。
コード剥離	コードをゴム製コンポーネントから剥離する。
クラック	タイヤのトレッド、サイドウォール、またはライナーでコード材質まで届く部分。
高空気圧対応タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
グループ	トレッドリップ間の隙間。
インナー ライナー	タイヤ内に膨張媒体を含むチューブレスタイヤ内側を形成する層。
インナー ライナー剥離部分	カーカスのコード材料からインナー ライナーが剥離した部分。
定格荷重	ある空気圧で膨らませられたタイヤが支えられる最大荷重。
最大定格荷重	そのタイヤに許容される最大空気圧力におけるタイヤの定格荷重。
リムの測定	取り付けられるタイヤに必要なリムの実寸法
オープン スプライス	コード材料と接合するトレッド、サイドウォール、またはインナー ライナーの張り合わせ部分の剥離
外径	新しいタイヤを膨らましたときの直径。
全幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンド、またはリップを含む。
ブライ	平行に並ぶゴム被覆されたコードの層。
ブライの剥離	ブライ間のゴム コンパウンドの剥離。
空気入りタイヤ	ゴム、化学薬品、繊維、および金属またはその他の素材から作られ、自動車のホイールに取り付けられた時にけん引力を伝達する機械的な装備で、荷重を支えるために気体、または液体が充填される。
ラジアル タイヤ	ビード部分から覆われるブライ コードが 90 度の角度でトレッドの中心線と交差して付けられている空気入りタイヤ。
補強タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。

断面幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンドを除く。
サイドウォール	タイヤのトレッドとビード間の部位。
サイドウォールの剥離	サイドウォールのコードからゴム コンパウンドが剥離した部分。
スノータイヤ	ASTM F1805-00 に記載されているような雪上けん引試験を用いる場合（参照により統合、§ 571.5 を参照）、少なくとも 1 つのサイドウォールに S5.5 (i) で指定された Alpine Symbol でマークされ、ASTM E1136-93（2003 年再承認、参照により統合、§ 571.5 を参照）標準タイヤ試験タイヤと比較して 110 以上のけん引インデックスを達成するタイヤ。
テスト用リム	テストに使用されるタイヤを付けたリムで、そのタイヤでの使用に適切と認めらるすべてのリム。
トレッド	タイヤで路面に接触する部分。
トレッドリップ	タイヤ円周のトレッド部分。
トレッドの剥離	カーカスからトレッドが剥がれる状態。
トレッド摩耗インジケータ (TWI)	主要なグループ内に設けられた表示部分で、トレッドの摩耗具合を目視で確認できる。
ホイール固定具	テスト中、ホイールとタイヤ アッセンブリーを固定する。



Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。タッチスクリーンの最上部の Tesla の「T」をタッチすると VIN が表示されます。また、運転席側のフロントガラスからのぞき込むとダッシュボード上部に表示されている VIN を確認できます。
- お客様の所在地。
- 故障・問題の性質。

Tesla ロードサイドアシスタンスは 24 時間対応しておりますので、万一の際もお客様の Model X をどのように輸送するかなど、ご質問があれば詳細にご説明し、プロフェッショナルなサービスを提供いたします。

国別電話番号

日本: [0120-975-214](tel:0120-975-214)

注: 電話番号は、タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチして利用することもできます。

輸送する際は Model X

Model X を輸送する時は必ず 4 本のタイヤすべてを地面から離してください。平ボディトラックまたは同様の運搬車両を使用してください。レッカー車または自動車用台車などを Model X の運搬に使用する場合は最大 25 km (15 マイル) までとし、時速 70 km (45 マイル) 以下で走行してください。輸送の際、平ボディトラック、または車輪の持ち上げ、自動車用台車のいずれの方法でも、Model X をどの方向に向けても構いません。

Tesla が指定していない方法を使用し、Model X を輸送しないでください。手順の指示に従い、すべての警告と注意を守ってください。お客様の車両の輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。

注：以下の図は説明のみを目的としています。



⚠ 警告：Model X は、高電圧コンポーネントが搭載されています（**高電圧コンポーネント** - 142 ページを参照）。事象の結果（衝突など）により高電圧コンポーネントが損傷した可能性のある Model X を輸送する前は、これらコンポーネントに電圧がかかっているものと推定することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

セルフレベルリングを無効にする（エアサスペンション車両のみ）

Model X にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベルリングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「車高」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを押してから、「Very High」にタッチして高さを最大にします。
3. 「ジャッキアップ」にタッチします。

注：ジャッキモードは Model X が時速 7 km (4 マイル) を超える速度で走行すると解除されます。

⚠ 警告：スマートエアサスペンションが搭載された Model X の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

牽引モードの有効化

Model X ニュートラルにシフトされた後でも、運転者が車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングにシフトされることがあります。Model X をニュートラルに維持するには（この場合パーキングブレーキが解除されます）、タッチスクリーンを使用して牽引モードにする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. 輪留めをタイヤに設置する、または Model X が安定していることを確認してください。
3. ブレーキペダルを踏みこんだまま、タッチスクリーンから「コントロール」>「設定」>「サービスとリセット」>「ニュートラルモード」>「ON」。

N 牽引モードが起動していると、Model X のインストルメントパネル上のこの表示灯と同時に Model X のホイールがフリー状態であることを知らせるメッセージが表示されます。

牽引モードをキャンセルするには、Model X をパーキングにシフトします。

⚠ 注意：電気系統が機能していないために電気パーキングブレーキを解除できない場合は、12V バッテリーのジャンプスタートを試みてください。実施方法については、Tesla ロードサイドアシスタンスまでご連絡ください。パーキングブレーキを解除できない状況にある場合は、セルフローディングドリーを使用してください。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディトラックに引き上げます

トラックに Model X を引き上げるには、車両に牽引ボルトがあることが前提となります（車両購入時に搭載されている場合）。

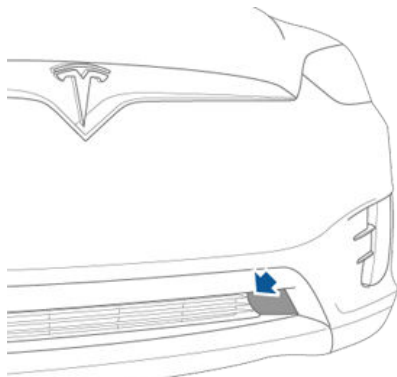
牽引ボルトが装備されている場合：

1. 牽引ボルトを見つけます。

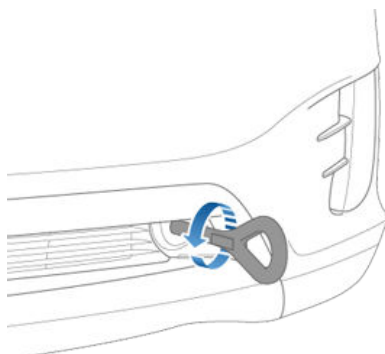


2. 牽引ボルト カバーの上部にあるスロットに小さなマイナスドライバーを差し込み、ゆっくりと引いて上部の留め具からカバーを外します。

⚠ 注意：牽引アイ カバーはけん引が終わって再度取り付けるまで大切に保管してください。



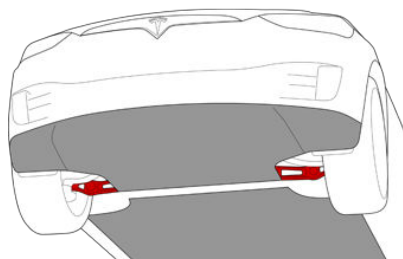
3. 牽引ボルトをしっかり挿入し、確実に固定されるまで**反時計回り**に回します。



4. 牽引ボルトにウィンチ ケーブルを取り付けます。
- ⚠ 注意：**引く前に、牽引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。
5. Model X をゆっくりとトラックの上に乗せてください。
6. ギアセレクト先端のボタンを押して Model X を P (パーク) に入れます。

牽引ボルトが装備されていない場合：

1. 車両前部の下、それぞれのローアー サスペンション アーム最後端の大きな穴に牽引用ストラップを取り付けます。

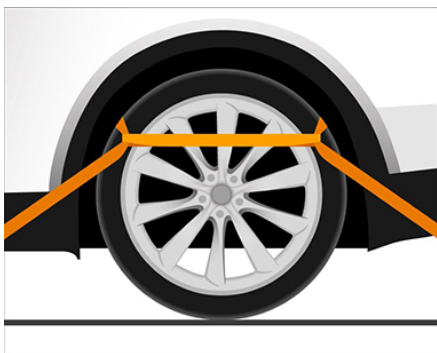


2. アンダーボディを損傷しないよう保護できるもの（木材など）を牽引ベルトとアンダーボディの間に設置してください。
3. Model X をゆっくりとトラックの上に載せてください。
4. ギアセレクト先端のボタンを押して Model X を P (パーク) に入れます。

タイヤの固定

8 点留めタイダウン法で車両を固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。



- ⚠ 注意：**固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



しかし、これだけではありません! 以下は、現在までに見つけたイースター エッグとそのアクセス方法のリストです。または、Tesla の「T」(タッチスクリーン上部中央)をタッチしてから、**お客様の Tesla について** ボックスを下方向にドラッグするだけのワンタッチ アクセスで、見つかったすべてのイースター エッグを見ることができます。

この場合は・・・	これを行います・・・
サンタ モード	「望んでいるものは何ですか?」一年を通して、これとともに休日を楽しみましょう! 簡単に音声コマンドを参照)「Ho Ho Ho」と言ってみましょう。何となく気分が悪い場合は、「Ho Ho Ho Not Funny」と言うこともできます。
レインボー ロード	ノスタルジックに浸る? カウベルがもっと必要? オートステアリングを有効にし、クルーズコントロールレバーを素早く手前に 4 回動かすと、レインボー ロードに行くことができます。
スケッチパッド	Tesla の「T」(タッチセンター上部の中央)を 3 回タップして、自分の中に眠るピカソを呼び出してください。あなたの才能を見せるチャンス! 出版 をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
火星	Tesla の T (タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに mars と入力します。マップには Model X が火星の大地を走る流浪者として表示され、 あなたの Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
007	Tesla の「T」(タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに 007 と入力します。これであなたはもはや「ドライバー」ではありません、「ダイバー」です! 「コントロール」>「 車高 」の順にタッチして潜水深度を変更します。
ルーディークラス スピード (P100D 車両のみ)	「Ludicrous」 「設定」(「コントロール」>「 運転モード 」>「 加速 」>「Ludicrous」)を約 5 秒間長押しします。飛ばしたい場合は、 もちろん! をタッチします。インストゥルメントパネルに出力と加速度の測定値を表示するには、いずれかのスクロール ホイールを使用可能なオプションが表示されるまで押します。その後、スクロール ホイールを回して 測定値 をハイライト表示したら、スクロール ホイールをもう一度押します。
生命、宇宙、および全てにおける究極の質問に答える	車の名前を 42 (車両に名前を付ける - 119 ページを参照) に変更し、Model X の新しい名前を通知します。
ホリデー ショー	車を屋外に駐車し、窓を降ろしたら、Tesla の「T」(タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに modelxmas と入力します。これでショーが始まります。
レインボー 充電ポート	Model X がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクタのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?



文書の適用可能性

オーナー情報は、お客様の車両に更新を反映するため定期的に更新されます。ただし、直近のリリースで搭載された機能は記載されない場合もあります。最近リリースされた機能についての情報を表示するには、タッチスクリーン上でリリースノートをご覧ください。リリースノートはソフトウェア更新後にタッチスクリーン上に表示されます。また、タッチスクリーンの上部にある Tesla の「T」にタッチしてからリリースノートリンクにタッチすればいつでも表示できます。タッチスクリーンの使用方法に関する情報とリリースノートの情報が矛盾する場合は、リリースノートが優先します。

イラスト

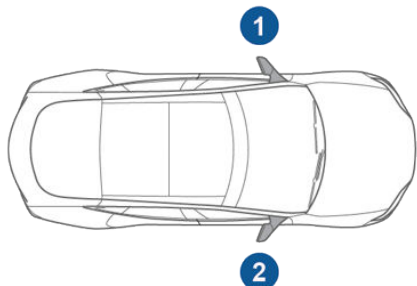
イラストは説明目的のためにだけ掲載されています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、購入地域、および特定の車両設定によっては、お客様の車両が違って見える場合があります。この所有者情報は RHD (右ハンドル車) 車両と LHD (左ハンドル車) 車両の両方に適用されますが、多くの図は LHD 車両のみを示しています。ただし、図が示している重要な情報はすべて正しい情報です。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤りや抜けをご連絡いただく、またはこのオーナー情報の品質に関する一般的なフィードバックや提案は、OwnersManualFeedback@Tesla.com - に電子メールを送付してください。

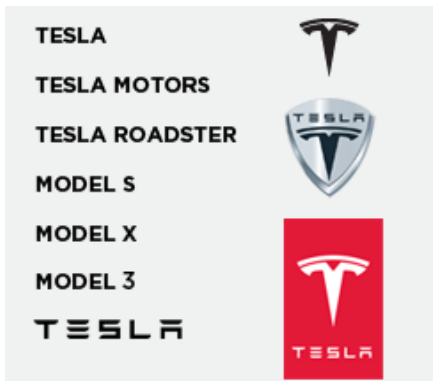
コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープンソースソフトウェアについてはウェブサイトを参照してください <http://www.tesla.com/opensource>。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平 27 情使、第 74 号)。地図にデータに関する所有権 (以下に掲げるものを含むがそれに限定されない) は、Increment P Corporation (IPC) が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp (免責事項 - 183 ページ参照)。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。

車両テレマティクス

Model X には、モーター、ドライバー アシスト コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気系統を含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用します。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。法律で要求される可能性がある事項。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model X の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません：

- 車両の所有者（またはリース車両の場合はリース会社）からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- 訴訟で Tesla を弁護するために使用する場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

さらに、非保証修理サービスに関係する場合を除き、Tesla は記録されたデータを所有者に開示しません。非保証修理サービスに関係する場合は、修理に関係するデータのみを開示します。

データ共有

製品品質の確保と自動運転などの高度な機能を継続的に改善していくために、Tesla はすべての参加車両の道路セグメントデータを測定します。すべての Tesla 車両は、Tesla 車両が今まで蓄積してきた数十億マイルの経験から学ぶことができます。Tesla は、類似のデータを提供するパートナーとこのデータを共有していますが、このデータには、お客様またはお客様の車両に関する個人情報に含まれていません。データの共有を許可するには、「**コントロール**」>「**設定**」>「**安全とセキュリティ**」>「**データの共有**」をタッチして、**同意する** チェックボックスにチェックを入れ Tesla がデータを収集することに合意してください。

注：ただし、本オーナーズ マニュアルに記載されているように、Model X は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません（例えば特定日時に Model X が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません）。

品質管理

オドメーターの表示は Model X の納車時に若干の数値（数 km）を示していることがあります。これは、Model X の品質を保証するための包括的テストプロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。



地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (Map Data) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- Increment P Corporation (IPC) とそのライセンス許諾者は、Map Data に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- IPC は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない Map Data に関する一切の保証をいたしません。IPC は、Map Data の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- Map Data は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。

- Map Data は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998 年 4 月 2 日	小田原市指令第 52 号
岐阜県養老町	2000 年 3 月 13 日	平成 12 年 養建第 1902 号
愛知県知多市	2000 年 5 月 16 日	平 10.近公.第 34 号
和歌山県貴志川市	2001 年 3 月 13 日	平成 12 年度 知都発第 170 号
福岡県隠岐町	2004 年 3 月 3 日	15 大木建第 734 号
長野県堀金町	2005 年 3 月 1 日	16 堀第 5417 号
滋賀県東近江市	2006 年 2 月 28 日	東開第 111 号
群馬県伊香保町	2005 年 7 月 14 日	伊建農発 229 号
Tokyo Digital Map Corporation	2007 年 2 月 8 日	18 東デ共 041 号 ※契約番号
東京都	2007 年 2 月 7 日	18 都市基交第 478 号
岡山県津山市	2006 年 2 月 17 日	平成 17 年津山市使用承認第 5 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 15 日	指令宇都第 13 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 31 日	指令宇都第 14 号
山口県周防大島町	2006 年 5 月 12 日	周防建設第 56 号
香川県東かがわ市	2006 年 5 月 2 日	18 建第 107 号
愛媛県東温市	2006 年 5 月 16 日	H18 東温都第 174 号
宮城県	2006 年 9 月 19 日	林振第 350 号
宮城県	2007 年 2 月 28 日	林振第 611 号
秋田県	2007 年 3 月 7 日	指令水緑-1258
山形県	2006 年 12 月 6 日	森第 18-10 号
新潟県長岡市	2006 年 3 月 28 日	長都政第 477 号
山梨県	2007 年 3 月 1 日	森整第 1561 号
長野県	2007 年 2 月 14 日	18 森政第 5-5 号
島根県	2006 年 11 月 24 日	森第 1286 号
島根県	2007 年 2 月 27 日	森第 1736 号
広島県	2007 年 2 月 15 日	林振第 115 号
徳島県	2007 年 1 月 30 日	林振第 484 号
佐賀県	2006 年 10 月 4 日	森整第 010634 号
長崎県	2006 年 10 月 6 日	18 林第 492 号
熊本県	2007 年 2 月 14 日	森整第 993 号
熊本県	2007 年 3 月 7 日	森整第 1079 号



- Map Data に含まれる交通規制データは 2014 年 9 月現在のものです。かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、Map Data の使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2 輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。



Tesla に連絡する

お客様の Model X に関する詳細を見るには、www.tesla.com から Tesla アカウントにログインするか、アカウントがない場合は新規でサインアップしてください。

Model X に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号については、www.tesla.com にアクセスし、連絡先情報をご確認ください。



キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	GHz	テスト済み
キーフォブ 1048598	Tesla	2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1048598 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- キーフォブモデル番号：1048598 (2.4 GHz)
- キーフォブ製造業者: Tesla

IC 20098-1048598 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

中央ボディ コントローラー

FCC 認証

モデル番号	製造者	MHz / GHz	テスト済み
中央ボディ コントローラー 1031503	Tesla	315 / 2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1031503 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- 中央ボディ コントローラー モデル番号: 1031503 (315 MHz / 2.4 GHz)
- 中央ボディ コントローラー 製造者: Tesla

IC 20098-1031503 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

一体化コンポーネント

中央ボディコントロールは、その他のインテリア トリム コンポーネントの周囲に固定された車両に主要な部分の一つです。中央ボディコントロールは、一体化コンポーネントとして使用するよう設計されており、個別の販売や取引はできません。

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID : TZSTPMS201、Z9F-201F543X

IC ID : 11852A-201F54X

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ イノベーション・科学・経済開発省の RSS-210 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

装置認可 - 日本



001-A00198



無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉が発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉が発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。

数字

3 列目シート、折りたたんで持ち上げ [24](#)

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) [63](#)
Auto Raising サスペンション [126](#)

B

Bluetooth
 一般情報 [132](#)
 電話、ペアリングと利用 [132](#)
 機器、オーディオ ファイルの再生 [130](#)

C

CE 認証 [188](#)
CHAdemo [143](#)

E

EDR (イベント データ レコーダー) [183](#)

F

FCC 認証 [188](#)

G

GAWR [166](#)
GVWR [166](#)

I

IC 認証 [188](#)
ISOFIX 対応チャイルドシート、取り付け [33](#)

J

J1772 [143](#)

L

Ludicrous 加速 (パフォーマンス デュアルモーター)
 [69](#)

N

NCC 認証 [188](#)

P

PIN [44](#)

R

RF アンテナ [11](#)
RFID トランスポンダー [163](#)

T

TPMS
 FCC 認証 [189](#)
 概要 [155](#)
TuneIn ラジオ [129](#)

U

USB ポート [130](#)
USB 機器
 オーディオ ファイルの再生 [130](#)
 接続している [130](#)

W

Wi-Fi、接続 [139](#)

あ

アクセサリ
 電源ソケットへの接続 [130](#)
アクセサリ キャリア [76](#)
アクセス パネル、取り外し [160](#)
アダプティブ ヘッドライト [60](#)
アンチロック ブレーキ (ABS) [63](#)
アンテナ [11](#)

い

イージーエントリー [23](#)
イージーエントリー、ドライバー プロファイル [43](#)
イースター エッグ [181](#)
イベントデータの記録 [183](#)
インセイン設定 (デュアルモーター) [113](#)
インセイン加速 (パフォーマンス デュアルモーター)
 [69](#)



インターネット ラジオ 129

インテリア

クリーニング 157

温度調整 120

概要 2

光を当てる 57

寸法 167

う

ウィンカー 60

ウォール コネクター 143

ウォッシュャー、使用 62

ウォッシュャーフルード、補充 161

え

エア サスペンション 127

エア フィルター 125

エアバッグ 39

エアバッグ、助手席、OFF にする 41

エクステリア

クリーニング 156

つや出し、補修塗り、および修理 157

概要 3

光を当てる 57

自動車用カバー 158

寸法 167

エネルギー

回生ブレーキから得られる 63

航続距離情報 51

Energy アプリ 72

エネルギーおよび充電設定 116

エネルギー節減モード 72

お

オーディオ

ハンドル ボタン 45

ファイルの再生 128

音量調節 128

オートステアリング 93

オートパーキング 98

オートハイビーム 60

オートブレーキホールド 68

オーバーハング寸法 167

オール シーズン タイヤ 154

オドメーター 71

お気に入り 134

お気に入り (メディア プレーヤー) 129

お気に入りの目的地 136

か

カーペット、クリーニング 157

加速 (デュアルモーター) 113

カップ ホルダー 18

カメラ (リア ビュー) 74

カメラ (自動運転用) 84

貨物エリア 14

カレンダー アプリ 137

寒冷地設定 113

き

ギアシフト 50

ギアを入れる 50

キー

FCC および IC 認証 188

キー非検出時 49

バッテリーの交換 5

使い方 4

予備のキーを注文する 7

キーが動作しないときのアンロック 10

キーレス エントリー 4

キャビンの温度調整 120

キャビン過熱保護設定 116

く

クライメートタイマー 124

クリーニング 156

クリープ 113

クルーズ コントロール 87

グローブボックス 17

け

けん引フック、位置 179

けん引モード 179

こ

公共充電ステーション 143

この車で何ができるって? 181

コンソール

12V 電源ソケット 130

USB ポート 130

カップ ホルダー 18

コンフォート加速 69

さ

サービスデータの記録 183



サスペンション 127
 サスペンション仕様 171
 サマー タイヤ 154
 サモン 98
 サンバイザー 19

し

シート、2列目 21
 シートカバー 25
 シートヒーター 120
 シートベルト
 クリーニング 157
 プリテンショナー 27
 概要 26
 衝突時 27
 妊娠中の女性が着用するとき 27
 識別ラベル 164
 ジャッキアップ 162
 ジャッキモード 127
 車両識別番号 164
 瞬間値 72
 消費量チャート 72

す

スーパーチャージ
 従量制プラン 149
 説明 149
 超過時間料金 149
 スタッドレス タイヤ 154
 ステアリング、自動 93
 ステアリング仕様 170
 スピードアシスト 107
 スポイラー 75
 スポーツ加速 (パフォーマンス デュアルモーター)
 69
 スマート コンディショニング 116
 スリップスタート 65

せ

セキュリティ設定 138
 センサー 84

そ

ソフトウェア リセット 119
 ソフトウェアの更新 140

た

タイヤ

タイヤ (続く)

 オール シーズン 154
 空気圧、チェック方法 151
 交換 152
 サマー 154
 スタッドレス 154
 タイヤ センサーの交換 155
 タイヤのマーキング 173
 チェーン 154
 点検と保守 152
 バランス調整 152
 ローテーション 152
 仕様 172
 タイヤ空気圧、チェック 151
 タイヤと荷重情報ラベル 166
 タイヤのノイズ 154
 タイヤのローテーション 152
 タイヤ空気圧、牽引時の 77
 タイヤ空気圧監視システム
 FCC 認証 189
 概要 155
 ダッシュボードについて 2
 タッチスクリーン
 クリーニング 157
 クリーニング モード 157
 コントロール 113
 ソフトウェアの更新 140
 概要 108
 設定 116
 タッチスクリーンの再起動 49

ち

チェーン 154
 チャイルドロック
 リアウィンドウ スイッチを無効にする 12
 リフトゲートとリア ドアハンドルの無効化
 10
 チャイルドシート
 取り付けおよび使用 29
 助手席ヘッドエアバッグを OFF にする 41

て

データの記録 183
 データ共有 183
 デバイス
 Bluetooth、オーディオ ファイルの再生 130
 オーディオ ファイルの再生 130
 接続している 130
 テレマティクス 183

と

ドア 4



ドア アンロックモード 10
 ドア、開く 4
 ドアのロックとロック解除 4
 ドアのロック解除とロック 4
 ドアラベル 165
 ドライバー アシスタンス
 トラフィックアウェア クルーズコントロール 87
 概要 84
 追い越し加速 87
 ドライバーギア 50
 ドライビングアシスト
 オートステアリング 93
 オートパーキング 98
 スピードアシスト 107
 ブラインドスポット警報 102
 自動緊急ブレーキ 104
 自動車線変更 96
 車線を逸脱しないようにする 102
 衝突回避アシスト 104
 制限速度警報 107
 正面衝突警告 104
 設定 116
 側方衝突警告 102
 速度制限を守る 107
 ドライブ
 シート調整 20
 輪郭を書く 43
 トラクションコントロール 65
 トラフィックアウェア クルーズコントロール 87
 トランク、フロント 15
 トランク、リア
 チャイルドロック 10
 内部ハンドルの無効化 10
 トランスポンダー、取り付け 163
 トランスミッション仕様 170
 トリップ メーター 71
 トリップ概要 135
 トルク仕様 170
 トレーラーの牽引 77

な

ナビゲーション 134

に

ニュートラルギア 50

は

パーキングブレーキ 64
 パーキング、自動 98
 パーキングアシスト 66
 パーキングギア 50

パーキング時にロック解除 4
 ハイビーム ヘッドライト 60
 ハザードスイッチ 61
 ハザードランプの点滅 61
 バックアップ カメラ 74
 パッシブ エントリー 116
 バッテリー (12V)
 完全放電 144
 仕様 171
 バッテリー (キー)、交換 5
 バッテリー (高電圧)
 温度限界 144
 仕様 171
 注意 144
 冷却剤 160
 バッテリー出力最大化 113
 バレー モード 44
 パワー ウィンドウ 12
 ハンドル
 スクロール ホイール 45
 ボタン 45
 位置の調整 45
 感度の調整 45
 暖房付き 45

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート 140
 ファンの速度、内部 121
 フード 15
 フォグランプ 57
 ブラインドスポット警報 102
 フラッシュ ドライブ、オーディオ ファイルの再生 130
 フルード
 リザーバ、チェック 160
 交換間隔 150
 ブレーキフルード交換 150
 ブレーキをかける
 フルードレベル 160
 概要 63
 緊急時の自動ブレーキ 105
 仕様 170
 プレコンディショニング 116
 フロア マット 158
 フロント ガラス ウォッシャーフルード、補充 161
 フロントトランク 15

へ

平均値 72
 ペダル踏み間違い時加速抑制装置 104
 ヘッドサポート 25
 ヘッドライト
 アダプティブ 60
 ハイビーム 60



ヘッドライト (続く)

降車後 60

ヘッド拘束装置 25

ほ

ホイール

アライメント 152

交換 152

トルク 172

ラグナットカバー、取り外しと取り付け

153

仕様 172

ホーン 47

ボディの補修塗り 157

ボディを補修塗り 157

ま

マット 158

マップデータ、所有権表示 184

み

ミラー 48

め

メディア 128

も

モーター トルク、減少 105

モバイルアプリ 141

モバイルコネクター

説明 143

使っている 145

ら

ラグナットカバー 153

ラジオ 128

ラベル

タイヤと荷重情報ラベル 166

法定プレート 166

ランバー サポート 20

り

リアシート、アクセス 23

リアウィンドウ スイッチ、無効にする 12

リアビューカメラ 74

リバースギア 50

リフトゲート

開放時の高さ調整 13

開く 13

リリース ノート 140

る

LUDICROUS 設定 (デュアルモーター) 113

ルートの概要 135

ルーム (マップ) ライト 57

れ

レーダー 84

レーンアシスト 102

レンジモード 72

レンジ モード 113

ろ

ロードサイドアシスタンス 178

ローンチモード (パフォーマンス デュアルモーター) 69

ロケーションベース サスペンション 126

わ

ワイパー ブレード、交換 159

ワイパー、使用 62

ワイパー、除氷 62

TESLA